戦後インドネシア書誌

監修・編集
東京大学教授
裏　田　武　夫

TOKYO
SEAMIC
1979

序

この書誌は終戦時より１９７７年３月に至る間の日本語によって国内で公にされたインドネシアに関する文献を収録している。

この書誌の作成を考えるに至ったのは，二つの理由がある。

一つは，開発途上国，特に東南アジア諸国に関して，わが国の関係者がかなりの研究調査を行なってきているにもかかわらず，それらの実績を組織的に利用する方法がこれまで欠けていたということである。過去の実績を組織的に利用する方法なくしては，研究調査を飛躍的に拡大向上させることは不可能と考える故に，あえてこの書誌の編集を試みることにした次第である。

第２には，最近，開発途上国に対して経済協力，学術文化交流など，他方面にわたって官民が極めて大きな努力を払っている。私自身も多少その分野に関係したのだが，わが国の関係者の大部分は，それらの国の歴史，社会，文化などの基礎的情報について，殆んど無知に近いということを発見したのである。したがって，すでに自分の尺度，物差しでしか相手の事情を理解しようとしない結果を招くことが多く，せっかくの援助協力活動も実効の少ないものになってしまう懸念もあったのである。そこで少くとも身近に利用できる文献を識ってもらいたいという願望からも，この書誌編集の仕事が進められたのである。

編集にあたって単年度会計の事情によって刊行の日限があり，書誌データの調査等が充分でないものが若干残った。今後，ご叱正を賜われば幸である。

尚，この作業にあたって，国立国会図書館，アジア経済研究所，日本インドネシア協会，アジア・アフリカ図書館，日本貿易振興会，国際開発センター，日本国際問題研究所，国立がんセンター等から多大のご協力をいただいた。医療団の伊藤敬子

さんは万端にわたって実質的に私の共編者の立場にある。ここに厚く謝意を表したい。

1979年3月

裏　田　武　夫

凡　　例

1. 単行書の記載方法は次の様にした。

　　著者（編者・訳者）

　　　書名

　　　出版地　出版者　出版年

　　　注記事項

(1) 共著者等は書名の後に表示した。

(2) 翻訳書の場合判明したもののみ原著者からとり訳者は書名の後に記載した。原書名は省略した。

(3) 外国人名は，判名した場合は原綴とした。

(4) 著者が不明の場合は書名からの記入とした。

(5) 出版地が不明の場合は空欄とした。

(6) 出版者が著者と同一の場合は省略した。

(7) 出版年は西暦に統一した。

2. 雑誌論文・記事の記載方法は次の様にした。

　　著者（編者・訳者）

　　　論文名

　　　論文掲載雑誌名　巻（号）：頁－頁，出版年

3. 排例はアルファベット順とし，外国人名の場合は読み方のアルファベット順とした。

内　容　目　次

—序—

1. 単行書

2. 雑誌論文・記事

＝1　単　行　書＝

総　　記

朝日新聞社
インドネシア
東京　1958
アサヒ写真ブック82

朝日新聞社
ニューギニア
東京　1962
アサヒ写真ブック69

朝日新聞社　調査研究室
西イリアン
東京　1962
朝日新聞調査研究室報告　社内用第99
執筆：谷口五郎

アジア・アフリカ語学院インドネシア語科
インドネシア
東京　1966

アジア協会
インドネシア篇
東京　1962
経済技術協力叢書Ⅳ

アジア経済研究所
アジアの動向：国別シリーズ　1965年第8
インドネシア
東京　1965

アジア経済研究所
アジアの動向：国別シリーズ　1966年 第8
インドネシア
東京　1966

アジア経済研究所
アジアの動向：国別シリーズ　1967年 第8
インドネシア
東京　1967

アジア経済研究所
アジアの統計　フィリピン，インドネシア，
香港，マラヤ連邦編
1961
昭和34年度　平山委員会報告書

富士銀行　外国部ジャカルタ駐在員事務所
インドネシア事情資料　1972年6月
東京　1972

外務省アジア局
インドネシア国便覧
東京　1955
アジア諸国便覧叢書7

外務省　アジア局第三課
インドネシア共和国概観
東京　1952

外務省　国際資料部資料課
流動するインドネシアの現状
東京　1966
大平善悟　視察旅行記

外務省　東南アジア第2課
インドネシア関係基礎資料
東京　1974

外務省　情報文化局
インドネシア国の現状
東京　1956

インドネシア　中央統計局
インドネシアの統計　インドネシア中央統計局〔編〕　ファンデ・グラーフ著　山岸祐一訳
東京　アジア経済研究所　1961
西野照太郎　監修　（研究参考資料　第5）

インドネシア総領事館（日本）
西イリアン
東京　1958

石渡　敏
インドネシアの現実　石渡　敏〔等著〕
東京　新生アジア社　1958

海外技術協力事業団
東南アジア地域（マレーシア，タイ，フィリピン）開発計画予備調査報告書
東京　1966

海外事情調査所
インドネシア要覧　1966年，1973年改訂版
東京　1966，1973

海外事情研究所
海外事情研究者報告2
特集　インドネシア
東京　1965

海外経済協力基金　調査部
インドネシア
東京　1965　（調査資料第23号）

海外経済協力基金　調査部
インドネシア
東京　1960
調査資料第23号

梶原善久
インドネシアの現状　梶原善久〔等著〕
東京　日本国際問題研究所　1965

鹿島平和研究所
インドネシア　改訂版
1970
東南アジア開発選書　6

経済団体連合会インドネシア委員会
インドネシア必携――インドネシアの現状概観――
1968

国際食糧農業協会
インドネシア要覧
東京　1955　（参考資料）

増田　与
インドネシア
東京　岩波　1966　（岩波新書）

松本重治
東南アジアハンドブック
毎日新聞社　1972

永積　昭
東南アジアの価値体系　2　インドネシア
永積　昭　間苧谷　栄著
東京　現代アジア協会　1970

日本領事館（メダン）
スマトラ事情
メダン　1969

日本工業倶楽部
インドネシア事情
東京　1963
（経済調査資料　17）

日本国際問題研究所
ボルネオ便覧
東京　1962
（世界各国便覧叢書）

日本国際問題研究所
インドネシア
東京　1972
（世界各国経済ハンドブック第20）

日本国際問題研究所
インドネシア共和国便覧
東京　1964
（世界各国便覧叢書　アジア編第7）

世界の動き社
海外生活の手引シリーズ　東南アジア編
東京　1974
II　インドネシア（ジャカルタ，スラバヤ，メダン）
マレーシア（クァランプール，コタキナバル）シンガポール

拓殖大学　インドネシア研究会
カリマンタン親善調査団報告書
東京　1969
内容：1968年度第6次インドネシア派遣団報告書

拓殖大学　インドネシア研究会
西イリアン親善調査団報告書
東京　1972
日程：1970年6月5日－8月14日

拓殖大学　インドネシア研究会
拓殖大学インドネシア親善調査団報告書
東京　1964

拓殖大学　総務局国際交流部
拓殖大学第10回韓国国際ワーク・キャンプ学生参加団　第5次インドネシア，スマトラ島親善調査団報告書
東京　1968

田村三郎
インドネシアのあらまし－未来の国友邦－
東京　1972

歴　史

坂　邦康
史実記録　戦争裁判　蘭印法廷第1
東京　東潮社　1968
内容　第1　オランダ軍関係

千原大五郎
仏跡ボロブドール　－ヒンズー・ジャワの建築芸術－
東京　原書房　1969

Gandasubrata，R.A.A.S.M.
日本軍占領時代とその前後
R.A.A.S.M.ガンダスブラタ著　田村三郎訳
東京　田村三郎　1970

Grant Bruce
インドネシア現代史　B.グラント著
駒城鎮一訳
京都　世界思想社　1968
（現代政治シリーズ）

外務省　アジア局三課
インドネシア関係要人略歴表
東京　1957

外務省　政務局情報部
インドネシア紛争年表
東京　外務省政務局情報部　1949
情報部メモ　95号

稲田　繁
インドネシアの横顔　稲田繁編著
東京　日本国際問題研究所　1966
国際問題シリーズ

Kartini ,R.A.
光りは暗黒を越えて――カルティニの手紙
カルティニ著　早坂四郎訳
東京　河出書房　1955　（河出新書）

Macklin,Milton
首狩りと精霊の島―― ロックフェラー四世失踪の謎―― ミルト・マックリン著
水口志計夫訳　東京　日本リーダースダイジェスト社　1973
ペガサス　ドキュメント

増田　与
インドネシア現代史
東京　中央公論社　1971

持田信夫
ボロブドール―― よみがえる遺跡群――
写真・文：持田信夫
東京　講談社　1971

並河万里
ボロブドール　写真：並河萬里
東京　平凡社　1971
解説：千原大五郎，並河亮，千潟龍祥
英文併記（翻訳：海野厚志）

日本国土開発研究所
インドネシアの歴史と国民生活
東京　1967

日本国際問題研究所　インドネシア部会
インドネシア資料集
東京　1972

西嶋重忠
証言　インドネシア独立革命　ある日本人革命家の半生
東京　新人物往来社　1975

丹羽友三郎
中国・ジャバ交渉史
東京　明玄書房　1953

大池誠一
ボロブドール石仏
拓本　採拓：大池誠一
東京　牧野出版社　1974
解説：千原大五郎

佐和隆研
　インドネシアの遺蹟と美術
　東京　日本放送出版協会　1973

武田重三郎
　ジャガタラ閑話－蘭印時代邦人の足跡－
　国見町（長崎県南高末郡）1968

早稲田大学　大隅記念社会科学研究所
　インドネシアにおける日本軍政の研究
　東京　紀伊国書店　1959

地　誌

アジア経済研究所
　インドネシア外島の研究　－45年度報告－
　東京　1972

Bemmelen, R.W. van.
　インドネシアの地質　橋本克巳訳
　東京　アジア経済研究所　1965
　海外投資参考資料第3号

電力中央研究所電気事業研究委員会資料室
　南スマトラ堆積盆地について－特にその集油
　褶曲の総括的研究
　東京　1960
　資料室資料海外　第71号
　巻末：書目　　執筆：橋本克巳

江上幸雄
　アジアの十字路
　江上幸雄，佐々木欽三，佐野　勇共著
　東京　日本放送出版協会　1965
　海外シリーズ日本放送協会アジアの十字路特
　別報道班

深作光貞
　海上の道他界への道－与那国沖縄からマダガ
　スカルまで
　京都　世界思想社　1975
　フィリピン　インドネシア　マダガスカル

外務省　経済協力局
日本青年海外奉仕隊問題　フィリピン・インドネシア現地調査団報告書
東京　1964

Haddon Alfred Cort
ボルネオ奥地探険　A.C.ハッドン著　石川栄吉訳
東京　大陸書房　1969

橋本　広
北ボルネオの山旅
東京　新紀元社　1973
参考文献：P．264―266

原　ひろ子
人間はわかりあえるか－ある文化人類学者の旅－
京都　PHP研究所　1976

海外経済調査研究会
外国の知識　東南アジア　2
東京　1970
内容：タイ，インド，セイロン，パキスタン，インドネシア，ビルマ

海上保安庁　水路部
ジャワ海水路誌　第2巻
東京　日本水路協会　1974
書誌第225号　昭和32年刊の改訂増補版
内容：ボルネオ南岸および東岸，マカッサル海峡スラウェシ

海上保安庁　水路部
ジャワ海水路誌　第1巻
東京　日本水路協会　1975
書誌第224号　昭和34年刊の改訂増補版
内容：ジャワ・ジャワ東方諸島，ジャワ海・フローレス海

海上保安庁　水路部
スマトラ東部水路誌　スンダ，バンカ，カスパル，カリマタリオー，ベルハル，ヅリアン諸海峡
東京　1958　書誌　第221号

樹下都義
お化けの町－ボルネオ旅行記－
東京　合同美術出版　1969

蔵原惟人
インドネシア紀行
東京　新日本出版社　1964
新日本新書4

森　優
ジャワ島ところどころ
福岡　1966

三浦伝六
未来の大国と混迷の小国そして神々の住む楽園・バリ島
秋田　1972

日本放送協会
秘境ニューギニア　ＮＨＫ海外取材班著
東京　1969
ＮＨＫ海外シリーズ

日本工業倶楽部
インドネシア素描
東京　1953
経済調査資料　2号

沼沢喜市
ニューギニア・ピグシー探険
東京　大陸書房　1969

日本交通公社
バンコク，シンガポール，バリ
東京　1973
海外ガイド 15

小倉武一
緑の海外旅想
東京　日本農民新聞社出版局　1974

岡野恒也
オラン・ウータンの島　ボルネオ探訪記
東京　紀伊国書店　1965

佐竹義輔
西イリアン記　ニューギニアの自然と生活
東京　広川書店　1963

世界地理風俗大系　vo1.9. 東南アジア諸島
太平洋諸島
東京　誠文堂新光社　1963

島崎栄治
私の見たニューギニァ
東京　島崎新経済研究所　1961
東南アジア事業叢書

豊臣　靖
東ニューギニア縦断記－ＮＴＶすばらしい世界旅行－
東京　筑摩書房　1972

辻森民三
宝庫スマトラの全貌
スマトラ　スマトラ・ハイウェイ協会
1965

渡辺　光
東南アジア
朝倉書房　1971　　世界地理 3
第2部　インドネシア

政治・外交

アジア・アフリカ人民連帯日本委員会
インドネシア革命－血の教訓－
東京　東方書店
人民双書　2

アジア経済研究所
「インドネシア総選挙と関連諸問題」
セミナー
東京　1971

アジア経済研究所
インドネシアにおける「新秩序」政権の成立と展開
東京　1971

筆谷　稔
インドネシア行政官僚制の機能に関する覚書
京都　仏教大　1972
社会学部論叢　仏教大　6

外務省　アジア局第三課
インドネシアの自由独立政策は維持できるか
東京　1952

外務省　アジア局第三課
インドネシアの政党
東京　1952
ア三調書　丙　7号

外務省　アジア局第三課
日本インドネシア会議に関するイ紙論評
東京　1952

外務省　アジア局第三課
戦後におけるインドネシアの政治情勢
東京　1952

外務省　アジア局南東アジア課
インドネシア共和国国家建設八カ年計画プロジェクト一覧表
東京　1961

外務省　調査局第五課
インドネシア共和国の情勢
東京　1948
調五資料　5号

外務省　経済局第五課
パンチャシラーインドネシア国家の哲学的基盤（スカルノ博士述）
東京　1952

外務省　調査局第五課
蘭イ問題について（特にチェリボン協定以後昭和22年9月中旬までの状況）
東京　1947
調五資料　12号

外務省　調査局第五課
ノンヴィル協定と蘭イ情勢
東京　1948
調五資料　20号

外務省　調査局第一課
戦後におけるインドネシアの政治情勢
東京　1949

インドネシア　議会
桑港平和条約に関するインドネシア共和国議会議事録　外務省アジア局第三課訳
東京　外務省経済局第五課　1952

インドネシア　条約
インドネシア・オランダ連合協定
東京　外務省経済局第五課　1952

インドネシア　憲法
インドネシア合衆共和国憲法草案
外務省調査局第一課　訳
東京　外務省調査局第一課　1950

インドネシア　憲法
インドネシア共和国暫定憲法（1950年）
外務省アジア局第三課　訳
東京　外務省アジア局第三課　1952

インドネシア　法令
インドネシア共和国民法典
東京　日本インドネシア協会　1968

インドネシア　法令
インドネシア出入国関係法規　日本インドネシア協会　訳
東京　日本インドネシア協会　1957
インドネシア経済法規　第4巻

インドネシア　法令
省組織基準に関する大統領令（続）
東京　日本インドネシア協会　1975
インドネシア経済法令時報　№130

インドネシア　大使館（日本）
インドネシアの財政・経済・政治・治安の現状　ジュアンダ首席閣僚の国会報告
東京　1962

インドネシア　大使館（日本）
勝利の年－スカルノ大統領の独立記念日演説
東京　1962

インドネシア　大使館情報部（日本）
指導された民主主義
東京　1959

インドネシア開発５カ年計画－総論及び部門別計画－外務省アジア局東南アジア第二課　編訳
東京　外務省アジア局　1969

石田　雄
インドネシアの権力構造とイデオロギー
石田　雄　長井信一　編
東京　アジア経済研究所　1969
研究参考資料　145

海外技術協力事業団
インドネシア国家計画と国家間計画－インドネシア政府が要請している1972－1976年度のＵＮＤＰ援助
東京　1973
管理委員会第14回会議　1972年6月6日－23日

海外経済協力基金
インドネシア総選挙法および国民協議会・地方議会構成法について
東京　1971

岸　幸一
スカルノ体制の基本構造－「指導される民主主義」論－
東京　アジア経済研究所　1967
アジア経済調査研究双書　第131集

国際情報社
混迷するインドネシア（世界速報1966．5）
東京　国際情報社　1966

民主主義研究会
インドネシアの政治構造等の研究
東京　1970

日本貿易振興会　海外経済情報センター
インドネシア第２次５カ年開発計画の概要
東京　1975

日本インドネシア協会
インドネシア共和国建設５カ年計画
東京　1957

日本インドネシア協会
インドネシア政府要人録
東京　1975
インドネシア研究叢書 第40巻

日本インドネシア協会
スカルノ政治の全容
東京　1962
インドネシア研究叢書第24巻

日本国際政治学会
国際政治学のアプローチ
東京　1974
国際政治　50号

日本　総領事館（ジャカルタ）
スマトラ事件に関する一考察
ジャカルタ　1957

日本太平洋問題調査会　世界経済調査会
インドネシアの政治と経済
東京　1957
ラホール会議のための資料　第7号

日本　大使館（インドネシア）
インドネシアにおける外国人の国内法上の地位
東京　外務省経済局アジア課　1963
経ア資料第158号

尾村敬二
総選挙後のスハルト体制
東京　アジア経済研究所　1977
月例講演会資料　第51回

大塚久雄
後進資本主義の展開過程
東京　アジア経済研究所　1973
アジア経済調査研究双書　216

Roeder, O.G
笑みを浮かべた将軍－アジアの偉大な指導者スハルトー
O.G.レーダー著　加瀬英明　訳
東京　グヌング・アグング商会　日本出版貿易　1970

Siong, Gouw Glok
インドネシアにおける外国人の法的地位
ゴウ・ギョク・ション著　日本インドネシア協会訳編
東京　鹿島研究所出版会　1966

Suharto　（インドネシア大統領）
第27回独立記念日の前日，国会で行なわれたインドネシア共和国大統領の施政方針演説完訳　1972年8月16日　ジャカルタ
東京　日本インドネシア協会　1972

Sukarno（インドネシア大統領）
インドネシア革命の歩み　スカルノ大統領演説集　日本インドネシア協会編
東京　日本インドネシア協会　1965

東南アジア調査会
インドネシア国軍人事のフォロー・アップと人事面より見た国軍の行政面への進出状況
東京　1970
東南アジア・中東資料

東南アジア調査会
インドネシアの軍・政指導者一覧　1973年10月現在
東京　1973

東南アジア調査会
インドネシアの軍・政指導者一覧　1974
年版　1974 年10 月現在
東京　1974

東南アジア調査会
インドネシアの軍・政指導者一覧　1975
年版　1975 年12 月現在
東京　1975

東南アジア調査会
インドネシアの軍・政指導者一覧　1976
年版
東京　1977

東南アジア調査会
インドネシアの軍・政治指導者一覧　1977
年版　1977 年12月現在
東京　1978

梅沢達雄
スカルノ体制とインドネシア共産党── スカルノ体制の基本問題（Ⅱ）── 梅沢達雄・増田与著
東京　アジア経済研究所　1965

渡辺開作
インドネシアの政治と経済
東京　国際問題研究会　1969
月例講演会抄録　No. 56

早稲田大学　大隅記念社会科学研究所
インドネシアにおける日本軍政の研究
東京　紀伊国屋書店　1959

Wi lopo
インドネシア共和国ウィロポ首相の施政方針演説　上・下
東京　外務省アジア局第三課　1952

国内問題

Aidit ,D.N
新しいインドネシア　D.N.アイデット著
飯塚　興　訳
東京　新日本出版社　1958

Demin L.M
ムラビ山の雲　嵐の後のインドネシア
L.M.ジョーミン著　早川　徹　訳
東京　新時代社　1972

外務省　政務局情報部
インドネシア問題の経緯
東京　外務省政務局情報部　1949
情報部メモ　22号

外務省　調査局第一課
インドネシアの人口問題について
東京　1951

外務省
東印度民族運動の現状
東京　1947

外務省　アジア局第三課
「シャハト報告」に対するインドネシア国の新聞論調
東京　1952

Hindley ,Donald（ドナルド・ヒントレー）
インドネシア共産党　1951 －63年
梅沢達雄　訳
東京　アジア経済研究所　1965
所内資料

インドネシアセンター
バンドン反華僑暴動── 八・五事件ナショナリズムの爆発
東京　1973

インドネシアセンター
ジャカルタ暴動公式記録
東京　1974

インドネシア　大使館（日本）
西イリアン問題解説
東京　1961
特別資料　No.006／61

イシャク，イスムワイル
妖怪－インドネシア内乱の真相
東京　世界書院　1965

インドネシア共産党
躍進する150万の共産党，インドネシア共産党第6回大会　1959　日本共産党中央委員会　訳
東京　日本共産党　1960

河部利夫
東南アジア華僑社会変動論
東京　アジア経済研究所　1972
研究参考資料　183
第2章　中華民国成立期における在インドネシア華僑の動向　永積　昭

小林良正
インドネシア独立のための闘争
東京　潮流社　1949
潮流講座　経済学全集　第2部　第5

越野菊雄
独立と革命　－若きインドネシア－
東京　インドネシア経済研究所　1958
付録：インドネシア独立の蔭に　インドネシア民族運動の回顧

Lubis, Mochtar
明日はない── インドネシア栄光への道──
モフタール・ルビス著　木村　操　訳
東京　育英開発舎　1969

Malaka, T
大衆行動　インドネシア共和国への道　日野遼一　訳
東京　鹿砦社　1975

南満州鉄道株式会社　東亜経済調査局
蘭領印度に於ける華僑
東京　1949
南洋華僑叢書　第4巻

奥　源造
インドネシア革命－9.30事件と3.11政変－
東京　潮出版　1966
潮新書　10

大森　実
大森　実　選集2
東京　講談社　1975
内容：スカルノ最後の真相他

大森　実
スカルノ最後の真相
東京　新潮社　1967

世界経済調査会
インドネシア－西イリアン問題の背景－
東京　1957
調査メモ　第27号

Soebardjo, Achmad.
インドネシアの独立と革命
スバルジョ著　奥源造　編訳
東京　竜溪書舎　1973

Sukarno(インドネシア大統領)
スカルノ自伝── シンディ・アダムに口述──
黒田春海　訳
東京　角川書店　1969
角川文庫

Sukarno(インドネシア大統領)
わが革命の再発見　スカルノ著
岡倉古志郎　訳
東京　理論社　1962

Sumantri,Raden Hadji Iwa Kusuma
インドネシア民族主義の源流　イワ・クスマ・スマントリ自伝　後藤乾一　訳
東京　早稲田大学出版部　1975
早稲田大学社会科学研究所翻訳選書

谷口五郎
スカルノ嵐の中を行く
東京　朝日新聞社　1966

戸川猪佐武
燃えつきたスカルノ
東京　濤書房　1971

トリビューン社
インドネシア革命ー9.30事件と今後の展望ー
トリビューン社編　刀江書院編集部訳
東京　刀江書院　1967

Vlekke,B.H.M.
1965年のインドネシア
経済企画庁経済協力室訳
東京　1956

社会・労働

舟橋尚道
マラヤ，インドネシアの労働事情
東京　アジア経済研究所　1963
調査研究報告双書　42集

外務省.アジア局第四課
インドネシアの労働事情
東京　1952

井草邦雄
胎動するインドネシアの農村社会
東京　アジア経済研究所　1977
月例講演会資料　第51回

インドネシア　法令
インドネシアの労働法　青木俊男著
アジア経済研究所　1969
海外投資参考資料　50

インドネシア　法令
インドネシアの労働法　香川孝三　訳
東京　アジア経済研究所　1974
経済協力調査資料　第51号
監修：塚本重頼

インドネシア　法令
インドネシア労働関係主要法規
インドネシア経済法規研究会
インドネシア通商産業協会共訳
東京　インドネシア経済法規研究会　1957
インドネシア経済法規　第2巻

インドネシア　法令
労働基本法及び関係諸法規
東京　日本インドネシア協会　1971
インドネシア企業関係法規双書第12編

板垣与一
インドネシアの経済社会構造
東京　アジア経済研究所　1963
調査研究報告双書　40

板垣与一
インドネシアの政治社会構造
東京　アジア経済研究所　1961
調査研究報告双書　13

岸　幸一
インドネシアの社会構造　岸幸一　馬渕東一編著
東京　アジア経済研究所　1969
アジア経済調査研究双書　172

小林良正
東南アジア社会の類型－インドネシア社会構成史－
東京　日本評論社　1949
社会構成史体系　2部：東洋社会構成の発展

毎日新聞社　人口問題調査会
インドネシアの人口
東京　1956
資料　55

南　亮三郎
インドネシアの人口と経済
東京　アジア経済研究所　1967
アジア経済調査研究双書　144

日本貿易振興会
インドネシアの労働関係法
東京　1974

日本貿易振興会　海外経済情報センター
インドネシアの日系企業における従業員等との意思疎通の問題と労務管理のポイント
東京　1974

日本貿易振興会　海外経済情報センター
インドネシアにおける，気候・人種，宗教，慣習等の特質と労働に及ぼす影響
東京　1975

日本エカフェ協会
インドネシアの社会構造　吉田忠雄等著
東京　1969
日本エカフェ協会資料45

日本経済調査協議会
インドネシアの労働事情
東京　1972
日経調資料　72−5

日本労働協会
わが国海外進出企業の労働問題；インドネシア
東京　1976

斉藤吉史
東南アジアの構造
朝日新聞社　1971
第1部　第3章　地方主義のきわ立つ国　インドネシアとパキスタン，第2部　第3章　ムシャワラをはねのけた地方主義　議会政治から権威主義に帰ったインドネシアとパキスタン

経　済

網野　誠
インドネシアの商標・特許法
東京　アジア経済研究所　1976
経済協力調査資料　62

有馬駿二
インドネシア　有馬駿二・長田秋雄共著
東京　通商産業調査会　1957
東南アジアの経済　2

アジア・アフリカ経済委員会
インドネシア外国資本投資法と解説
東京　1968

アジア・アフリカ経済研究会
外国資本投資に関する法律および政策
法規シリーズ　第5集
内容国：アフガニスタン，ビルマ，インドネシア，セイロン

アジア経済研究所
インドネシア経済の最近の動向
東京　1959
研究参考資料　1

アジア経済研究所
インドネシア経済の現状とその打開の方策
東京　外務省経済協力局　1969

アジア経済研究所
インドネシアの投資法
アジア経済研究所経済法資料委員会編
東京　1971
経済協力調査資料　第14号

アジア経済研究所
アジアのマンパワー・プログラム―インド・パキスタン・インドネシア・韓国について
東京　1971

アジア経済研究所
経済発展のイメージ── インドネシア，マレーシア，タイ三国におけるオピニオンリーダーの調査──
東京　1973

朝日新聞社　調査研究室
激動するインドネシア
東京　1963

福地崇生
インドネシア経済の計量経済学的分析
東京　アジア経済研究所　1966
研究参考資料　93

福地崇生
インドネシア経済開発基礎調査　福地崇生・中山恒夫　編
東京　海外技術協力事業団　1973

Freeman, Roger A.
南アジアの自由主義と社会主義── マレイシアとインドネシアの経済分析── ロジャー・A. フリーマン著　鹿島平和研究所訳
東京　鹿島研究所出版会　1970
（鹿島平和研究所選書）

外務省　アジア局第三課
インドネシア共和国の経済開発計画について
東京　1953　ア三調書甲　8号

外務省　調査局第五課
戦後におけるインドネシアの経済情勢
東京　1948

外務省　経済局
インドネシア
日本国際問題研究所　1972
世界各国経済ハンドブック　20

外務省　経済局
インドネシアの経済五カ年計画及び外資政策
東京　1956

外務省　経済局
1953年－55年インドネシア一般経済統計
東京　1956
参考資料　1

外務省　経済局アジア課
インドネシアにおける外国借款の実態調査
東京　1960
経亜資料　第92号

外務省　経済局アジア課
インドネシア綜合開発8ケ年計画の進歩状況
東京　1965
経ア資料　第207号

外務省　経済局第五課
貿易と財政上よりみたインドネシアの経済情勢
東京　1954
第4章　財政状況はインドネシア政府国家企画庁編" Inonesia's econmic developments, 1954"より取材

外務省　経済局第五課
インドネシア経済事情
東京　1957

外務省　経済局第五課
インドネシア政府の為替証明制度廃止に関する資料
東京　1952

外務省　調査局第五課
戦後におけるインドネシアの経済情勢
東京　1948

外務省　経済協力局
インドネシア経済協力調査団調査報告
東京　1969

外務省　経済協力局
各国の経済開発の現状と問題点
第6　インドネシア
東京　1965

訪インドネシア経済使節団
政府派遣訪インドネシア経済使節団報告書－1968
n. p.　1969

訪インドネシア経済使節団（1968年9－10月）
訪インドネシア経済使節団報告書
n. p.　1969

林　利宗
インドネシアの金融事情
東京　アジア経済研究所　1973
アジア経済調査研究双書　214

稲田　繁
インドネシアの総合開発計画について
東京　経済団体連合会　1961
経団連パンフレット　No.59

インドネシア　中央統計局
インドネシア経済統計図表　1953年1月－12月　日本インドネシア協会訳
東京　インドネシア通商産業会　1954
インドネシア研究叢書　第4巻

インドネシア大統領財政経済報告（1971年1月）及び1971年度予算案
海外経済協力基金訳
東京　海外経済協力基金　1971
調査資料　第96号

インドネシア銀行
暗償初年度のインドネシア経済ーインドネシア銀行 1958 ー 59年年次報告
日本インドネシア協会訳
東京 日本インドネシア協会 1960
インドネシア研究叢書 第18巻

インドネシア銀行
インドネシア経済開発の諸条件ーインドネシア銀行 1956 ー57 会計年度報告
インドネシア通商産業協会訳
東京 インドネシア通商産業協会 1958
インドネシア研究叢書 第14巻

インドネシア銀行
インドネシア経済再建諸対策
インドネシア銀行 1957 ー 58 年会計年度報告
日本 インドネシア協会 1959
インドネシア研究叢書 第17巻

インドネシア銀行
インドネシアの経済復興ー 1953 ー54 年度インドネシア銀行年次報告
インドネシア通商産業協会訳
東京 インドネシア通商産業協会 1955
インドネシア研究叢書 第7巻

インドネシア銀行
インドネシア経済の新転換ー 1954〜1955年度インドネシア銀行年次報告
東京 インドネシア通商産業協会
1955
インドネシア研究叢書 第9巻

インドネシア銀行
インドネシア経済の新基盤ー1955年ー1956年度 インドネシア銀行年次報告
東京 インドネシア通商産業協会 1956
インドネシア研究叢書 第10巻

インドネシア銀行
インドネシア社会主義経済の実体ー 1959 ー 60年度インドネシア銀行報告書
日本インドネシア協会訳
東京 日本インドネシア協会 1962
インドネシア研究叢書 第25巻

インドネシア 法令
インドネシア税制主要法規 日本インドネシア協会訳
東京 日本インドネシア協会 1958
インドネシア経済法規 第6巻

インドネシア 法令
東南アジア経済協力関係法令集
インドネシア
東京 アジア協会 1960

インドネシア経済調査団
インドネシア経済の現状
1968

インドネシアの投資環境
東京 アジア経済研究所 1968
海外投資参考資料 第38号

板垣与一
インドネシアの経済開発と国際収支
東京　アジア経済研究所　1964
研究参考資料　60

仁尾一郎
アジア的貧困の経済構造について── J.H.ブーケ教授のアジア経済論を中心として──
東京　朝日新聞社　1953
朝日新聞調査研究室報告　社内用　46

海外貿易振興会
インドネシアにおける外国資本の管理と導入状況
東京　1957
Jetro調査資料　第33号

海外経済協力基金　調査部
インドネシア「投資調整局」の設置および投資申請手つづきの改正
東京　1973
調査資料　126

海外経済協力基金
インドネシア　外国商事会社の活動制限措置について
東京　1971

海外経済協力基金
インドネシアプロジェクト調査団報告書
東京　1970

海外経済協力基金
インドネシアの投資環境－企業進出の留意点
東京　1972

海外経済協力基金
国別経済報告　インドネシア
東京　1972

海外経済協力基金　調査部
インドネシア外資投資法，国内投資法，配当税法，法人税法，所得税法の改正について
東京　1970
調査資料　第88号

鹿島平和研究所
東南アジア開発選書　第6　改訂版
東京　鹿島研究所出版会　1970
内容：第6インドネシア（谷口五郎）

経済企画庁　官房経済協力室
インドネシアに対する米国ソ連の経済援助の動向
東京　1956

経済企画庁　調査部調査課
インドネシアの国民所得　1951−1952
イマルク推計に対する批判
東京　1957
経企調外　昭和32年23号

経済審議庁　調査部調査課
インドネシア開発計画
東京　1955
経審調外資料　昭和30年21号

経済審議庁　調査部調査課
インドネシアの財政　国際収支
東京　1953
経審調外　昭和28年30号

経済産業諮問委員会
インドネシア投資環境調査報告書
東京　BIAC日本委員会　1969

経済産業諮問委員会
インドネシア投資環境追跡調査報告書
BIAC専門委員会第2回報告
東京　BIAC日本委員会　1971

国際開発センター
インドネシア経済開発基礎調査　中間報告
東京　1972

国際開発センター
インドネシア経済開発基礎調査── マクロモデルによる長期予測──（中間報告）
東京　1972

国際開発センター
経済基盤施設調査報告書── インドネシア──
東京　1972

国際開発ジャーナル社
インドネシア政府認可外国投資一覧
東京　1973
注：インドネシア経済白書 1973 年版付録

国際開発ジャーナル社
インドネシア経済白書　1971 年版
東京　1971
アジア経済白書シリーズ　No.3

国際開発ジャーナル社
インドネシア経済白書　1973 年度版
政府・国際機関のデータによる経済，産業環境の概要
東京　1973
アジア経済白書シリーズ　No.5　国際開発ジャーナル情報　73−1

国策パルプ工業㈱南方資源開発室
インドネシア租税関係法　メモ
国策パルプ工業㈱南方資源開発室仮訳
東京　1968
ストウロ博士編　インドネシア租税法令集 1962 の抄訳

国策パルプ工業㈱．南方資源開発室
インドネシア外資関係等法令，仮訳　国策パルプ工業㈱南方資源開発室　訳
東京　1968

国策パルプ工業㈱．南方資源開発室
インドネシア法人税及び償却規則　仮訳
国策パルプ工業㈱南方資源開発室　訳
東京　1968

小松芳明
インドネシアの租税制度
東京　アジア経済研究所　1972
アジア経済調査研究双書　204

久米孝彦
インドネシアー複合経済の背景
東京　アジア経済研究所　1966
アジアを見る眼　3

増井　正
インドネシア民間投資ガイドラインー投資の手引きと窓口機構の解説ー
東京　国際開発ジャーナル社　1971
監修：大来佐武郎

日本貿易振興会
インドネシアの税制
東京　1975

日本貿易振興会
今日のインドネシアにおける投資
東京　1968
貿情　68―7

日本貿易振興会　海外経済情報センター
アジア諸国開発側面調査：インドネシア・南スラウェシ州の開発状況
東京　1975
投資調査　No.99

日本貿易振興会　海外経済情報センター
インドネシアの金融制度；資本市場整備への基盤を探る
東京　1975

日本貿易振興会　海外経済情報センター
インドネシアにおける外資系企業の販売政策制度と問題点
東京　1972
投資調査　No.17

日本貿易振興会　海外経済情報センター
インドネシアにおける外資企業等の人事・労務政策の実態
東京　1975

日本貿易振興会　海外経済情報センター
インドネシアにおける企業経営と資金調達
東京　1976
投資調査　No.106

日本エネルギー経済研究所
ＥＲＡＰとＮＩＯＣとの利権契約　ＰＥＲＭＩＮＡとＩＩＡＰＣＯの利権契約
東京　1967

日本インドネシア協会
インフレ下　経済問題　1960年の輸出入貿易の動向
東京　1962
インドネシア研究叢書　第26巻

日本インドネシア協会
インドネシア総合開発計画 1961—69 年度
東京　1961
インドネシア研究叢書　第23巻

日本インドネシア協会
所得税条令及び関係諸法規
東京　1970
インドネシア企業関係法規双書　第5編

日本経済調査協議会
インドネシアの経済開発
東京　1971
調査報告　70—6

日本経済調査協議会
インドネシアの投資環境
東京

日本機械工業連合会，海外機械委員会，アジア小委員会
インドネシア総合開発8ケ年計画における工業化政策と農業機械の重要
東京　1964

日本工業倶楽部
経済調査資料　第17号
東京　1963
内容：インドネシア事情

日本国土開発研究所
インドネシアの外資導入法について
東京　1967

日本醬油協会　東南アジア調査団
東南アジア海外投資調査報告書（中華民国，タイ王国，インドネシア共和国）
1970

日本　総領事館（ジャカルタ）
インドネシアの協同組合事情
東京　農林省協同組合部　1955

日本　総領事館（ジャカルタ）
インドネシア共和国経済事情概観
東京　1953

日本太平洋問題調査会
後進国開発問題とインドネシア
東京　1952
太平洋問題資料28

日本　大使館(インドネシア)
インドネシア　予算調書　1959 年度
ジャカルタ　1959

日本　大使館(インドネシア)
インドネシア主要経済指標
ジャカルタ　1974

野村総合研究所
インドネシアの投資環境
鎌倉　1969

大阪商工会議所
豪州，ニュージーランド，インドネシア，豪州東南アジア経済調査団報告書
大阪　1964

Pardede, T.D.
インドネシア経済自立論　T.D.パルディディ著　秋山恭伸　訳
東京　アジア・アフリカ経済研究会 1967

坂口幹生
後進国開発における主体的条件── インドネシア共和国の場合──
長崎　長崎大学東南アジア研究所　1969
東南アジア研究叢書　3

世界経済情報サービス
インドネシア
東京　1975
ARCレポート総集

世界経済情報サービス
インドネシアにおける資金調達事情
東京

森林資源対策協議会
インドネシア国外資導入法
安宅産業株式会社　訳
東京　1959

正田寿一郎
タイ，インドネシアの会社法　正田寿一郎・青木俊男　訳
東京　アジア経済研究所　1971
経済協力調査資料　8

東南アジア近代開発論
大阪　スーパテリア出版部　1974
4. インドネシア　シンガポール

Tusin, Omar.
指導された国民経済機構における工業問題
オマル・トシン著　日本インドネシア協会 訳
東京　日本インドネシア協会　1960
インドネシア研究叢書　第19巻

Uli, Amani
インドネシア簿記会計概要 Amani Uli 著
国策パルプ工業株式会社南方資源開発室記
東京 国策パルプ工業株式会社南方資源開発室 1968−69

U.S. Dept. of Commerce.
インドネシアにおける投資事情
米国商務省著 外務省経済局第五課 訳
東京 外務省 1958

外務省 経済局
1953 − 55年における対インドネシア為替統計
東京 1956
参考資料 3

外務省 経済局
1953 年−55 年における対インドネシア通関統計
東京 1956
参考資料 4

外務省 経済局アジア課
インドネシア輸入関税定率表
東京 1964
経ア資料 第193 号

貿　易

アジア経済研究所
オーストラリアの貿易・為替・関税・外資政策
東京 1971
経済協力調査資料 第17 号

アジア経済研究所
インドネシア貿易統計 1951−1961
東京 1964
研究参考資料 第70集

外務省 調査局
一九四八，一九四九両年のインドネシア貿易及び主要産業概観
東京 1950

外務省 経済局アジア課
インドネシア共和国経済貿易概観
東京 1961
経亜資料 第109 号

外務省 経済局第五課
カテゴリー別輸入商品リスト（インドネシア）
東京

外務省 経済局第五課
日本インドネシア貿易の概況
東京 1952

外務省　経済局第五課
インドネシアのコプラ生産及び輸出状況に関する件
東京　1952

外国為替貿易研究会
日本　インドネシア貿易実務必携
東京　1960

外国為替貿易研究会
インドネシアの貿易実態
東京　1954
世界貿易網　No.38

インドネシア　中央統計局
国別・商品部別インドネシア輸入統計表
1961年　インドネシア中央統計局　編
東京　日本インドネシア協会　1963
インドネシア研究叢書　第30巻

インドネシア商務省
BE輸入品目改正令－1967年　8月14日分布－　日本インドネシア協会　訳
東京　日本インドネシア協会　1967

インドネシア通商産業協会
インドネシア民間通商親善使節団招待報告書議事録及提案事項
東京　1954

インドネシア通商産業協会
インドネシア輸入関税定率表
東京　1954
インドネシア研究叢書　第6巻

インドネシア通商産業協会
インドネシア輸出入統計月報　輸出の部
東京　1956

自立経済審議会貿易部会
インドネシア貿易事情
東京　1951

経済安定本部　総裁官房調査課
東南アジア諸国の生産と貿易　其の一　インドネシア
東京　1950
極東アジア市場調査四　経調外資料
昭和25年23号

国際開発センター
インドネシア経済開発基礎調査－輸出市場としての日本に関する調査－（中間報告）
東京　1972

国際開発センター
インドネシア経済開発基礎調査－製造品輸出に関する調査－（中間報告）
東京　1972

国際開発ジャーナル
インドネシアの輸出入および外国為替取引に関する改正－改正点とその背景を分析解説－
東京　国際日本協会出版局　1970
アジア法規シリーズ　No.1

永積　昭
オランダ東インド会社
東京　近藤出版社　1971
世界史研究双書　6

日本貿易振興会
インドネシア現行輸出法規事情
東京　1967

日本貿易振興会
インドネシアにおける外国貿易・為替制度
東京　1967

日本貿易振興会
インドネシアの電線市場調査
東京　1973
マーケティング・シリーズ789

日本貿易振興会
インドネシアの自動車市場調査
東京　1970
マーケティング・シリーズ588

日本貿易振興会
インドネシアの界面活性剤市場調査
東京　1975
マーケティング・シリーズ　841

日本貿易振興会
インドネシアの革靴市場調査
東京　1976
マーケティング・シリーズ　868

日本貿易振興会
インドネシアの眼鏡枠およびサングラスの市場調査
東京　1975
マーケティング・シリーズ　845

日本貿易振興会
インドネシアの陶磁器食器市場調査
東京　1972
マーケティング・シリーズ　765

日本貿易振興会
（1971年）ジャカルタ見本市参加報告書
会期　1971.7.17－同8.28
東京　n.d.

日本貿易振興会
1972年ジャカルタ見本市参加報告書
東京　n.d.

日本貿易振興会．海外経済情報センター
インドネシアの一般炭の開発状況とわが国の輸入可能性
東京　1975

日本貿易振興会．大阪本部
インドネシア　（改訂版）
大阪　1976
ジェトロ貿易市場シリーズ　No.149

日本インドネシア協会
BE品目の新分類表　1968年1月改正
日本インドネシア協会　訳編
東京　1968
インドネシア研究叢書　第32巻

日本インドネシア協会
インドネシア貿易統計　輸出の部　1955年度
東京　1956

日本インドネシア協会
インドネシア貿易統計　輸入の部　1955年度
東京　1956

日本インドネシア協会
インドネシア貿易統計　1956年度
東京　1957

日本インドネシア協会
インドネシア貿易綜合統計一覧表　1957
東京　1958
インドネシア研究叢書　第16巻

日本インドネシア協会
インドネシア・マレーシヤ経済断交の影響
貿易問題を中心に
東京　1964
インドネシア研究叢書　第31巻

日本インドネシア協会
ジャカルタの輸出業者リスト
東京　1973

日本インドネシア協会
新輸出入規則および輸入関税定率表　1963年5月27日改正
東京　1963
インドネシア研究叢書　第28巻

日本インドネシア協会
輸入商品の新分類表並に一般説明　1962年9月4日改正　同年10月1日より実施
東京　1962
インドネシア研究叢書　第27巻

日本インドネシア協会
輸入税，輸入税率，付加税，超過利得税および一部／全部の輸入税免除に関する新規則
日本インドネシア協会　編訳
東京　1968
インドネシア研究叢書　第33巻

日本繊維意匠センター
輸出繊維市場の色彩
大阪　1959
内容：シンガポール，インドネシア　etc

日本水産物輸入協会
冷凍えび買付促進調査報告書ータイ・マレイシア・シンガポール・インドネシア・フィリッピンー
東京　1969

坂田善三郎
インドネシア貿易流通機構
東京　アジア経済研究所　1960
調査研究報告双書　3

世界経済調査会
蘭領印度主要港の貿易状況
東京　1947

石油連盟
わが国の輸入原油
東京　1972

須山　卓
インドネシア貿易と自転車産業
東京　アジア経済研究所　1959
研究参考資料　3

通商産業省
インドネシア貿易の手引
大阪　貿易刊行会　1951
実務手引シリーズ

通商産業省　調査統計部調査課
インドネシアの産業貿易事情
東京　通商産業調査会　1951
調査資料　第17集

吉武正彦
インドネシア市場調査報告　吉武正彦　黒須実著
1969

雑豆輸入募金協会
戦前の東南アジア及びオーストラリア地域における雑豆の生産及び貿易概況
1966
内容国：ビルマ，マラヤ，タイ，ベトナム，ラオス，カンボジア，フィリッピン，インドネシア，オーストラリア，ニュージーランド

産　　業

アジア経済研究所
東南アジアの漁業開発　第3インドネシアの漁業経済と漁業政策
東京　1973

アジア経済研究所
インドネシアの石油開発における生産分与方式契約
東京　1973

動力炉・核燃料開発事業団
ウラン鉱業事情調査報告書　インドネシア
東京　1975
調査期間：昭和50年7月－8月

ガジャマダ大学．経済学部経済調査所
インドネシア更紗工業論　ガシャマダ大学経済学部経済調査所　著　電力中央研究所　訳
東京　電力中央研究所　1959

外務省．経済局第五課
インドネシアの工業化計画
東京　1951

インドネシア・中央統計局
インドネシア工業及び企業統計
インドネシア通商産業協会　訳
東京　インドネシア通商産業協会　1957
インドネシア研究叢書　第13巻

インドネシア　法令
インドネシア外資導入法および関係諸法規
東京　日本インドネシア協会　1970
インドネシア企業関係法規双書　第3編

インドネシア　法令
インドネシア配当税法および関係諸法規
東京　日本インドネシア協会　1971
インドネシア企業関係法規双書　第10編

インドネシア　法令
インドネシア販売税法および関係諸法規
東京　日本インドネシア協会　1972
インドネシア企業関係法規双書　第14編

インドネシア　法令
インドネシア法人税条令および償却規制
東京　日本インドネシア協会　1970
インドネシア企業関係法規双書　第2編

インドネシア　法令
インドネシア法人税条令改正法律
インドネシア外資導入法および国内投資法の改正法律
東京　日本インドネシア協会　1970
インドネシア企業関係法規双書　第8編

インドネシア　法令
インドネシア印紙税条令および償却規制
東京　日本インドネシア協会　1970
インドネシア企業関係法規双書　第6編

インドネシア　法令
インドネシア株式会社設立関係諸法規
東京　日本インドネシア協会　1969
インドネシア企業関係法規双書　第1編

インドネシア　法令
インドネシア鉱業法案　通商産業省鉱山局訳
東京　通商産業省

インドネシア　法令
インドネシア鉱業関係法規
東京　日本インドネシア協会　1957
インドネシア経済法規　第3

インドネシア　法令
インドネシア鉱業基本法および関係諸法規
東京　日本インドネシア協会　1971
インドネシア企業関係法規双書　第13編

インドネシア　法令
インドネシア石油鉱業法案　通商産業省鉱山局　訳
東京　通商産業省

インドネシア　法令
インドネシア石油鉱業法案
東京　石油資源開発株式会社　1959

インドネシア　法令
インドネシア資産税条令および関係諸法規
東京　1970
インドネシア企業関係法規双書　第7編

インドネシア塩懇談会
インドネシア一次産品買付促進調査団報告書：天日塩
東京　1964

インドネシア鉄鋼開発協議会
インドネシア鉄鋼開発調査報告書
東京　1963

インドネシア通商産業協会
インドネシア会社法の変遷
東京　1954
インドネシア研究叢書　第2巻

インドネシア通商産業協会
未開発のインドネシア鉄と石炭
東京　1954
インドネシア研究叢書　第5巻
付録：アスファルトとマンガン鉱

海外電力調査会
インドネシアの電気事業
東京　1964
海外電力双書　No.17

海外電力調査会
フィリピン，インドネシアの電力事情
東京　アジア経済研究所　1965
研究参考資料　89

海外技術協力事業団
インドネシア漁業技術協力計画総合報告書
東京　1972

海外技術協力事業団
インドネシア共和国ＢＩＴＵＮＧ港近代化及び南北スラウエシ両州道路改修復計画調査報告書
東京　1968

海外技術協力事業団
インドネシア共和国ベラワン港整備計画調査報告
東京　1973
ベラワン港整備計画調査団々長：大野正夫，木本英明　調査期間：1973年2月27日－3月31日

海外技術協力事業団
インドネシア共和国カリマンタンバリト河流域開発計画調査報告書－資料収集および調査プログラム
東京　1971

海外技術協力事業団
インドネシア共和国電力事業開発拡充基礎調査報告書
東京　1969

海外技術協力事業団
インドネシア共和国合成・化学繊維工業開発計画調査報告書
東京　1972
調査期間：1972年7月18日－8月16日

海外技術協力事業団
インドネシア共和国　東ジャワ電力長期計画調査報告書
東京　1972

海外技術協力事業団
インドネシア共和国住宅開発計画調査報告書
東京　1973

海外技術協力事業団
インドネシア共和国基礎化学工業開発計画調査報告書
東京　1972
調査期間：1972年9月4日－10月10日

海外技術協力事業団
インドネシア共和国内航船舶調査報告書
東京　1972

海外技術協力事業団
インドネシア共和国ポンチャック橋梁架設計画調査報告書
東京　1965

海外技術協力事業団
インドネシア共和国ラロナ河電源開発計画予備調査報告書
東京　1964

海外技術協力事業団
インドネシア共和国　スラバヤ河改修計画調査報告書
東京　1973
日程：1971年12月21日－1972年3月19日

海外技術協力事業団
インドネシア共和国水力調査報告書
第1巻　総括編
第2巻　各論編
第3巻　資料編
東京　1971

海外技術協力事業団
インドネシア共和国鉄鋼業開発計画調査団報告書
東京　1973

海外技術協力事業団
インドネシア航行補助施設復旧調査報告書
1972年度
東京　1973

海外技術協力事業団
インドネシア国電子航行援助システム整備計画調査報告書
東京　1974
調査団長：豊福滋善　現地調査
日程：昭和48年12月2日－12月15日

海外技術協力事業団
インドネシア国スラバヤ・グレービング・ドック建造工事調査報告書
東京　1971

海外技術協力事業団
インドネシア職業訓練センター（ウジュン・パンダン）設置事前調査団調査報告書
東京　1973
調査日程：昭和47年10月16日－11月9日

海外技術協力事業団
西部ジャワ地域チタルム水力発電計画調査報告書（インドネシア共和国）
東京　1973

海外技術協力事業団
スラウエシ工業職業訓練センター設置（インドネシア）実施調査団調査報告書
東京　1973

海外技術協力事業団
東南アジア6カ国鉄鋼業開発拡充計画調査報告書
東京　1969

海外経済協力基金調査部
インドネシア工業の現状 — 世銀調査レポートより
東京　1972

海外建設協力会
インドネシア国建設業建出基礎調査報告書
東京　1969

海外鉄道技術協力協会
インドネシア国鉄道高速化計画調査報告書
東京　1974
海外技術協力事業団の委託による。調査団長：新井清之助　現地調査日程：昭和48年6月4日－7月4日

経済安定本部　総裁官房経済計画室
インドネシア産業振興対策
東京　1951

経済発展協会　国際資本移動調査会
プルタミナ（インドネシア国営石油会社）
東京　1974
国際資本移動調査会特別調査　No.5

経済発展協会　国際資本移動調査会
インドネシア鉱業会社
東京　1975
国際資本移動調査会特別調査　No.7

経済審議庁　調査部
インドネシアの産業計画
東京　1955
経審調外　昭30

金属鉱業事業団
インドネシアの鉱業事情
東京　1974
海外資料　第60号

金属鉱物探鉱促進事業団
インドネシア共和国鉱物資源開発基礎調査　第4巻
東京　海外技術協力事業団，金属鉱物探鉱促進事業団　1972
地質調査：地化学探査報告書　調査期間：昭和46年10月29日－12月29日

金属鉱物探鉱促進事業団
海外地質構造調査報告書：インドネシア共和国・ハルマヘラ地域
東京　1972

金属鉱物探鉱促進事業団資料センター
インドネシア鉱業への外国企業参加について
東京　1971
海外資料　30

国際協力事業団
インドネシア国灌漑関係総合報告書
東京　1975

日本貿易振興会
インドネシアにおけるコンサルティングおよびエンジニアリング企業調査
東京　1974

日本貿易振興会
インドネシアの土木建設業界の実情
東京　1973
機計ＰＬＴ－№９－７３

日本貿易振興会
インドネシアの外資系企業－政策運用の実態と経営上の問題点－
東京　1973

日本貿易振興会　機械部
インドネシアのプラント据付，配管工事電気工業者調査
東京　1975

日本貿易振興会
インドネシアの水産業と魚粉
東京　1975
輸入調査シリーズ　47

日本貿易振興会　海外経済情報センター
インドネシア地域開発重点地区の開発状況；カリマンタン州，スラウェシ州，東部ジャワ州
東京　1976

日本貿易振興会　海外経済情報センター
インドネシアにおける工業団地開発
東京　1976
投資調査　№108

日本貿易振興会　海外経済情報センター
インドネシアにおける民族系企業の抬頭と華人資本
東京　1975

日本貿易振興会　海外経済情報センター
インドネシアの木製家具
東京　1974

日本貿易振興会　機械部
インドネシアにおける欧米コンサルティング・エンジニアリング企業のサービス体制
東京　1976
プラント調査　No.14－76

日本貿易振興会　機械部
プラント関係基礎情報　インドネシア
東京　1975
プラント基礎調査　No.7－75

日本インドネシア協会
インドネシア中小工業調査報告書
東京　1960

日本インドネシア協会
インドネシア所得税，資産税，法人税の徴収方式（ＭＰＳ－ＭＰＯ方式）
東京　1970
インドネシア企業関係法規双書　第4篇

日本インドネシア協会
1970年度所得税税率の決定および説明他
東京　1970
インドネシア企業関係法規双書　第9編

日本機械輸出組合
インドネシアの中小工業の現状と問題点等に関する調査報告書
1970

日本工営株式会社
インドネシア共和国ブランタス河流域水資源開発調査－要約報告書－　調査期間：1972年8月27日－12月26日
東京　海外技術協力事業団　1973

日本　大使館（インドネシア）
インドネシア石油政策の過去および現在
東京　外務省経済局アジア課　1962
経ア資料　第141号

西イリアン産業開発株式会社
ニューギニア島－西イリアン開発の緊急重要性に就て
1966

大阪商工会議所
東南アジア中小企業（医薬，化粧品）進出基礎調査団報告書－タイ・インドネシア・フィリピン－ 1971年
大阪　1972

通商産業省　インドネシア一次産品開発促進調査団カリマンタン班
インドネシア一次産品開発促進調査団報告書
東京　通商産業省貿易振興局　1970

通省産業省　インドネシア一次産品開発促進調査団スラウェシ班
インドネシア一次産品開発促進調査団報告書
東京　通商産業省貿易振興局　1970

パレンバンの石油部隊刊行会
パレンバンの石油部隊
東京　産業時報社　1973

蘭部竜一
東南アジアの鉱産資源(Ⅲ)ーインドネシア
東京　アジア経済研究所　1967
文献解題シリーズ　15

水産研究会
スマトラの水産事情
東京　1953
研究資料　69号

農　　業

電力中央研究所　電気事業研究委員会
ボルネオ島の森林資源ーカリマンタン・英領北ボルネオ・サラワク・ブルネイの森林資源について
東京　1959
資料室資料海外　第48号

電力中央研究所　電気事業研究委員会
インドネシアの森林資源ースラウエシ島の森林資源について
東京　1960
資料室資料海外　第57号　未定稿

電力中央研究所　電気事業研究委員会
インドネシアの森林資源ーカリマンタン森林資源開発試案
東京　1960
資料室資料海外　第58号　未定稿

電力中央研究所　電気事業研究委員会
スマトラ島の森林資源ー樹種について
東京　1961
資料室資料海外　第65号　未定稿

深沢八郎
インドネシア・マレーシアにおけるプランテーションの発展と変貌
東京　アジア経済研究所　1965
研究参考資料　78

外務省　経済協力局
インドネシア農業センター予備調査報告書
東京　1967

インドネシアブル島調査団
インドネシアブル島調査団報告書
東京　インドネシアブル島森林開発協力会
1964

インドネシア・センター
インドネシアの森林開発と日本の果たす役割に就いて
東京　1971

インドネシア　法令
インドネシア農地基本法
日本インドネシア協会　訳
東京　日本インドネシア協会　1961
インドネシア経済法規　第7

インドネシア　法令
インドネシア林業基本法および関係諸法規
東京　日本インドネシア協会　1971
インドネシア企業関係法規双書　第11編

インドネシア　法令
インドネシア林業・水産業関係法規
インドネシア経済研究会　編訳
東京　インドネシア経済法規研究会 1957
インドネシア経済法規　第5

インドネシア・メイズ開発輸入協議会
インドネシア・メイズ買付促進調査報告書
東京　1965

インドネシア，パプア・ニューギニア　コーヒー事情調査団
インドネシア，パプア・ニューギニアのコーヒー豆の買付促進調査団報告書
1975

インドネシア糖業開発調査団
調査報告書
東京　インドネシア砂糖開発懇話会
1964

海外技術協力事業団
インドネシア共和国紙パルプ工業開発拡充計調査報告書
東京　1968

海外技術協力事業団
インドネシア西部ジャワ食糧増産協力実施調査団報告書
東京　1967

海外技術協力事業団
インドネシアとうもろこし調査団報告書
東京　1967

海外技術協力事業団
インドネシア東部ジャワ州とうもろこし開発協力事業　昭和47年度年次報告書（昭和47年4月～昭和48年3月）
東京　1973

海外技術協力事業団
インドネシア共和国スマトラ島ランポン州ワイラレム・アブン地区かんがい計画調査報告書－プレフィージビリティ調査
東京　1974
日程：昭和48年10月11日－11月24日

海外技術協力事業団
インドネシア国ランポン州農業開発実施調査団報告書　日程：昭和47年3月7日－4月15日
東京　1972

経済審議庁調査課
インドネシアの農業経済
東京　1953
経審調外　昭和28年　42号

小島一政
インドネシアの稲作
東京　国際食糧農業協会　1962

国際協力事業団
インドネシア国灌漑関係総合報告書
東京　1975

国際食糧農業協会
インドネシアの農業事情と改良計画
東京　1952

国際食糧農業協会
インドネシア林業の最近の進展
東京　1970
のびゆく技術128－世界の農林業

国際食糧農業協会
インドネシア林業の最近の進展（Ⅱ）
東京　1971
のびゆく技術144－世界の農林業

高度化成輸出連絡会議
インドネシア化成肥料調査団報告書
東京　1970

宮原省久
フィリッピンおよび北ボルネオの木材資源
東京　アジア経済研究所　1963
研究参考資料　第48集

本岡　武
インドネシアの米　とくにピマス計画にかんする研究
東京　創文社　1975
東南アジア研究叢書　10

木材資源利用合理化推進本部
インドネシア　ウェストリアン木材利用調査報告書
東京　1970

木材資源利用合理化推進本部　編
インドネシア　カリマンタン木材利用調査報告書
東京　1970

向井　進
インドネシアの糖業事情
東京　アジア経済研究所　1960
調査研究報告双書　2

南方林業開発委員会
カリマンタン森林資源調査
東京　1959
カリマンタン資料　第1

南方林業開発委員会
カリマンタン森林調査報告
東京　1962

日本貿易振興会
インドネシアの木材産業
東京　1975

日本貿易振興会
インドネシアの森林資源事情
東京　1972

日本貿易振興会
インドネシアの森林事情調査（追補）－進出企業リスト－
東京　1972

日本貿易振興会　貿易資料センター
インドネシアの林業に対する外国資本投資の手続指針
東京　1970

日本ゴム輸入協会
インドネシア一次産品（生ゴム）買付促進調査団報告書
東京　1964

日本インドネシア協会
西イリアンの農業・林業開発の可能性
和蘭専門調査団報告書
東京　1963
インドネシア研究叢書第 29 巻
1955 年和蘭印刷局発行の「ニューギニアにおける農業開発可能性に関する勧告委員会報告書」の訳

日本．大使館（インドネシア）
インドネシアにおけるコプラの調査
東京　外務省経済局アジア課　1961
経亜資料　第 118 号

日本．大使館（インドネシア）
インドネシアにおけるゴムの調査
東京　外務省経済局アジア課　1961
経亜資料　第 117 号

日本林材新聞社
インドネシア林業と開発輸入
東京　1970

日本林材新聞社
カリマンタン材の解説と規格
東京　1965

日本硫安工業協会
インドネシア肥料企業進出調査報告書
東京　1969

農林省　熱帯農業研究センター
熱帯畑作の開発に関する調査報告書－インドネシア（スマトラ）－
東京　1975

農林省　熱帯農業センター
西部ジャワ水田地帯の農業経営実態調査報告
東京　1973

農林水産業生産性向上会議
世界の米　第3
東京　1960
商品経済叢書　7
内容：玉井政雄　インドネシアの米

農林省　農林水産技術会議
フィリピン，インドネシアにおける農業試験研究事情調査報告書
東京　1967

落合秀男
スマトラの　野から－ある農業技術者の発
東京　日本放送出版協会　1975
NHKブックス　239

萩野敏雄
南洋材経済史論
東京　林野共済会　1961

長田秋男
インドネシアの農業経済
東京　農林水産性向上会議　1958
世界農業経済概観

大阪市立大学経済研究所
アジアにおける農業構造の変革過程
日本評論新社
所報　13集
内容国：インド，ビルマ，インドネシア，ベトナム
中国

大和田啓気
アジアの土地改革
東京　アジア経済研究所　1962
調査研究報告双書　第23集

斉藤一夫
東南アジアの糖業；貿易拡大の観点よりみたる
東京　アジア経済研究所　1964
研究参考資料　第65集
第2部各論　第3章　インドネシア糖業の実態　永宮清久

食品需給研究センター
インドネシアにおける牛飼養と流通；南スラウェシのバンテン牛
東京　1976
研究報告Ⅱ

食糧庁
インドネシアにおける食糧事情
東京　1956
在ジャカルタ領事館長長田秋雄領事報告

杉本忠利
インドネシアの食糧問題
東京　アジア経済研究所　1975
アジアを見る眼　48

滝川　勉
東南アジアの農業・農民問題
東京　亜紀書房　1971
第6章　インドネシアの農業問題　戴国輝

滝川　勉
東南アジア農業問題の現状
東京　アジア経済研究所　1970
研究参考資料　150
第4章　インドネシア慣習法学と，村落研究覚書── C. van Vollenhovena「慣習法の発見」などを中心として　倉田　勇

拓殖大学インドネシア農村事情調査団
拓殖大学インドネシア農村事情調査団報告書
東京　インドネシア研究会　1965

通商産業省．インドネシア（スマトラ）一次産品（森林）開発促進調査団
インドネシア（スマトラ）一次産品（森林）開発促進調査団報告書
東京　通商産業省貿易振興局　1971

山崎　次郎
香辛料　2
東京　エスビー食品　1974

教育・文化・風俗

阿部宗光
フィリピンとインドネシアの教育開発
東京　アジア経済研究所　1971
研究参考資料　161

亜細亜大学　インドネシア研究会
現代インドネシア語日常会話字典－小学校教科書用語分析研究報告－
東京　1965

亜細亜大学　インドネシア研究会
実用・学習用インドネシア語字典－頻度研究語彙総合報告
東京　1969

亜細亜大学　インドネシア研究会
新制字法によるインドネシア・日本語字典－新インドネシア語研究報告－
東京　1975

朝倉純孝
英語対照　インドネシア語会話
東京　大学書林　1965

朝倉純孝
インドネシア語小辞典　第47版
東京　大学書林　1975

朝倉純孝
インドネシア語4週間
東京　大学書林　1955

Berqman, Sten
私の父は食人種　ステーン・ベルクマン著
大座　清　訳
東京　文芸春秋新社　1961

バタヴィア城日誌　第1
村上直次郎　訳注　中村孝志　校注
東京　平凡社　1970
東洋文庫　170

バタヴィア城日誌　2
村上直次郎　訳注　中村孝志　校注
東京　平凡社　1972
東洋文庫　205

バタヴィア城日誌　3
村上直次郎　訳注　中村孝志　校注
東京　平凡社　1975
東洋文庫　271

千原大五郎
ボロブドールの建築
東京　原書房　1970

千原大五郎
インドネシア社寺建築史
東京　日本放送出版協会　1975

藤原弘達
裸のデヴィ夫人－波瀾の半生における実像
藤原弘達，小浪義明，新谷波夫著
東京　八雲井書院　1970

総山孝雄
秘境トバ湖に生きる　神秘のバタック族
東京　日本インドネシア協会　1975

Geertz,Clifford.
二つのイスラーム社会－モロッコとインドネシア　C．ギーアツ著　林　武　訳
東京　岩波書店　1973
岩波新書

市川憲次
ガチャマタ先生－故市川正典の霊前に俸ぐ
東京　1961

インドネシア文学社
インドネシア文学　No.1
東京　1966

インドネシア文学社
インドネシア文学　No.2
東京　1967

インドネシア文学社
インドネシア文学　No.4
東京　1975

インドネシア文学社
インドネシア文学　No.5
特集インドネシアの民話
東京　1977

インドネシア古代染織
編輯・解説：西村兵部
京都　光琳社出版　1971
標題紙の書名：The old textiles of Lndonesia,collected by Tropen Museum.
所蔵：オランダ　トロッペン博物館

インドネシア民謡集
プラナジャヤ蒐集　鷲見五郎　編曲
東京　インドネシア音楽友愛会　1962

インドネシアの民謡
花岡泰隆　訳
東京　牧野出版社　1974
バラィ・プスタカ社（ジャカルタ）昭和4年刊
『Tjeritera Poesaka』（J.Vander Heijden）収録）の翻訳　限定版

伊藤清司
インドネシア美術
東京　講談社　1963

岩佐嘉親
新ニューギニア語入門
東京　大陸書房　1975

泉井久之助
マライ＝ポリネシア諸語－比較と系統
東京　弘文堂　1975

片田芳子
バリ島詩集
横浜　日本吃音科学研究所　1975

風見武秀
人喰人種の国　秘境ニューギニア
東京　二見書房　1965

小島休景
ジャワ民謡　1
東京　ヤスイガクフ　1959

京都市立美術大学インドネシア美術調査団
インドネシアの染織
京都　八宝堂　1973
団長：佐和隆研

馬渕東一
馬渕東一著作集　第2巻
東京　社会思想社　1974

間宮直沓
インドネシアの民話
東京　未来社　1958

松本　亮
ジャワ影絵芝居考
東京　濤書房　1975

宮本延人
バリ島の研究－第二次東南アジア稲作民族文化総合調査報告－
東京　東海大学出版会　1968

文部省　大臣官房調査統計課
インドネシアの教育－アジア教育協力調査団報告書　資料編（Ⅲ）－
東京　1972

森　利貞
最近日本・インドネシア語辞典
東京　日本インドネシア文化協会　1964
附：インドネシア文法要諦，略語表

中村孝志
インドネシア社会の宗教と慣習
天理　天理教東南アジア研究室　1976

中西竜雄
インドネシア語－文法と会話－
東京　アジア出版社　1967

中西竜雄
図解インドネシア語会話　中西竜雄　編
神戸　海文堂　1964

仁平芳郎
古代インドネシア語音韻ノート（小川尚義論文集）
東京　アド・インスチチュート　1976

日本チモール協会
神秘のＴＩＭＯＲ
東京　1974

日本インドネシア協会
インドネシア略語表
東京　1965

日本インドネシア協会
音楽と舞踊の夕べ
東京　1970

日本繊維意匠センター
バティックジャワ更紗の模様
大阪　1960

労働省婦人少年局
世界の婦人たち　No.3インドネシア
東京　1953
婦人関係資料シリーズ国際資料　No.23

珊瑚樹
横浜　春秋会　1970

佐藤栄三郎
インドネシア語辞典
奈良　イスラム文化研究会　1961
附：和蘭語辞典

佐藤栄三郎
インドネシア語辞典
東京　丸善　1961

世界美術大系　別巻　第1
東京　講談社　1963
内容：インドネシア美術　伊藤清司編

社会人類学年報　1975　Vol.1
東京都立大学社会人類学　編
東京　弘文堂　1975
インド・インドネシア

末永　晃
現代インドネシア語辞典　末永　晃
関伊統トルセノA.S.　編
東京　大学書林　1977

末永　晃
インドネシア語文法入門
東京　大学書林　1966
大学書林語学文庫

末永　晃
インドネシア語会話ハンドブック
東京　大学書林　1975

末永　晃
インドネシア語会話練習帖
末永　晃　編
東京　大学書林　1976
背・表紙の書名：Buku latihan perc-akapan bahasa Indonesia

田村三郎
旅行者のためのインドネシア語会話
東京　1975

谷口五郎
インドネシア学生のための漢字辞典
東京　日本インドネシア協会　1964
標題紙：Kamus Kandji dlm Bahasa djepang dan Indonesia

谷口五郎
新インドネシア語入門
東京　鹿島研究所出版会　1973

上原訓蔵
インドネシア語基本 3,000 語
東京　大学書林　1963

海野一隆
ボルネオの人と風土 ── 原住民の村を訪ねて ── 海野一隆・林　寿一著
東京　古今書院　1968
リージョナル・ブックス

牛江清名
インドネシア語の入門
東京　白水社　1975
背の書名：Bahasa Indonesia untuk para Pemula

吉田禎吾
魔性の文化誌
東京　研究社出版　1976
研究社叢書

美野幸枝
いんどねしあご
東京　朝日カルチャーセンター　1974

保健・医療

インドネシア医療協力会
インドネシアの医療概況
東京　1977

海外技術協力事業団
インドネシア・アンボン医療協力実施調査団報告書
東京　1969

海外技術協力事業団
インドネシア医療協力調査団調査報告書
東京　1972

海外技術協力事業団
インドネシア国パルサハバタン病院胸部外科に対する技術協力報告書
東京　1974

海外技術協力事業団　海外事業部医療協力室
インドネシア西部ジャワ中央病院医療協力調査報告書
東京　1970

神戸大学　医学部
神戸大学医学部　インドネシア医学研究医療協力
神戸　1971

国際看護交流協会
連帯と協力．国際看護研修会集録
東京　1977
塩沢正俊：インドネシアにおける医療協力

国際協力事業団
インドネシア医療協力実施調査団調査報告書
東京　1975

国際協力事業団
インドネシア医療協力計画打合せ調査団報告書
東京　1977

国際協力事業団　医療協力部
インドネシア家族計画協力計画打合せ調査団報告書
東京　1977

倉片　仁
バリ島巡回診療団を同行取材して
東京　海外技術協力事業団　1971

久留米大学図南会
パレンバンの医療団
久留米　1968

中地　進
インドネシア在留邦人保健衛生調査に関する報告書　中地　進　小川　明　三井源蔵　著
東京　日本熱帯医学協会　1973

田村久弥
ベテスタ病院診療報告　インドネシア・セレベス島ミナハサ地区　田村久弥　田村牧子共著
東京　日本キリスト教海外医療協力会
1977

戦争交学・戦記

坂　邦康
史実記録　戦争裁判　蘭印法延　第1
坂　邦康　編著
東京　東潮社　1968

防衛庁　防衛研修所戦史室
豪北方面陸軍作戦
東京　朝雲新聞社　1969
戦史叢書

防衛庁　防衛研修所戦史室
南西方面陸軍作戦－マレー・蘭印の防衛
東京　朝雲新聞社　1976
戦史叢書

防衛庁　防衛研修所戦史室
西ニューギニア方面陸軍航空作戦
東京　朝雲新聞社　1969

防衛庁　防衛研修所戦史室
蘭印攻略作戦
東京　朝雲新聞社　1967
戦史叢書

大東亜戦史　第4
東京　富士書苑　1969
内容　第4　蘭印　編

藤井重夫
死　線
東京　番町書房　1971

藤原稜三
落日のラブアン島　奥山大隊の最期
東京　創造　1975

福岡インドネシア協会
南方回顧録
久留米　1963

平井　洋
アラフラの海まばゆかり－濠北派遣軍記余録
東京　一橋出版　1969

堀　俊蔵
戦中のボルネオ・セレベス産業開発
東京　1962

熊野瀬一
ボルネオのゆめ
北九州　1971

宮地　喬
タラカン島奮戦記　宮地　喬　絵と文
（n.p.）市誠印刷（印刷）　1969

毎日新聞社
碑なき墓標――ガダル・ラバウル・ニューギニア――
東京　1970

楝田　博
攻略！ジャワ・スラバヤ
東京　学習研究社　1972
Ein books 日本人による日本人の秘録太平洋戦争ハイライトシリーズ

松本国雄
キナバルの東
東京　金剛出版

中村輝夫
中村輝夫モロタイ島 31年の記録
中村輝夫（述）　聞き書き：陳　浩洋
東京　おりじん書房　1974

松本国雄
キナバル三十年　わがウォーレクイエム
東京　金剛出版　1975

ニューギニア戦線我等の敢闘－独立自動車第三十九大隊誌－
中里隆臣（編）
東京　中里隆臣　1975

宮元静雄
ジャワ終戦処理記
東京　ジャワ終戦処理記刊行会　1973

奥村　明
セレベス戦記
東京　図書出版社　1974

宮地　弘
老少尉陣中日誌
樫本清人　編
尾道　宮地弘商事株式会社　1971

寒河江善秋
ハルマヘラからの生還
東京　しなの出版　1967

斎藤七郎
南海の無人島レンバンの捕虜
名古屋　凰媒社　1969

庄野英二
キナバルの雪
東京　創文社　1973
シンガポールの二日間，キナバルの雪，ボルネオ

清水寥人
レムパン島
高崎　あさを社　1974

高橋　義
あゝ　ラバウル
東京　日新報道　1970

Thomas, David A.
スラバヤ沖海戦－連合国艦隊潰滅す－
ディヴィット・トーマス著　関野英夫　訳
東京　早川書房　1969

東門　容
ムルデカー日本軍占領下でのインドネシア人の戦い－
東京　鳳出版　1975

徳野　明
鰐部隊とパプア人マンドル
東京　今日の話題社　1970
太平洋戦争　ノンフィクション

植松仁作
地の果てに死す－西部ニューギニア戦記－
東京　原書房　1969

禾　晴道
海軍特別警察隊　アンボン島ＢＣ級戦犯の手記
東京　太平出版社　1975

山田光子
セレベスの挽歌
東京　東京信友社　1961

柳川宗成
陸軍諜報員柳川中尉
東京　サンケイ新聞出版局　1967

対日関係

アジア経済研究所
アジアにおける対日観ータイ，インドネシア
香港におけるイメージ調査から
東京　1972

アジア経済研究所
日本インドネシア関係史小年表
1958年～1972年
東京　1973

Arifin Bey
インドネシアのこころ　アリフィン・ベイ著
奥源造　編訳
東京　文遊社　1975
シリーズ　アジアのこころ

Arifin Bey
魂を失ったニッポン
東京　未来社　1976

外務省　情報文化局
インドネシアの群島理論と日本の頸動脈
東京　1973
国際問題資料　104

池尾勝己
インドネシアの経済と日本
東京　インドネシア通商産業調査会　1954

インドネシア　条約
日本国インドネシア共和国間賠償に関する中間協定案及び交換公文
東京　外務省条約局　1952
条約集　30集5巻　964号
（英文併記）

国際経済社
インドネシアと日本ー友好の新設計のためにー
東京　1975
国際経済臨時増刊ーインドネシア特集

中島慎三郎
インドネシアの反日運動
東京　インドネシア・センター　1975

日本貿易振興会
インドネシアにおける綿織物の対日供給力調査
東京　1974

日本貿易振興会　海外経済情報センター
インドネシアにおける日系企業の実態
東京　1976

日本経済新聞社

インドネシアと日本

東京　1958

A．Aの経済

角田房子

海外の猛烈日本人－世界に挑戦した5人の記録－

東京　ぺりかん社　1969

内容：ボルネオのエビ取り（九里尚志）他

═2　雑　誌　論　文・記　事═

総　　記

インドネシアン・アブストラック
東南アジア資料速報　2(18):8,1958

インドネシアという国
海外事情　4(7):50—54,1956

インドネシヤという国
実業展望　28(1/2):120—123,
1956

石居太楼
最近のジャワをみて来て
月刊インドネシア　70:14—16,1952

石川栄吉
インドネシアところどころ(1—3)
地理　5(12):73—79,1960
6(1):　　1961
6(2):57—62,1961

石崎潑雄
フィリピン・タイ・インドネシアにおける強風について
東南アジア研究　10(1):121—130,
1972

伊藤　甫
インドネシアの港湾(外国港湾便り)
港湾　45(4):49—56,1968

伊東照司
インドネシアの黒い岩の造形—ボロブドゥール に見られる外来と土着性—
朝日アジアレビュー　21(1):154—160,
1975

岩田貞男
誰もが知っているインドネシア
トランスポート　25(10);40—44,
1975

K.K.
最近のインドネシアに関する文献
東南アジア資料速報　1(5):6—7 1957

岸　幸一
インドネシア
アジア経済　10(6/7):123—131
1969

国立国会図書館

DIRGAHAYU REPUBLIK INDONESIA ―１５年目のインドネシア―

西野照太郎 著

アジア・アフリカ資料通報 12(7)：19-24, 1974

中川孝二

インドネシア訪問記（1，2）

化繊月報 8(11)：33-44，1955
9(2)：52-61，1956

東京銀行 ジャカルタ駐在員

インドネシア概況

東京銀行月報 15(2)：55-64，1963

東南アジア資料の収集ーアメリカの場合ー(2，3)

東南アジア資料速報 4(21-22)：8-12，1960
4(23-24)：7-13，1960

内容Ⅱ．東南アジア（ビルマ，タイ，カンボジア，ラオス，マラヤ，インドネシア，フイリピン）

歴　　史

別技篤彦
ラーデン・アジェン・カルティニの思想における国土と民族ーインドネシア民族運動史の序章
史苑　24(2):1—23,1964

チャクラバルティ
アジア史におけるインドネシアとインド
月刊インドネシア　70:3—5,1952

深見純生
関西インドネシア史研究会の現状
東南アジア　歴史と文化　4:132—133,1974

総山孝雄
燃えるムルデカーインドネシア独立運動秘史（1〜4）
心　27(12);91—98,1974
28(1);85—92,1975
28(3):95—102,1975
28(4):96—103,1975

林　理介
Benedict R.O'G.Anderson「独立革命期のジャワ」ー非業の死をとげたタン・マラカの評価ー
朝日アジアレビュー　6(4);178—180,1975

生田　滋
イスカンダル著「ヒカヤット・アチェ」1958
東洋学報　43(4):118—122,1961

インドネシア民族闘争史概観ー1945年8月17日以前の闘争
月刊インドネシア　92:2—15,1954

伊東隆夫
B.H.M.フレッケ「ヌサンタラーインドネシアの歴史」
南方史研究　3:78—81,1966

木村宏恒
インドネシア革命論の一視角ー45年革命の検討
政治研究　21:1—34,1973

木村宏一郎
サレカット・イスラム試論ーインドネシア民族解放運動の1潮流
歴史評論　299:60—75,1975

増田　与
インドネシア現代史の基本問題ーヌグロホ・ノトスサント助教授の最近の諸成果について
史観　85:56—67,1972

増田　与
インドネシア現代史(1)－インドネシア民族の形成
歴史評論　189：61－70，1966

森　弘之
増田与著「インドネシア現代史」
史学雑誌　81（1）：73－78，1972

村田健三
インドネシア五カ年の雑感
月刊インドネシア　127：4－8，1958

長岡新治郎
重商主義における植民地成立の一型態
歴史教育　2（12）：29－34，1954

長岡新治郎
「明代の蘇吉丹について」－ジャワにおけるイスラム都市の生成
東方学　18：77－90，1959

永積　昭
フォルクラート成立初期におけるインドネシア諸政党の活動（1，2）
東南アジア歴史と文化　1：12－51，1971
2：122－149，1972

永積　昭
ド・フラーフ著「マタム王スルタン・アグン（1613－1645）及びその生王　パネンバハン・セダ・イン・クラピャク（1601－1613）の治世」
東洋学報　43（1）：148－151，1960

永積　昭
ファン・デル・ヴァル，S.L.著「オランダ－インドネシア関係についての公式記録1945－1950」書評
アジア経済　16（8）：90－93，1975

永積　昭
フレッケ，ベルンハルトH.M.著「ヌサンタラ」－インドネシア史，1959
アジア研究　8（2）：91－101，1962

永積　昭
スフリーケ，B.著「インドネシア社会学研究，第2冊，初期ジャワの支配者と王国」1957
史学雑誌　68（3）：1959

永積　昭
ヴェルトヘイム，W.F.「インドネシアに於けるオランダの文化的影響（諸国間に於けるオランダ第二巻所収）」1948
南方史研究　3：98－102，1966

仲田浩三
元のジャワ進討
東方学　37：101−125，1969

仲田浩三
訶陵国号考
東南アジア　歴史と文化　2：100−121
1972

奈良和重
B.H.M. フレッサ著「ヌーサンタラーインドネシア史」
法学研究（慶大）　34（7）：1961

太田三郎
ディエン高原の廃都
月刊インドネシア　103：10−13，1955

サリム　H.A.
独立革命の記録（1，2）── 最初の五年 ──
月刊インドネシア　67：15−18　1952
70：11−13，1952

末永　晃
インドネシアの歴史（1−18）
拓殖大学論集　26：157−168，1961
27：119−133，1961
28：111−121，1961
32／33：405−421，1963
39：101−114，1965
41：107−120，1965
45：　1965
46／47：　1965
51：109−125，1966
52／53：351−377，1966
54：31−42，1967
55：59−74，1967
56：159−173，1967
61：109−132，1968
63：105−131，1968
64：97−122，1969
66：113−133，1969
74：115−128，1970

白石愛子
ジャワ防衛義勇軍の設立
東南アジア　歴史と文化　4：3−41，1974

白石さや
インドネシアにおけるアダットとイスラム
史学雑誌　83（6）：65−77，1974

Sukarno M. S.

インドネシア苦難の七年

世界週報 33(27):52−61 1952

谷川栄彦

増田与：インドネシア現代史

アジア経済 13(2):103−107,1972

地　　誌

相京光雄
インドネシア・マレーシア両国を訪問して
（マレーシアと日本）
東商　271：20−21，1970

浅野　晃
海の大道　−所感リレー（4）−
月刊インドネシア　65：2−3 1951

別技篤彦
バンテン紀行
地理　3（11）：1958

別技篤彦
ジャワ人の島外移住について
地理　2（1）：61−70，1957

橋本風車
動物の譜（1）蟻
万緑　27：27−28，1949
「ボルネオ博物誌」に続く

橋本風車
ボルネオ博物誌（2−16）

(2) 守宮	万緑	28：23−24，1949
(3) 蟹		29：15−16，1949
(4) 蜥蜴		30：11，　1950
(5) ドリアン・ブランダ		31：21−25，1950
(6)		32：　，1950
(7) ウビカユ		33：20−27，1950
(8) カンコン		34：18−20，1951
(9)		35：　1951
(10) 米		36：23−25，1951
(11) 煙草		37：12−16，1951
(12) 劇場		38：18−21，1951
(13) 水		39：20−23，1952
(14) 正月		40：28−30，1952
(15) 果物の譜		41：26−27，1952
(16) 便所		42：18−21，1952

原　忠彦
ジャカルタ雑考──一つの印象論
季刊人類学　21（4）：115−132，1971

林　宏
ＪＡＶＡ地名考
人文地理　11（2）：1−20，1959

生田　滋
インドネシア雑感
東南アジア　歴史と文化　1：163−164，1971

菊地三郎
バリー島を訪ねて
月刊インドネシア　131：20−23，1958

木村重信
スラウェシ紀行── トラジャ族を訪ねて（インドネシア美術調査隊報告）
京都市立美術大学研究紀要　13：8−19，1968

小城一広
古くて新しいインドネシア −2− （外国湾便り）
港湾　53（3）：65−78，1976

駒形秀次
インドネシア共和国
国際事情　1（9）：45−50，1953

口羽益生
ジャワ人の世界観
東南アジア研究　2（1）：2−12，1964

久野木行美
インドネシア紀行── ＩＬＯアジア諮問委に出席して
世界の労働　20（11）：78−82，1970

黒柳米司
インドネシア素描−観光的研究者の視点から
国際問題　149：70−75，1972

松島岩夫
インドネシア・スラウェシィ島　−続−
建設月報　21（3）：70−73，1968

マンゲンバ　H.D.
スラウエシ（セレベス）の旅
月刊インドネシア　85：12−15，1954

南　亮三郎
インドネシアの旅と概観
研究論集（駒沢大）　10：104−116，

ミスラライ　W.K.
西部カリマンタン−イ領ボルネオ
月刊インドネシア　82：6−9，1953

森　健

パプアニューギニア瞥見（現地報告）

アジア経済　14(6):82-100,1973

熱帯のエメラルド・グリーン── インドネシア概観（1,2）

月刊インドネシア　71:16-18,1952

72:14-16,1952

村野　孝

インドネシア管見

東京銀行月報　8(7):4-10,1956

野口英雄

インドネシア留学から帰って

東南アジア研究　6(1):213-227,1968

永積　昭

「インドネシア」という言葉の起源について

── Russ. Jones 氏の近作論文──

東南アジア　歴史と文化　4:131-132,1974

能登　勇

インドネシア（私の海外経験）

通産ジャーナル　7(7):34-38,1974

仲田浩三

J.G.ド・カスパリス「インドネシア碑文集」1956

南方史研究　3:88-97,1966

於保信彦

北ボルネオの旅

植物防疫　25(10):414,1971

中谷義男

見て来たインドネシア

月刊インドネシア　103:4-9,1955

大林太良

チモールの諸王国

東洋文化研究所紀要　25:247-354,1962

中沢忠義

スンダ人の都　バンドンにて

アジア経済　2(5):88-91,1961

岡田宗叡
バリ島・ジャワ島・台北遊記 －1－
陶説 226：47－58，1972

大本英明
インドネシア見聞記－ベラクン港を訪ねて
（外国港湾便り）
港湾 50（8）：69－78，1973

小野明子
インドネシア・スンバ島雑記
東南アジア 歴史と文化 5：174－176，
1975

尾上九朗右衛門
紺碧の国ジャカルタ
新劇 9（12）：30－32，1962

小野瀬嘉滋
インドネシア・見たまま（旅行記）（1，2）
国連 40（10）：45－48，1961
40（11）：41－44，1961

大島襄二
ニューギニア紀行
人文論究（関西学院大学人文学会）
24（4）：21－30，1975

太田三郎
咬𠺕吧紀行
月刊インドネシア 110：11－15，1956

小沢武夫
マニラとジャカルタ
世界週報 37（15）：34－35，1956

斎藤鎮男
インドネシア雑感
世界経済評論 9（1）：46－49，1965

崎山 理
インドネシアに学んで
東南アジア研究 5（1）：206－210，
1967

佐々木 謙
モル島記
民族学研究 15（1）：22－34，1950

下田将美
ジャガタラの夢
政界往来 18（11）：115－118，
1952

塩見俊二

インドネシア・ユーゴを訪ねて（1—3）

世界経済評論　57：36—39，1960

4（1）：38—41，1960

4（2）：38—39，1960

白幡友敬

東南アジア誌上の旅；インドネシアあれこれ

自警　38（1）：84—91，1956

秦泉寺正一

インドネシア　スカラン—— 東南アジアの原始芸術の調査旅行を通してみた日本とインドネシアとの比較研究報告

高知大学教育学部研究報告（第3部）

20：1—14，1968

末永　晃

インドネシアと云う国（特集・インドネシア）

海外事情　21（5）：1—9，1973

末永　晃

海外旅行（特集）—— インドネシア旅行

海外事情　17（12）：1—78，1969

末永　晃

海外旅行報告（特集）—— インドネシア研修旅行で得たもの

海外事情　19（12）：1—80，1971

菅沼　毅

インドネシアへの随想

月刊インドネシア　110：16—19，1956

鈴木　清

インドネシアを歩いて　（1—4）

(1)　インドネシア民族と独立闘争

(2)　経済事情は悪いが……

(3)　農民の生活と土地制度

(4)　農業技術と農民闘争

エコノミスト　41（1）：150-153，1963

41（2）：52—55，1963

41（3）：54—57，1963

41（4）：62—65，1963

武田道郎

東南アジア印象記ータイ・インドネシア・ビルマ

食糧管理月報　25（10）：3—9，1973

田中則雄

西ジャワを旅して

東南アジア　歴史と文化　1：158—159 1971

富田　秀
セラム島異聞
月刊インドネシア　73：12−13，1952

東南アジアを探る−インドネシア
世界と日本　1：35−39，1953

土屋健治
インドネシア研究会の紹介
東南アジア　歴史と文化　2：211−212，1972

土屋健治
ジョクジャカルタにて
東南アジア研究　7(1)：120−134，1969

内山徳治
インドネシアの初印象
世界週報　37(16)：32−33，1956

渡辺伍良
インドネシアの思い出
農林時報　13(9)：25−26，1954

山口真一
ジャワ島・バリ島の調査旅行から
東南アジア研究　4(3)：213−222，1967

山崎軍太
インドネシア遊記
アジア問題　4(2)：122−129，1956

安中章夫
B．グラント著『インドネシア』(書評)
アジア経済　6(10)：87−90，1965

吉田正紀
わたしの旅・アジア−ガイド・ブック応募論文発表<主題>−インドネシア・スラウェシのタナ・トラジャを訪ねて
思想の科学第6次　48：31−40，1975

吉井良三
ジャワ島の調査旅行から
東南アジア研究　4(1)：148−155，1966

吉川　淳
インドネシアに旅して
社会思想研究　22(12)：24−27，1970

吉村泰明

インドネシアの印象　（１－３）

地理　5（　9）：69—77，1960

5（10）：75—80，1960

5（11）：80—86，1960

吉屋昭彦

インドネシア・タイ訪問記

食糧管理月報　26（11）：10—17，1974

政治・外交

９．３０事件とスカルノの責任（スハルト極秘報告書）

世界週報　48（11）：24—27，1967

アディプトラ

スバルジョ前外相と米のＭＳＡ援助

月刊インドネシア　71：13—15，1952

赤いギアナとジャワ

世界週報　38（36）：40—43，1957

明石陽至

政治地理学の原則より検討したインドネシア居留の華僑勢力と動向

季刊外政　9：9—30，1958

安藤貞一

見て来たイ共和国

月刊インドネシア　62（2）：6—9，1951

青野博昭
インドネシア政治不安の現局面
エカフェ通信　223：23−28，1960

青野博昭
インドネシア政治情勢の問題点
エカフェ通信　431：86−92，1966

青野博昭
インドネシア政治の現状－西イリアン問題を中心として
エカフェ通信　302：34−49，1962

青野博昭
スハルト政権の課題と展望
エカフェ通信　479：40−52，1967

青野博昭
スカルノ体制の動揺――そのナショナリズムとインターナショナリズム
エカフェ通信　440：44−58，1966

アリー内閣・過去1カ年の成果
月刊インドネシア　93：12−14，1954

アリー・サストロアミジョヨ
アリー新首相の「施政方針演説」概要
月刊インドネシア　108：5−12，1956

アリー・サストロアミジョヨ
財政・経済問題に対する政府の見解
――政府は希望をもっている――
月刊インドネシア　87：8−9，1954

有吉　巖
独立インドネシアの実態
世界経済　8(9)：36−44，1953

有吉　巖
インドネシアの民主主義議会制度のゆくえ
アジア経済　1(3)：70−71，1960

有吉　巖
インドネシア新内閣組織の経緯
月刊インドネシア　80：1−3　1953

有吉　巖
インドネシアと中共
月刊インドネシア　62：7−9，1951

新しいインドネシアへ
前衛　129：20―23，1957

バタヴィア予備協定成立
世界資料　3(6)：12―13，1949

バーク会談ひらく―― 世界政治展望――
世界情勢旬報　66：6―8，1949

ベロゼルスキー，ヴェ．
インドネシアの反共運動―偏見の袋小路に行き詰まって
共産圏問題　11(7)：59―61，1967

中国を訪れたスカルノ
アジア経済旬報　304：15―22，1956

朝鮮動乱後のインドネシア動向
海外経済事情　87：4―5，1951

Contenay，J.
インドネシアの悲劇（ルポルタージュ）
世界　268：182―197，1968

動揺する西欧の政治体制；激化するインドネシアの対オランダ抗争
世界情勢旬報　344：1―4，1957

泥沼のインドネシア政局―― 政治も経済も混乱状態
世界週報　47(5)：6―8，1966

遠藤尚之
緊迫するインドネシア政局
エコノミスト　36(8)：41―42，1958

円卓会議協定破棄のもたらすもの
月刊インドネシア　107：2―5，1956

江沢譲爾
岐路に立つ　インドネシア
新論　1(1):82−90,1955

ファン・モーク
インドネシヤと東南アジア　ファン・モーク著　信国大典　訳
世界の動き　4(20):20−27,1949

福田幸雄
インドネシア非同盟政策の弱点
軍事研究　8(11):90−97,1973

フィンケルシュタイン，ローレンス
国連から見たインドネシア
月刊インドネシア　72:10−13 1952

フンバラジ，A.
インドネシア――つぎの舞台は
世界　152:178−181,1958

ガニ，アブドル　R
インドネシアの国民評議会第1年
社会主義政治経済研究所研究資料　2(10):1−13,1958

ガニ，アブドル，R
指導される民主主義―国民評議会第1次年次報告
月刊インドネシア　132:1958

月刊軍事問題編集部
東南アジア諸国の動向―インドネシア共和国
月刊軍事問題，11(4):49−53,1973

後藤乾一
インドネシアの地方政治―西部ジャワの事例
アジア経済　13(6):16−42,1972

後藤乾一
インドネシアの近代化と民族主義－「イワ・クスマ・スマントリ自伝」をめぐって〔含自伝抄訳〕
社会科学討究　19(1):165−244,1973

後藤乾一
インドネシア共和国成立後のイワ・クスマ・スマントリの思想と行動
社会科学討究　21(1);77−107,1975

軍が政治，経済を担当── 事件２カ月のインドネシア
世界週報　46(51)：11−14，1965

ハーグ円卓会議ひらく
世界資料　3(10)：18−19，1949

ハーグ円卓会議進行
世界資料　3(11)：34−35，1949

ハーグ協定・同附属協定
世界資料　4(4)：29−31，1950

ハーグ協定後に来るもの
世界週報　30(45)：4，1949

ハッタ・モハマッド
中部スマトラを視察して
月刊インドネシア　120：14−18，1957

ハッタ．モハマッド・M．
期待する相互信頼に基づく協力の実現
月刊インドネシア　125：14−17，1958

ハツタのインドネシア外交論
東南アジア資料速報　2(6)：7−8，1958

原　洋之助
インドネシアにおける政治的リーダーシップと経済政策−経済発展の機構の実証分析序
東洋文化研究所紀要　67；37−67，1975

ハリヨト
インドネシアにおける政党乱立の弊害とスカルノ構想
月刊インドネシア　121：2−7，1957

早まるスカルノ追落し── 外国経済援助と引替え？
朝日ジャーナル　9(6)：102−104，1967

林　理介
多島海── ポルトガル領東チモールとインドネシアの出方──
朝日アジアレビュー　24(4)：122−125，1975

林　理介
スカルノ以後のインドネシア
朝日アジアレビュー　19(3):117−120, 1974

林　理介
スカルノ・民族英雄の栄光と挫折
朝日ジャーナル　9(9):12−19, 1967

林　理介
スカルノ——政治的伝記——スカルノ神話のナゾ解き——
朝日アジアレビュー　17(1):127−129 1974

日比野文夫
マラッカのチャイニーズ・カピタンの系譜−補遺二則
東南アジア研究　9(1):58−60, 1971

ヒギンス, B
フィリッピンの開発問題——インドネシアとの比較
社会主義政治経済研究所研究資料　2(2):65−76, 1958

土方舜介
東南アジア共産党の実態を解明する−6完−
世界週報　56(43);42−47, 1975
インドネシア　内向するインドネシアの反政府運動−PKI, 党再建と革命闘争を宣言

広瀬健一
インドネシアをめぐる国際競争−中共の経済進出とアメリカの基地化政策
エコノミスト　32(13):17−19, 1954

オランダはなぜ武力に訴えたか——インドネシヤ紛争の背後——
世界週報　30:20−21, 1949

一万田三郎
インドネシアの政情不安
東邦経済　24(12):16−20, 1954

今井　正
複雑なインドネシアの政情
時の法令　113:39, 1953

インドネシア・9.30——世界の潮
世界　241:11−15, 1965

インドネシア・クーデターをめぐる諸情勢
内閣官房内閣調査室調査月報（1):68−82 1966

インドネシア援助と開発に関するハッタ博士の見解〔Bulletin,Ekonomikeuangan, 1969.9.13より〕
基金調査季報 5:42-43,1969

インドネシア民主主義の試練
エカフェ通信 152:43-53,1958

インドネシア，インド，アラブ連合に対するソ連の援助
内閣官房内閣調査室調査月報 8(12):43-57,1963

インドネシア民衆と軍部ー軍人の横暴に国民的な反感
世界週報 51(47):52-55,1970

インドネシア情勢に対する一考察
内閣官房内閣調査室調査月報 5(5):39-50,1960

インドネシアにおけるオランダ
海外事情 6(2):57-62,1958

インドネシア革命政府樹立さる
月刊インドネシア 126:7-8,1958

インドネシアの地方選挙
前衛 133:1957

インドネシア国民党第12回大会〔'70.4〕の前後（委託研究報告紹介）
内閣官房内閣調査室調査月報 16(5):29-38, 1971

INDONESIAの現代政治についての文献
東南アジア資料速報 3(3):8,1959

インドネシア共和国独立10周年記念祝賀大会
月刊インドネシア 102:27-29,1955

インドネシアの情勢
世界情勢旬報 345:5-9,1957

インドネシアの国軍統合── 四軍統一司令官を新設
世界週報　48(41)：39−43,1967

インドネシアの国内情勢と民衆の生活〔委託研究報告紹介〕
内閣官房内官調査室調査月報　21(1)：42−55,1976

インドネシアの最近の政治と経済
アジア経済旬報　98：9−19,1951

インドネシアの政変
世界情勢旬報　261：8−15,1955

インドネシアの政変
世界情勢旬報　318：1957

インドネシアの政治情勢
世界情勢旬報　257：23−30,1955

インドネシアの政治経済概況　上・下
調査月報（大蔵省）　52(8)：1963
52(9)：1964

インドネシアの政治経済情勢
同盟時報　130：53−55, 1953

インドネシアの政治経済情勢
世界政治経済資料　62：3−32, 1953

インドネシヤの政治経済情勢── サストロアミジョヨ新内閣の成立をめぐって
世界情勢旬報　208：8−16,1953

インドネシアの政情
世界　118：128−131,1955

インドネシアの政情── ウイロポ内閣総辞職をめぐって
世界週報　34(20)：32−35,1953

インドネシアの政情不安
社会主義政治経済研究所研究資料　2
：1－16，1957

インドネシアの選挙制度について
月刊インドネシア　100：28－29，1955

インドネシアの総選挙
世界　120：18－22，1955

インドネシアの総選挙
世界情勢旬報　266：19－25，1955

インドネシア連邦の誕生と，その経済再建
財政経済　4（2）：58－72，1950

インドネシア連邦共和国憲法
世界資料　4（5）：28－30，1950

インドネシア連邦共和国の誕生
世界資料　4（2）：15－17，1950

Indonesia 政府刊行の官報・法令公報について
東南アジア資料速報　2（11）：5－6，1958

インドネシア政府の為替証明制度廃止に関する資料（1．2）
経済と外交　56：25－30，1952
57：18－26，1952

インドネシア政変の背景
アジア経済旬報　145：9－18，1952

インドネシア政情の核心を衝く（座談会）
月刊インドネシア　116：2－32，1957

インドネシア政局の急激な変化（新華社10月19日）
世界週報　46（44）：44－47，1965

インドネシア新内閣成立す
月刊インドネシア　107:5−8.1956

インドネシア総選挙の結果
世界情勢旬報　281:16−24,1956

インドネシア総選挙最終報告
エカフェ通信　78:56−58,1956

「インドネシア」と「インドシナ」
月刊インドネシア　70:5−6,1952

インドネシヤ共和国政府再建
世界資料　3(9):23−24,1949

インドネシヤの独立
世界週報　30(32):5,1949

入江啓四郎
インドネシアの主権的地位
アジア研究　3(3):1−26,1958

石橋重雄
中国・インドネシア関係と「9.30事件」（ASEAN地域<特集>）
海外事情　23(2):17−24,1975

石橋重雄
インドネシアの課題（特集・インドネシア）
海外事情　21(5):55−63,1973

石橋重雄
低開発国の政治（特集）― インドネシアにおける第二回総選挙と政治勢力 ― 発展途上国における総選挙の類型
海外事情　19(6):51−58,1971

石田貞一
インドネシアの反乱軍 ― 新政府のとり組む難問題
世界週報　34(24):66−67,1953

石井孫三郎
インドネシアの国連脱退 ― 世界と日本
前衛　233:131−137,1965

イスマイル，バウ
西イリアンとパプア族
論争　4（10）1962

石渡　敏
独立インドネシアの政治経済
世界と日本　14（2）：38−43，1955

石渡　敏
最近のインドネシアの内戦とその原因
月刊インドネシア　131：4−12，1958

板垣与一
シンガポールからの脱出（回想のインドネシア，3）
心　21（11）：215−223，1968

伊東定典
インドネシアのAMPERA内閣
東京外国語大学論集　14：121−135，1967

伊東定典
西イリアン（ニューギニア）問題
東京外国語大学論集　6：47−57，1957

伊藤雄次
「9.30運動」後のインドネシアースハルト軍事政権下の政治・社会状況
現代と思想　14：151−173，1973

イワ・クスマ・スマントリの日本軍政観と独立観；1940年代のインドネシア知識人の政治体験と関連して
アジア経済　16（4）：63−76，1975

イワ・クスマ・スマントリ
インドネシア民族主義の源流——イワ・クスマ・スマントリ自伝——　後藤乾一　訳
アジア経済　17（7）：82−84，1976

岩動道行
バンドン再会
明窓　4（3）：126−129，1953

ジャカルタの"八百長"会議——タカ派を使って巧妙なトリック（時の動き）
朝日ジャーナル　12（22）：113−114，1970

ジャカルタ集会に臨む婦人たち　義務としての旅・アメリカ平和活動家との対話Ⅰ
世界　238：183−194，1965

楓　元夫
スカルノ型政治の条件── 新興国政治の正しい評価のために
自由　8(5):158-165,1966

カヒン，G．H．
民主々義の実体── インドネシアの長所と短所──
月刊インドネシア　67:7-10,1952

梶谷善久
インドネシアのクーデター事件ーよろめいたナサコム体制
朝日ジャーナル　7(43):20-25,1965

梶谷善久
西イリアン協定の調印
アジア経済　3(9):46-47, 1962

梶谷善久
西イリアン問題をめぐる各国の微妙な立場
アジア経済　3(3):40-41, 1962

梶谷善久
入閣したインドネシア共産党
アジア経済　5(9):70-71, 1964

梶谷善久
和平交渉に入った西イリアン問題
アジア経済　3(5):52-53, 1962

梶谷善久
スカルノー言葉の魔術師
潮　65:306-310,1965

柿沢仲太
ブルハヌデイン内閣誕生す
月刊インドネシア　102:8-11,1955

柿沢仲太
イ国の内紛とスマトラ人
月刊インドネシア　128:2-6,1958

柿沢仲太
インドネシアはどう動くか── スカルノ体制の方向と問題点
月刊インドネシア　131:12-15,1958

柿沢仲太
消えていく暫定国会の歴史
月刊インドネシア　107:16-23,1956

柿沢仲太

クオ・ヴァディス国民党？

月刊インドネシア　91：1−5，1954

袖谷不二

インドネシアを考える−政権首脳人事の大幅異動が意味するもの（世界の焦点）

世界週報　55（7）：4−5，1974

袖谷不二

NASAKOMからAMPERAへ── インドネシア現地報告──

東南アジア研究　4（3）：202−207，1966

革命政府樹立問題をめぐる報道

月刊インドネシア　126：　9−14，1958

127：22−28，1958

128：18−25，1958

129：12−20，1958

130：13−22，1958

加藤俊平

インドネシアの近況

アジア経済　2（2）：64−65，1961

川田　侃

危機に立つ国連── インドネシア脱退・中国代表権問題をめぐって（討論）

世界　231：85−103，1965

険悪化する米イ関係── スカルノの憤満つのる

世界週報　46（12）：11−14，1965

建設5年計画の問題点

月刊インドネシア　106：14−25，1956

建設5年計画「政府部門」の大要；「建設5年計画法案」の内容；建設5年計画の財源

月刊インドネシア　113：12−18，1957

木内昭胤

激動するインドネシア

東商　223：27−30，1966

岸　幸一

9．30運動以後のインドネシア−3カ月のクロノロジー

エカフェ通信　435：1−26，1966

岸　幸一

現行インドネシア暫定憲法と制憲議会の動向

アジア問題　5（5）：90−97，1957

岸　幸一
インドネシア現政権の経済政策の基調と展開
日本エカフェ協会調査資料月報　1（8）：1
−22，1968

岸　幸一
インドネシアにおける「指導された民主主義」
の政治・経済態勢
エカフェ通信　239：1−19，1960

岸　幸一
インドネシアにおけるユニタリアニズムとフ
ェデラリズム
季刊外政　9：9−30，1958

岸　幸一
インドネシアの国民国家の形成における慣習
首長の地位と役割
アジア経済　8（6）：17−27，1967

岸　幸一
インドネシアの政治の動向−スカルノとその
支持者をめぐる情勢
歴史教育　12（2）：1964

岸　幸一
インドネシア新開発5カ年計画の概要（1，2）
日本エカフェ協会調査資料月報
2（7）：1−19，1969
2（8）：1−20，1969

岸　幸一
混乱を脱しきれぬ政治・経済・社会の実状
天地人　4（2）：1955

岸　幸一
新体制下のインドネシアの政治動向−軍部指
導と議会制民主主義
エカフェ通信　486：1−34，1967

岸　幸一
スカルノの政治行動とインドネシア共産党
共産圏問題　9（10）：44−66，1965

岸　幸一
スカルノの指導型民主主議とインドネシアの
政治運動
エカフェ通信　118：21−42，1959

岸　幸一
スカルノの社会主義— インドネシアの社会
主義
エカフェ通信　320：1−31，1962

岸　幸一
スカルノ体制の基本構造と9．30運動以後
の変容
アジア研究　13（1）：19−38，1966

小林　元
アラブ・インドネシア植民地民族主義の夜明
け— 焦点に立つナセルとスカルノの二つの
方向
経済往来　10（4）：98−106，1958

小林慶二

政治とカネ（特集）－インドネシアてこ入れの内幕－アジア戦略の援助構造と人脈　小林慶二　鈴木沙雄共著

朝日ジャーナル　10(14)：10−24，1968

児玉伸昭

マレーシアの対中国交とＡＳＥＡＮ諸国（特集）

インドネシア－９．３０事件の衝撃消えず

世界週報　55(24)：26−28，1974

児玉伸昭

燃え上がるアジアの学生運動── インドネシア・日貨排斥運動が爆発寸前

世界週報　54(50)：37−39，1973

児玉伸昭

大型タンカー航行規制へ── 沿岸三国，マラッカ海狭の制限基準を検討

世界週報　57(19)：52−57，1976

児玉伸昭

三派混戦で内乱状態に－ポルトガル，領チモール，インドネシア，併合に関心示す

世界週報　56(36)；28−30，1975

児玉伸昭

タイ学生デモのアジアへの波紋－インドネシア無気味に盛り上がる学生運動

世界週報　54(45)：48−50，1973

こじれる西イリアンの帰属── 微妙なインドネシア政府の立場

世界週報　38(48)：38−42，1957

ここに真相は暴露された── ルウビス運動の全貌

月刊インドネシア　129：4−6，1958

国民会議終る── イ国展望

月刊インドネシア　122：4−6，1957

国内一本化のテコに利用か－インドネシア国連脱退の真意

世界週報　46(3)：6−8，1965

小松原久夫

インドネシアにおける政府と言論・報道界の関係（海外情報）

新聞研究　284：84−87，1975、

今日のインドネシア

アジア経済旬報　181：12−19，1953

邦尾正衛
インドネシアにおける革命と反革命
世界と日本　14：44−54，1955

蔵居良造
インドネシアの自由
朝日アジアレビュー　12（3）：100−103
1974

栗本　弘
インドネシア−停滞から開発への過渡期
（世界を識る−5−）
世界経済評論　13（9）：41−45，1969

黒木三郎
日本インドネシア協会監修「インドネシア共和国民法典」
民商法雑誌　61（2）：174−176，1969

黒崎　久
スカルノ構想の動因と内容
海外事情　5（6）：23−28，1957

黒柳米司
第三世界−その政治的諸問題−指導民主主義体制の成立〔インドネシア〕
季刊国際政治　39：91−107，1969

黒柳米司
インドネシアにおける陸軍の役割
法学雑誌（大阪市立大学）16（2．3．4）：
97−120，1970

黒柳米司
インドネシアの「政治的軍隊」−その政治化要因と行動様式
外務省調査月報　16（3）：21−72，1975

桑原武夫
インドネシアから帰って──「発展しつつある国」の現実
世界　173：187−195，1960

脚光浴びるアジア国際会議──日本，インドネシアが動く（時の歩み）
世界週報　51（18）：8−11，1970

共同通信
オランダ　インドネシヤに軍事行動
世界資料　3（1）：13−15，1949

前田陸雄
インドネシヤについて
社会主義　81：58−65，1958

前田　精

インドネシア独立の前夜

サンデー毎日　29(11):3-10,1950

マレーシア解決とスハルト体制── 世界の潮

世界　251:32-35,1966

間苧谷　栄

インドネシアにおける政治的発展と文化変動の一考察── C.ギアツのアバンガン・サントリ・プリヤイ概念を中心として──

一橋論叢　55(6):91-97,1966

丸山静雄

インドネシア政変とスカルノ体制の行方──軍による指導民主主義

朝日ジャーナル　8(13):10-16,1966

増田　与

インドネシア九.三〇事件の真相(レポート)

現代の眼　7(10):131-141,1966

増田　与

インドネシア近代化をめぐる基本問題(特集)東南アの近代化の諸問題

アジアクォータリー3(3):112-122,1971

増田　与

インドネシアの民族主義と西イリアン闘争

季刊外政　9:49-66,1958

増田　与

民族民主革命とプロレタリアートの指導権─インドネシア現代史研究の状況と問題

歴史学研究　299:32-36,1965

増田　与

スカルノ体制の崩壊とインドネシア革命

世界　241:74-84,1965

増田　与

スハルトースカルノ型指導者

朝日アジアレビュー　8(4):90-91,1971

升味準之輔

インドネシアとアメリカ

東京都立大学法学会雑誌

15(1):1-100,1974

松原俊朗

西イリアン問題とインドネシアの立場

アジア経済　2(5):56-57,1961

松尾　大
インドネシア－修正迫られる反共路線
エコノミスト　50(14):116－121,
1972

松尾　大
自主外交を模索するインドネシア
世界　348:121－126,1974

松尾　大
新局面を迎えたアジア－1－インドネシア修
正迫られる反共路線－特異な通貨調整を実施
エコノミスト　50(14):116－121
1972

Meeking , Charles
西ニューギニアをめぐる紛争
エカフェ通信　280:41－46,1961

メンデ, チボー
二つの世界の間に立つ東南アジア── インド
ネシヤ篇
内閣官房内閣調査室調査月報　13:74－92,
1957

三原　賢
東南アジア情勢(特集)── スハルト軍部独
裁政権とインドネシアの現状
前衛　308:100－113,1970

南浮二雄
インドネシアの昨今
世界週報　36(29):44－45,1955

宮島千秋
美女に囲まれたダラム裁判－スカルノ腐敗政
治明るみへ
世界週報　47(40):69－73,1966

宮島千秋
現状凍結で推移か── 冷え切ったジャカルタ
＝北京関係
世界週報　47(21):28－31,1966

宮島千秋
スハルト軍政の幕あき── 時間をかけたクー
デター
世界週報　48(13):62－65,1967

宮島千秋
スカルノの抵抗つづく── 前途多難な「暫定
内閣」
世界週報　47(16):26－29,1966

宮山滋夫
イ国新国民議会の問題点
月刊インドネシア　107:11－15,1956

宮山滋夫
インドネシアの軍部と政治
エカフェ通信　196：1−26，1959

宮山滋夫
インドネシアの軍隊
月刊インドネシア　81：1−7，1953

宮山滋夫
インドネシアの憲法
月刊インドネシア　75：20−22，1953

宮山滋夫
インドネシアの最近の政情をめぐって
月刊インドネシア　119：1−3，1957

宮山滋夫
ジンテーゼを追求するジュアンダ内閣
月刊インドネシア　120：2−6，1957

宮山滋夫
西イリアン問題を解剖する
月刊インドネシア　125：5−10，1958

宮山滋夫
最近のスマトラ事情を聴く（座談会）
月刊インドネシア　73：16−22，1952

三好俊吉郎
8月17日　独立宣言までの4日間
月刊インドネシア　101：9−13，1955

三好俊吉郎
インドネシアの総挙の経過と今後の政局の見透し
月刊インドネシア　103：24−27，1955

三好俊吉郎
インドネシアと共産主義の脅威
月刊インドネシア　100：2−4，1955

三好俊吉郎
世紀のアジア・アフリカ会議とインドネシアの地位
月刊インドネシア　98：1−4，1955

森永和彦
インドネシア外交の転換── 大きく変わるアジア情勢
世界週報　47（22）：16−21，1966

村井吉敬
スバルジョ著奥源造編訳「インドネシアの独立と革命」
アジア経済　15(2):86-91,1974

永井　清
インドネシアの最近の政情
東邦経済　12(6):24-26,1951

永井重信
西イリアンに関する協定
外務省調査月報　4(1):82-109,1963

長井信一
H.フェイス著『インドネシア立憲民主政の衰退過程』
アジア経済　4(7):89-91,1963

長井信一
インドネシア政治の構造と変動(I)
—— 一つの覚え書き ——
アジア経済　8(6):4-16,1967

長井信一
東南アジアにおける≪政治地域≫ — インドネシア，マレーシア，フィリピン関係を中心とするレビュー・アーティクル
アジア経済　8(4):49-57,1967

内藤頼誼
インドネシアの総選挙
朝日アジアレビュー　7(3):124-125,1971

内藤頼誼
マラッカ海峡をめぐる問題
朝日アジアレビュー　10(2):134-136,1972

内藤頼誼
スハルト体制・安定の矛盾
朝日アジアレビュー　11(3):114-117,1972

中川信夫
激動下のインドネシア
エコノミスト　35(13):40-42,1957

中村　道
インドネシアの国連脱退および復帰
岡山大学法経学会雑誌　18(4):103-126,1969

中沢孝之
マレーシアとフィリピンの復交−インドネシアが横やり
世界週報　47(10):46-49,1966

中薗英助
「新秩序」下のインドネシア(ルポルタージュ)
世界　255：184−197，1967

ナスーティオン，A．H．
国民軍誕生の歴史を顧みる
月刊インドネシア　82：1−5，1953

ナショナル紙
新内閣と社会の疲弊
インドネシア　70：7−8，1952

悩み多いインドネシア
世界週報　37(30)：34−40，1956

ニューギニア帰属問題
調査と資本　1(4)：49−52

西原　正
インドネシアにみる統治スタイルの連続性
東南アジア研究　12(4)；436−457，1975

西原　正
インドネシア「新秩矛」とその政治的近代化
東南アジア研究　11(2)：171−190，1973

西イリアン紛争解決す――世界の潮
世界　202：183−186，1962

西イリアン解放を中心とするインドネシア情勢
内閣官房内閣調査室調査月報　7(4)：31−46，1962

西イリアン協定の成立――これをめぐる問題点の解明
内閣官房内閣調査室調査月報　7(11)：32−46，1962

西イリアン協定と今後の問題
国連　41(9)：14−16，1962

西イリアン問題――岐路にたつオランダ（世界と日本）
前衛　198：1962

西イリアンを解放せよ —— 世界の潮
世界　146：23—28，1958

西イリアンとアメリカ —— 世界と日本
前衛　194：186—190，1962

西イリアン闘争政策をめぐるハツタ，ジュマンダ論争
月刊インドネシア　125：18—23，1958

西嶋重忠
スカルノ構想で革命憲法
世界週報　40（28）：26—31，1959

西宮　弘
新興国家群の旗手・インドネシア —— 国民党の祝典に招かれて
月刊社会党　102：134—139，1965

西野照太郎
インドネシア開発の諸条件（1—3）　ファンデルクルーフの見解を中心に
月刊インドネシア　75：12—16，1953
76：12—17，1953
76：10—13，1953

西野照太郎
インドネシアの議会とその政治構造について（1，2）
太平洋問題　60：9—12，1959
61：9—12，1959

西野照太郎
東南アジアの議会・選挙・政党 —— インドネシア
レファレンス　97：1959

野上　裕
インドネシアの西イリアン問題
エカフェ通信　255：1—17，1961

小栗　宏
西ニューギニアの独立問題
地理　14（2）：46—50，1969

追いつめられるスカルノ－最悪の場合は軍事法廷に－
世界週報　48（6）：14－16，1967

岡野加穂留

東南アジアの政治過程と階級構造――インドネシアの場合

エカフェ通信　166:51–69,1958

奥　源造

インドネシアの現状とその行く方

国際問題　79:10–17,1966

奥　源造

インドネシアの国連脱退

アジア経済　6(2):74–77,1965

奥　源造

インドネシアとフィリピンの対日外交

月刊インドネシア　72:17–18,1952

大森　実

インドネシア9.30クーデター――推理現代史（1）

中央公論　81(1):178–206,1965

大森　実

スカルノ大統領単独会見記――国際事件記者（18）

中央公論　80(5):244–257,1965

大森　実

スカルノの不思議な運命

潮　86:196–211,1967

大西邦敏

東南アジア諸国の憲法――パキスタン　セイロン，ビルマ，インドネシア，ラオス，カンボディア，（南）ヴェトナム

ジュリスト　146:38–50,1958

大崎進平

インドネシアにみる外国援助――民衆の生活に役立つ商品援助を

エコノミスト　47(19):72–77,1969

大塚　正

インドネシアの政治・経済

経済人　13(9):72–74,1959

Pauker , Guy J

インドネシア援助をめぐる米ソの角逐

エカフェ通信　313:53–71,1962

Pauker , Guy J

インドネシアにおける政治団体の役割（1,2）

社会主義政治経済研究所研究資料

3(1):19–27,1959

3(2):　　　1959

北京を見限るジャカルタ――― 中共の孤立化に拍車
世界週報　47(18):6-9,1966

蘭イ会談の決裂とイ国政界
月刊インドネシア　106:2-5,1956

ロス，アンドケル
若きインドネシア
朝日評論　4(12):45-49,1949

ロス，A.
西イリアンをめぐる争い
世界　195:167-171,1962

斎藤吉史
インドネシアの国連脱退―― その背景とアジアへの影響
エカフェ通信　396:1-20,1965

坂本俊夫
東南アジア情勢(特集)－東南アジアの「繁栄」と貧困－タイ・インド・インドネシアを歴訪して
前衛　308:114-127,1970

坂田善三郎
J.S.ミンツ著『インドネシア― その側面』
アジア経済　3(8):109-111, 1962

鮫島晋助
インドネシア副大統領ハメンク・ブウォノ－スルタンの民族主義者
朝日アジアレビュー　24(4):31,1975

鮫島晋助
インドネシア外交の課題
朝日アジアレビュー　15(3):130-131, 1973

鮫島晋助
スハルト体制下のインドネシア言論
朝日アジアレビュー　21(1):20-24, 1975

積極化する米の対インドネシア援助
世界情勢旬報　388:13-15,1959

戦乱つゞくインドネシヤ── オランダの弾圧策と世界の反感 ──(信国大典)
世界の動き 4(4):12−13，1942

シヤハト報告完成す
月刊インドネシア 66:6−13，1952

清水 斉
独立の設計図
月刊インドネシア 101:14−17,1955

清水 斉
西イリアン係争の背景
月刊インドネシア 115:8−13,1957

書評：ジョージ.M.カヒン「インドネシアの民族主義と革命」── 独立の経過の分析
世界週報 35(1):76−77，1953

書評：ロバート・ファン・ニール著『新しいインドネシア人エリートの誕生』
東南アジア資料速報 4(15−16):9−12，1960

書評：スバルジョ著奥源造編訳
インドネシアの独立と革命
アジア経済 15(2):86−91,1974

杉山市平
マレーシアに対決するインドネシア
エコノミスト 41(39):40−43,1963

スジョノ・ラデン
永遠の平和のために
月刊インドネシア 62(2):1−5，1951

スハルト訪米の成果 ── インドネシア外交の針路を示す(時の歩み)
世界週報 51(24):13−15,1970

スハルト時代に移る ── スカルノから全権剝奪
世界週報 48(12):6−8，1967

スハルトにまた試練 ── 国民党解散問題が表面化
世界週報 48(42):13−16,1967

スハルト体制強化はかる── 国会議員を大幅入れ替え
世界週報　49(9): 11-14, 1968

スハルト全権を握る── 経済再建にまず全力
世界週報　48(10): 6-8, 1967

Sukarno, A
アジアの輝く歴史── スカルノ大統領の演説より──
月刊インドネシア　65: 8, 1951

Sukarno, A
挑戦に応える年
月刊インドネシア　132: 2-7, 1958

Sukarno, A
民族生長の歴史に逆行するなかれ。──
制憲議会成立式におけるスカルノ大統領の告示
月刊インドネシア　113: 2-5, 1956

Sukarno, A
生か死か
国際農友　53(4): 2-7, 1953

Sukarno, A
スカルノ大統領の構想 ──「ドイツ外交政策」第5号所収
国際資料　40: 42-47, 1958

スカルノ外交の終幕── 成功したバンコク会談
世界週報　47(24): 6-8, 1966

スカルノ居直る── MPRSにもつれ込むか
世界週報　48(9): 6-8, 1967

スカルノイズム論争の軌跡── 世界の潮
世界　231: 27-30, 1965

スカルノいよいよ窮地へ── 錯綜する各派の思惑
世界週報　48(7): 6-8 1967

スカルノからスハルトへ── 世界の潮
世界　258: 204-207, 1967

スカルノからスハルトへ一生まれ変わるインドネシア（タイム誌7月15日号）
世界週報　47(30):48—56,1966

スカルノ構想の本質ー世界と日本
前衛　158:79—82,1959

スカルノ構想の展開
月刊インドネシア　130:2,1958

スカルノのアメリカ旅行
世界　128:90—94,1956

スカルノの指導的民主主義
世界　137:27—31,1957

スカルノの神格揺らぐー根の深い9.3 0事件の背景
世界週報　46(43):8—12,1965

スカルノ体制の崩壊ーなお続くいばらの道
世界週報　47(13):6—10,1966

Sukarno, A
われらアジア人は独立を欲す
世界　129:27—35,1956

スマトラ事件の背後の今後
世界週報　39(14):32—35,1958

スミトロ, D. 他
インドネシアの再建（座談会）
自由　8(8):134—144,1966

隅谷三喜男
アジアのナショナリズムーインドネシアの三つの類型ー
東洋文化　10:12—36,1952

スポモ
国際政局の渦中にあるインドネシア
月刊インドネシア　66:18—19,1952

ストモ
赤白二条のわれらの国旗が立つかぎり
安藤利男　訳
中央公論　71(4):174—182,1956

鈴木佑司
インドネシア政治と社会変動ースハルト体制の成立とそのディレンマ(東南アジアと日本<特集>)世界
世界　366:85—102,1976

立花憲二
ジャワ植民地支配における自由主義の性格
長崎県立国際経済大学論集
1(1):107—130,1967

タフリフ
来朝のイ国新聞んに訊く
月刊インドネシア　64:7—13,1951

田口三夫
無気味なソ連の進出ーインド洋にも艦隊派遣ージャカルター冷たい関係解けず
世界週報　50(3)22—24,1969

田口三夫
着実な国づくり目指すー第1次開発5カ年計画に着手〔インドネシア〕
世界週報　50(3):54—57,1969

田口三夫
肌で感じたインドネシアー日本は理解と忠告を
世界週報　47(8):52—57,1966

田口三夫
インドネシア内紛の新しいタネー″第五軍″創設めぐり対立激化
世界週報　46(32):40—43,1965

田口三夫
インドネシアの中共接近ースバンドルオ訪中のもたらしたもの:インドネシアの立場(田口三夫)中共の狙い(井上昌三)国内へのハネ返り(山下正雄)
世界週報　46(7):24—33,1965

田口三夫
インドネシア領に確定ー西イリアンの帰属決まる
世界週報　50(31):66—69,1969

田口三夫

国連脱退とその波紋：インドネシアの立場（田口三夫）マレーシアの見方（宮内祐三郎）

世界週報　46(4)：16—23，1965

田口三夫

苦悩深いインドネシアー債権国会議への失望と反省

世界週報　49(21)：60—63，1968

田口三夫

ニクソンをどう迎えるーアジア5カ国の表情ーインドネシアー来るだけで意義がある

世界週報　50(29)：28—31，1969

田口三夫

ニクソン政権と南アジア(現地報告)ージャカルタ一経済援助は見込み薄と見るー無関心に近いニクソン観

世界週報　49(49)：45—47，1968

田口三夫

内政面の矛盾が錯綜ーインドネシア革命，行き悩む

世界週報　45(48)：56—59，1964

田口三夫

スハルト新体制の近情－9.30事件2周年を迎える

世界週報　48(42)：52—57，1967

田口三夫

スカルノの威令行なわれずー混迷するナサコム体制

世界週報　46(45)：58—61，1965

田口三夫

スカルノ礼遇は残すースハルト決定の人間的側面

世界週報　48(23)：72—75，1967

田口三夫

動きだしたスハルト政権ーその目指すところと障害

世界週報　48(18)：48—51，1967

田口三夫

ベトナム以後のアジアの安全保障ー背後に米ソ中の激しい角遂ー上・下ーインドネシアー国内建設で精一杯

世界週報　50(34)：58—60，1969

高倉文夫

独立7年のインドネシア

世界週報　33(26)：47—48，1952

高杉晋一

インドネシアを訪問して〔政府派遣使節団昭43.9～10〕

経団連月報　16(11)：19—23，1968

玉井虎雄
インドネシアの政治的危機ーバンコック通信
ー2ー
世界経済評論　36:41—45,1957

田中恒一
スカルノとスハルトの対決ー政権交代とゆれ
動くインドネシアの将来
公明　54:116—123,1967

田中恒二郎
右翼内閣出現のインドネシアースカルノ体制
改革に成功か
公明　43:106—112,1966

田中邦雄
L.A.シェリダン編「マラヤ，シンガポール
・ボルネオ地域」ーその法と憲法の発達
1961
アジア経済　3(6):98—100,1962

谷川栄彦
中ソ対立とインドネシア共産党
季刊国際政治　3:57—64,1965

谷川栄彦
インドネシア・ナショナリズムの背景ーオラ
ンダの植民地支配とインドネシア社会の変化
比較教育文化研究施設紀要
19:36—59,1967

谷川栄彦
インドネシアの政治変動ー9.30事件を中心
として
法政研究　36(2／6合併号):413—427,
1970

谷川栄彦
太平洋戦争中のインドネシア民族運動ージャ
ワを中心として
法政研究　21(1):105—130,1953

谷口五郎
アダム・マリクーインドネシアの不倒翁
朝日アジアレビュー　8(4):91—92,
1971

谷口五郎
インドネシア国軍総参謀長兼国防相
アブダル・ハリス・ナスチオン
アジア経済　3(8):15,1962

谷口五郎
インドネシアの近況
アジア経済　4(5):76—77,1963

谷口五郎
インドネシアの孤独
季刊社会科学　6:74—90,1965

谷口五郎
インドネシアの政治・経済不安
アジア経済　3(6)：68―69，1962

谷口五郎
インドネシアの政党と社会主義
社会思想研究　8(8)：7―19，1956

谷口五郎
西イリアンのその後
アジア経済　3(2)：58―59，1962

谷口五郎
スカルノ大統領
中央公論　80(3)：253―259，1965

谷口五郎
スカルノ大統領会見記
中央公論　72(11)：152―159，1957

谷口五郎
たくましく進むインドネシア共和国の建設
月刊インドネシア　61：6―10，1951

単一国家への叫びあがるインドネシア連合
世界の動き　5(16)：14―15，1950

テステン，B
朝戦動乱とインドネシア―現地報告―
中央公論　65(9)：106―109，1950

ティンカー，I
インドネシアの1959年型万能薬．I，ティンカー，Mウォーカー著
社会主義政治経済研究所研究資料4(4)：1―9，1960

栃窪宏男
悲劇のインドネシア民衆
現代の眼　7(3)：135―145，1966

東南アジアに対する中共の動向考察(委託研究報告要約)―インドネシアに対する中共の影響
内閣官房内閣調査室調査月報
13(1)：43―67，1968

東南アジア諸国と中共(カンボジア・ラオス・タイ・マレーシア・シンガポール・インドネシア・ビルマ・インド・ネパール・パキスタン)
内監官房内閣調査室調査月報
13(1)：22―42，1968

トリスノユオノ
ここは戦場だ　松江信子訳
朝日アジアレビュー　6(2)：40―48，1971

土屋健治

「国民形成」に関する日本＝インドネシア共同セミナー

東南アジア　3:157—159,1973

土屋健治

サミン運動とインドネシア民族主義

東南アジア研究　9(2):236—253,1971

土屋健治

スカルノ研究の視角についての一試論—ジョン・レッグ著「スカルノ伝」を手掛りとして—

アジア経済　15(12):74—84,1974

土屋健治

スカルノの研究—パンチャ・シラ成立の過程—

東南アジア研究　8(4):567—579,1971

土屋健治

スカルノとハッタの論争

東南アジア研究　9(1):61—88,1971

土屋健治

スカルノとイスラム(1934年—1942年)

東南アジア研究　9(4):577—596,1971

塚本重頼

インドネシア，シンガポールおよびマレーシアの裁判所

ジュリスト　546:96—102,1973

簗島謙三

インドネシアにおける合議制と専制制—和蘭植民地当時における若干の民族について—

東洋文化　11:27—67,1952

上野秀夫

ナサコム体制崩壊とインドネシア共産党(1)—共産主義運動のひとつの展開過程

商経学業　33/34:228—248,1967

上野秀夫

ナサコム体制崩壊とインドネシア共産党(2)—九・三〇運動とそれ以後の変容

商経学業　35/36:81—102,1968

上住　実

“民族社会主義”の再確認

インドネシアをたずねて

月刊社会党　102:140—146,1965

Van der Kroef, Justus M

インドネシア民主主義の試練　中村弘光訳

季刊外政　9:31—48,1958

Van der Kroef, Justus M
インドネシアと西欧陣営
世界政治経済資料　39：1－18，1951

Van der Kroef, Justus M
スカルノ的デモクラシー（上，下）
エカフェ通信　141：1－17，1957
142：34－50，1957

若林ひろし
インドネシア SOBSI 大会の記
月刊総評　93：76－80，1965

ウェール
インドネシアの誕生
世界週報　31（33）：21，1950

ウイロポ内閣総辞職す
月刊インドネシア　79：1，1953

ウッドマン・ドロシイ
スマトラ・ボルネオ・セレベス－新興インドネシアの諸問題－
月刊インドネシア　68：11－14，1952

山岡紘二
カンボジア作戦と各国（特集）－インドネシアの立場，武力によらない紛争解決を－アジア諸国会議をあくまで推進
世界週報　51（21）：16－50，1970

山岡紘二
スハルト訪米を見る－アメリカ中で大歓迎
世界週報　51（25）：66－68，1970

山岡紘二
対中国接近を急ぐ ASEAN 諸国（特派員報告）インドネシア，ギリギリまで引き延ばす作戦
世界週報　54（30）：23－24，1973

山下正雄
安定への苦しい模索－ビルマとインドネシアの場合（東南アジア）（世界展望1969年）
世界週報　50（1）：96－99，1969

山下正雄
フルチショフに期待するインドネシア
世界週報　41（10）：42－45，1960

山下正雄
火を吹くか西イリアン
世界週報　43（5）：22－25，1962

山下正雄
インドネシアの不安
世界週報　40（4）：44－48，1959

山下正雄
革命憲法への復帰－インドネシア軍事と経済に悩む
世界週報　40(20):49－53,1959

山下正雄
西イリアンの不安去らず－圧力をかけるインドネシア
世界週報　43(24):19－23,1962

山下正雄
西イリアンは回復したが－前途多難なインドネシア
世界週報　43(35):32－36,1962

山下正雄
スカルノ強硬外交の裏側－共産党の突き上げに悩む
世界週報　44(11):38－41,1963

山下正雄
スカルノの後を狙うもの－遠い地鳴りを聞くインドネシア
世界週報　46(2):45－47,1965

山下正雄
スカルノの期待するもの
世界週報　40(31):25－28,1959

山下正雄
ゆらぐインドネシア－東南アの動き
世界週報　41(39):46－49,1960

山崎純次
インドネシアの第二の独立
新論　1(3):136－137,1955

柳沢保正
スハルト政権を支える人々－
朝日アジアレビュー　18(2):118－121,1974

矢内原　勝
国際関係下のインドネシア問題
世界経済　8(6):50－60,1953

矢内原　勝
リンガジャティ協定について　(1－3)
三田学会雑誌　46(4):286－298,1953
46(5):386－399,1953
46(6):472－483,1953

矢野　暢
インドネシアの「1月15日事件」の政治過程－Marzuki Arifin,Perstiwの15 Januari 1974を手掛りに－
東南アジア研究　12(2):269－274,1975

安中章夫
インドネシアにおける「危機」の継起(Ⅰ,Ⅱ)
アジア経済 17(7):2—20,1976
17(9):24—42,1976

安中章夫
インドネシアの政治指導層に関する基礎統計
アジア経済 8(6):80—110,1967

横関哲次郎
インドネシア・西イリアン関係の史的考察—インドネシアの西イリアン「領有」関係を中心として
外務省調査月報 11(4):1—24,1970

吉田 実
ASEANの「中立化宣言」
朝日アジアレビュー 9(1):104—106,1972

国内問題

アナス・マルフ
民族闘争のうえに築かれた新体制
佐々木重次訳
朝日アジアレビュー 6(2):48—49,1971

青野博昭
インドネシア共産党の栄光と挫折
潮 71:166—175,1966

青野博昭
インドネシア共産党論序説
共産圏問題 10(10):22—41,60,1966

有吉 巌
インドネシア共産主義運動
海外事情 6(12):41—51,1958

有吉 巌
インドネシア共産党と「指導された民主主義」
エカフェ通信 193:33—55,1959

有吉 巌
インドネシアの内戦とその原因
エカフェ通信 156:58—71,1958

有吉　巌
インドネシアの「指導された民主主義」
太平洋問題　64：1−9，1959

有吉　巌
インドネシア当面の諸問題
アジア問題　10：69，1953

井出潤一郎
インドネシア共産党の党建設に学ぶ
前衛　200：1962

アィディット，D
インドネシア共産党内の思想活動
平和と社会主義の諸問題　2（7）：26−29，1959

アィディット，D
民族統一のために
平和と社会主義の諸問題　3（2）：30−37，1960

アィディット，D
党建設と大衆のなかでの活動
平和と社会主義の諸問題　5（9）：42−49，1962

インドネシア紛争続く
世界資料　3（2）：21−24，1949

インドネシア共産党綱領（草案）
アジア問題月報　5：50−66，1954

インドネシア共産党綱領草案−1953年10月，インドネシア共産党中央委員会総会で採択
前衛　91：87−96，1954

インドネシア共和国の国内紛争
内閣官房内閣調査室調査月報　3（5）：34−52，1958

インドネシア問題の意義
世界情勢旬報　46：26−29，1949

インドネシア内戦の経過と行方
海外事情　6（6）：41−46，1958

インドネシアの内戦終結すー世界の潮
世界　152:173−177,1958

インドネシア村落の政治意識
東南アジア資料速報　4(2):6−8,1960

入江啓四郎
暗雲おおう西イリアン：煮え立つインドネシアの血
世界週報　38(48):14−15,1957

石渡　敏
インドネシアにおける共産党の動向
月刊インドネシア　134:1958

伊東定典
私領地とジャワ華僑（特集・インドネシア）
海外事情　21(5):10−19,1973

ジャワを揺する赤い嵐
世界週報　29(40):7,1948

勝部　元
インドネシアにおける民族統一戦線の発展
国際政経事情　21:101−113,1956

岸　公一
『インドネシア華僑についての文献ー Willmott, Giok-Lan Tan. Wiliams の紹介を中心としてー』
アジア経済　5(1):92−95,1964

蔵原惟人
インドネシアの民族統一戦線
前衛　200:1962

共産分子，アンタラをにぎるーインドネシア新聞界の左右抗争
世界週報　46(15):12−14,1965

増田　与
インドネシア共産党の新しい路線ー〝9.30運動〃が教えるもの
エコノミスト　43(45):34−39,1965

増田　与

インドネシア共産党の統一戦線政策

エカフェ通信　216:1−15,1960

増田　与

インドネシア最初の民族蜂起

社会科学討究　13(3):97−148,1968

増子義孝

薄い汚職意識

朝日アジアレビュー　28(4):34−39,1976

南　深志

インドネシアの共産主義

月刊インドネシア　68:9−10,1952

宮山滋夫

アリー内閣軍に屈して退陣；六・二七事件をめぐって

月刊インドネシア　101:29−32,1955

宮山滋夫

アチエ叛乱をめぐって

月刊インドネシア　84:1−5,1953

宮山滋夫

インドネシア民族主義の動向

月刊インドネシア　85:1−4,1953

宮山滋夫

インドネシアの共産党

月刊インドネシア　88:1−9,1954

宮山滋夫

インドネシアの民意；選挙に示されたイ国のイデオロギー

月刊インドネシア　103:14−23,1955

宮山滋夫

インドネシアの世相

インドネシア　78:2−6,1953

燃え上るインドネシアの民族運動

ダイヤモンド　44(52):34−35,1956

森　利貞
　中部ジャワのゲリラ匪徒
　月刊インドネシア　78：19—22，1953

中村孝志
　新生インドネシアの若干の問題
　太平洋問題　28：5—11，1956

西野照太郎
　インドネシア独立運動と人種主義
　思想の科学　21：50—62，1963

西野照太郎
　内乱を卒業したインドネシア
　世界週報　39（29）：24—29，1958

大原　寛
　マス・イスマン—コスゴロの推進者
　朝日アジアレビュー　8（4）：95—96，1971

パイエッタ，J．
　インドネシア共産党崩壊の原因
　西川一郎訳
　現代の理論　3（12）：96—108，1966

ラフマト
　民族統一を強めるインドネシア共産党
　平和と社会主義の諸問題　4（8）：95—99，1961

ルスタム・エフェンディ
　インドネシア共産党批判
　月刊インドネシア　111：8—10，1956

坂田善三郎
　アリ・ムルトポ—大事件の影の立役者
　朝日アジアレビュー　8（4）：94—95，1971

佐藤慎一郎
　インドネシアにおける華僑政策
　海外事情研究所報告　2：37—42，1965

清水幸雄
　権力に抵抗できないインドネシアの新聞
　新聞研究　109：27—31，1960

新内閣と共産勢力—インドネシアの潮
　月刊インドネシア　107：9—10，1956

白石　隆
　ジャワの華僑運動：1900〜1918年—「復合社会」の形成—（1，2）
　東南アジア　歴史と文化　2：35—74，1971
　3：28—58，1973

白石　隆
ジャワの華僑運動：1900〜1918年－「複合社会」の形成－(2)
東南アジア　歴史と文化　3：28−58，1973

スハルジョ
インドネシア共産党と農民
平和と社会主義の諸問題　8(7)：66−75，1965

スマトラの反乱
世界　135：26−29，1957

スマトラ反乱の背景
海外事情　5(2)：35−41，1957

田口三夫
むずかしい華僑問題－スハルト政権の新たな試練
世界週報　48−29：73−77，1967

体制建て直しに懸命－その後のインドネシア
世界週報　46(49)：11−14，1965

谷川栄彦
インドネシア共産党と民族独立運動－1920年から1927年まで
法政研究（九大）　28(4)：33−63，1962

谷川栄彦
インドネシアの民族統一戦線とブルジョアジー
インド・イラン評論　4：27−37，1956

谷川栄彦
インドネシア民族運動の発展と社会主義の影響
法政研究　35(1)：35−73，1968

梅沢達雄
D.ヒンドレー著『インドネシア共産党1951年〜1963年』
アジア経済　6(6)：91−94，1965

Van der Kroef Justus M
分裂したインドネシア(1,2)
社会主義政治経済研究所研究資料
2(6)：1−14，1958
2(8)：37−46，1958

Van der Kroef Justus M
インドネシア共産党の政策と第6回党大会
社会主義政治経済研究所研究資料
5(1)：47−72，1961

Van der Kroef Justut M
インドネシアにおける「指導された民主々義」
社会主義政治経済研究所研究資料　3：2—14，1957

Van der Kroef, Justus M
インドネシアの国粋運動
エカフェ通信　229：31—40，1960

Van der Kroef, Justus M
インドネシア共産主義運動のジレンマ
社会主義政治経済研究所研究資料　7(1)：40—56，1963

ウッドマン・ドロシー
インドネシアの反乱
フェビアン研究　9(8)：39—44，1958

山下正雄
インドネシア共産党の興亡 (1，2)
外務省調査月報　8(1)：1—37，1967
8(2)：1—36，1967

山下正雄
インドネシアは左旋回するか－複雑な内政をかかえこむ
世界週報　42(36)：1961

山下正雄
東南アジアの明暗(1)インドネアの内情を見る；矛盾の渦巻く後進社会－ジャワ島2,500キロを踏破して
世界週報　50(2)：32—42，1969

山崎純次
インドネシアの四つの叛乱
新論　1(5)：107—110，1955

游　仲勲
インドネシア華僑の二重国籍問題
六甲台論集　6(2)：1959

游　仲勲
華僑資本額について(Ⅱ)
アジア経済　7(2)：75—93，1966
内容：インドネシア

夢やぶれた共産革命－ジャカルタ動乱を現地に見る
世界週報　46(42)：6—12，1965

社会・労働

荒川　孝
わが国海外進出企業における労働問題（3）インドネシア・イラン（多国籍企業労働問題調査団帰国報告
日本労働協会雑誌　18(3):32—47, 1976

アルウイ・アルハブシ
アジア各国の労働者教育—その現状と展望（小山泰蔵・解説）(5)インドネシアの現状と展望
月刊労働問題　175:105—111, 1972

明日を求めて—働くインドネシア—
国際起業　1970

ベンダ, H. J.
インドネシア社会の歴史的特質—持続性と変化の問題　高橋　正　訳
中央公論　80(12):178—189, 1965

別枝篤彦
東亜季節風帯における島嶼の人口集積について—ジャワ人口の地理学的研究・第2報—
人文地理　3(2):10—21, 1951

江上　勲
インドネシアの労働事情
エカフェ通信　449:18—56, 1966

藤縄正勝
オーストラリア，インドネシアの旅〔第5回アジア労働大臣会議，インドネシアでの職業訓練センター視察〕
世界の労働　25(5):23—27, 1975

舟橋尚道
東南アジアの労働事情—シンガポールとインドネシアを中心として
世界の労働　12(5):2—13, 1962

今堀誠二
マラッカ華僑のギルドマーチャント体制—オランダおよびイギリスの植民地支配と華僑社会
東方学　35:144—159, 1968

インドネシア人民の「血の教訓」はわれわれに何をよびかけているか（日本共産党<解放戦線>全国指導部）
月刊労働問題　102:103—106, 1966

INDONESIAにおける労働力のサンプル調査
東南アジア資料速報　2(13):8, 1958

インドネシアの人口に関するパンフレット
東南アジア資料速報　4(13/14):15−16，1960

インドネシアの労働運動
月刊インドネシア　75:33−36,1953

インドネシアの労組運動−９４番目の自由労連加盟国
月刊自由労連　3(3):18−20,1958

石橋重雄
コミュニケーションと社会(特集)−インドネシアの村落社会と外部世界とのコミュニケーション
海外事情研究所報告　9:17−23,1973

泉　精一
西部ニューギニア原住民の社会組織−特に部族の構造について−
民族学研究　14(3):19−28,1950

ジャカルタの住宅問題とクバヨランの住宅地
月刊インドネシア　85:10−11,1954

開発途上国の交通事情(タイ，インドネシア，バングラデシュ，南ベトナム，トルコ，ザイール，ブラジル)
外国交通調査資料　28(2):1−63，1974

梶原嗣朗
ＩＬＯの技術協力(国別シリーズ−３−インドネシア)
世界の労働　23(5):56−59,1973

川田　寿
インドネシア共和国労働事情
海上労働　6(4):16−17,1953

菊池和男
インドネシアの人口構造
エカフェ通信　491:55−95,1967

岸　幸一
インドネシアにおける近代化と，地域主義(Ⅰ,Ⅱ)−南スラヴェシのケース・スタディー
アジア経済　6(8):14−27,1965
6(10):14−28,1965

岸　幸一

ジャワの村落組織についての覚書ーデッサとカルラハンについて

東洋文化（東大東洋文化研究所）

43：23–48，1967

岸　幸一

スロスマルジャン著『ジョクジャカルタにおける社会変容』

アジア経済　6(12)：86–87，1965

小林

インドネシアにおける婦人解放

東南アジア資料速報　4(7)：1–4，1960

香田　清

アジア諸国〔台湾・インドネシア・南ベトナム・フィリピン・オーストラリア・シンガポール・マレーシア・インド・ニュージーランド〕の労働組合事情（特集・アジアの社会・労働事情）

世界の労働　13(7)：35–41，1968

児玉伸昭

人口と食糧ー各国の現状と対策ー2ーインドネシア家族計画で人口を抑制ー米穀増産で自給体制へ

世界週報　56(5)：27–29，1975

小苅米清弘

不完全就業と労働力移動ーインドネシアにおける実例

函館大学論究　3：139–158，1968

クンチャラニングラット

インドネシア社会科学の現況

松井範惇訳

東南アジア研究　8(1)：123–129，1970

Lee, Y. L.

英領ボルネオの人口

エカフェ通信　308：1–29，1962

増田　与

I. テジャスクマナ『インドネシア労働組合運動の政治的性格』

アジア経済　1(2)：103–104，1960

松本　博

激動するインドネシアの労働事情

世界の労働　17(6)：36–45，1967

松尾　大

L. H. パーミエ著『ジャワにおける社会的地位』

アジア経済　4(11)：83–85，1963

メース，T
インドネシアの労働組合運動
社会主義政治経済研究所研究資料
3(6)：1—10，1959

南　亮三郎
インドネシアをめぐる人口・経済論争
駒沢大学商経学会研究論集　12：1—14，1967

長岡新治郎
西部ボルネオ華僑社会の沿革と変遷
民族学研究　24(1/2)：108—118，1960

中川　勉
多国籍企業における労働問題をさぐる—タイ，インドネシア，イランを中心として
世界の労働　26(2)22—40，1976

中村弘光
A．シマンジュンタク著，インドネシアの社会調査，
東南アジア資料速報　5(1/3)：23—32，1962

西野照太郎
インドネシアの都市と農村—外国資本をめぐる諸問題
アジア研究　1(2)：40—67，1954

ニヨノ
インドネシア労組中央組織とインドネシアの国内問題
世界労働組合運動　218：24—28，1960

大木　昌
西スマトラ村落における土地権について
一橋論叢　72(1)：129—136，1974

奥　源造
世界の福祉めぐり—インドネシア
福利厚生　127：6—17，1955

パンライキム，J．
インドネシアにおける労働者と政府の関係
二瓶恭光訳
日本労働協会雑誌　9(8)：40—50，1967

パーキンソン，R．
労働組合の権利を尊重させるために
（パプア＝ニューギニア）
世界労働組合運動　266：19—21，1964

嶺　学
インドネシアにおける賃金構造—ジャカルタ，スカブミの調査から—
アジア経済　4(3)：14—24，1963

坂口幹生
インドネシアの社会構造と知識階級の出現
長崎大学東南アジア研究所研究年報
10:125−157,1969

試験部落の実態
月刊インドネシア　77:20−21,1953

スギリ
西イリアン問題についての労働組合としての見方
世界労働組合運動　237:18−20,1962

スラスト，S.
権利のためにたたかうインドネシアの婦人労働者
世界労働組合運動　253:16−18,1964

鈴木長年
W. F. ヴェルティム著『推移の中にあるインドネシア社会』−社会変化の研究−
アジア経済　4(1):97−99,1963

鈴木恒之
バンテン王国支配下におけるランポン地方社会の変容
東南アジア歴史と文化　5:95−121,
1975

谷口五郎
植民地の人間形成
教育　2(7):93−97,1952

谷口五郎
B. シュリーク著「インドネシアの社会学的研究」
アジア問題　7(1):113−119,1957

土屋健治
「国民形成」に関する日本＝インドネシア共同セミナー
東南アジア歴史と文化　3:157−159,
1973

津田梅吉
インドネシアの協同組合
農林金融　11(10):39−43,1958

上野治男
世界の警察（１８）イスラエル，カナダ，インドネシア，
警察学論集　24(5):123−136,
1971

賠償問題

有村貫一
賠償に伴い日イ関係は進展せん
経済情報　3(2):7—9,1952

ハッタ　モハマッド
日本の賠償と経済協力
月刊インドネシア　132:1958

堀越禎三
インドネシア賠償の解決と今後の問題
(座談会)
経団連月報　6(3):20—34,1958

インドネシア賠償—協定の成立と今後の展望
世界週報　39(8):38—41,1958

インドネシア賠償決る—日本の潮
世界　146:191—196,1958

インドネシア賠償の問題点
世界週報　37(19):64—69,1956

インドネシアの政局と対日賠償問題
ダイヤモンド　44(12):34—36,1956

インドネシアと対日賠償問題
エコノミスト　23(26):54—57,1955

小長啓一
苦悩するインドネシア—賠償と経済協力について
外国為替　150:34—37,1956

三島　彰
インドネシア賠償の裏窓
エコノミスト　34(36):34—36,1956

宮元静雄
対インドネシア賠償について
月刊インドネシア　120:7—13,1957

三好俊吉郎
インドネシア賠償交渉の問題点
アジア問題　6(3):1957

三好俊吉郎
インドネシア賠償の見通し
アジア問題　5(1):93—103,1956

中江要介
インドネシアとの平和条約，賠償協定等
時の法令　279:29—33,1958

日本国とインドネシア共和国との間の平和条約，賠償協定等の内容
月刊インドネシア　126:19—28,1958

小川保男
インドネシアに対する第三繁栄丸抑留損害賠償事件の覚書
ジュリスト　153:60—62,1958

白幡友敬
インドネシア賠償協定の成立と今後の見通し
経団連月報　6(3):41—44,1958

対インドネシア賠償交渉
アジア問題　5(2):58—59,1956

対日賠償問題とインドネシアの対度
世界情勢旬報　340:24—25,1959

転任を前にしたビノール氏と語る—賠償，入国・経済の諸問題について
月刊インドネシア　105:14—16,1956

床次徳二
インドネシア賠償を解決せよ
月刊インドネシア　110:6—10,1956

床次徳二
対インドネシア賠償問題について
月刊インドネシア　105:11—13,1956

経　　済

55年度にみられたイ国経済の問題点
月刊インドネシア　105:28—30,1956

五七年度のイ国経済を顧みて—ケンポー紙論説
月刊インドネシア　125:11—13,1958

1950年中のインドネシア経済
アジア経済旬報　103:12—19,1951

1953年のインドネシア経済
月刊インドネシア　88:14—17,1954

1957—1958年のインドネシア経済
大蔵省調査月報　48(8):54—85,1959

秋保光孝
訪インドネシア経済視察団に同行して—2—
東商　259:28—30,1969

荒木寛彦
インドネシアの経済概況
大蔵省調査月報　62(3):67—81,1973

荒木寛彦
主要国の1973年度予算—インドネシア
大蔵省調査月報　62(6):80—86,1973

有馬駿二
インドネシア経済の現状とその問題点
月刊インドネシア　115:18—23,1957

有馬俊二
インドネシア通貨の不安定性とその実態
アジア問題　5(2):86—99,1956

有吉　巌
インドネシア経済政策を巡る東西の動向
アジア問題　8(3):64—72,1956

浅井泰範
　インドネシア経済とスハルト政権
　経済評論　16(9):90—99,1967

馬場孝一
　低開発国援助のあり方について—インドネシアを例として(日本経済政策学会第28回全国大会報告)
　日本経済政策学会年報　20:107—110,1972

播　里枝
　インドネシアの経済開発〔外資導入法およびその施行令全訳・ニチサストロ「経済困難克服の道」(講演'66.8)抄訳・解説〕
　国際問題　100:38—47,1968

ベクレジョブ,デ
　自由な発展に向かうインドネシア経済
　世界情勢旬報　301:22—27,1956
　302:28—34,1956

微妙なインドネシアの外資受入態勢
　ダイヤモンド　44(44):106—107,1956

ボルネオの開発
　月刊インドネシア　78:12—15,1953

ブーケ,J.H.著「インドネシアの経済」〔書評〕
　世界週報　34(25):64—65,1953

中国経済研究会
　インドネシアの情勢—東洋経済圏の考察(2)
　経済批判　2(4):56—61,1952

クーレ, B
　インドネシアの経済
　社会主義政治経済研究所研究資料 3:25—27,1957

独立後のインドネシア経済
　東洋経済新報　2413:41—42,1950

遠藤尚之
　戦後最悪のインドネシア経済
　月刊インドネシア　131:30—34,1958

復興進むインドネシア経済
　東洋経済新報　2396:40—41,1949

復興途上のインドネシア経済－政情未だ安定せずー
財界観測　1(6):16—19,1950

福地崇生
インドネシア経済の計量経済学的分析
東南アジア研究　7(1):110,1969

福地崇生
インドネシア経済の計量経済学的分析(I,II)－ICU第二モデルによるシミュレーション分析－
アジア経済　7(2):44—57,1966
7(4):41—54,1966

福地崇生
国際経済の今日的課題(特集)－形態別援助の総合開発効果－インドネシアの事例
福地崇生，今川健，横山久著
季刊現代経済　11:154—175,1973

福島正雄他(座談会)
インドネシアの現況と経済提携の問題点－エカッフェ会議を中心として
経団連月報　1(4):164—176,1953

伏見楚代子
インドネシアの通貨改革と〝指導された経済〃
エカフェ通信　226:24—35,1960

伏見楚代子
インドネシア新政権の展望－経済再建の可能性
エカフェ通信　454:59—75,1966

外務省経済局第五課
インドネシアにおける外資導入政策
経済と外交　120:395-397,1953

外務省政務局経済課
インドネシアの経済と貿易　－下－
日本貿易館ニューズ　96:13—14,1950

浜口雄彦
インドネシアに使して
東京銀行月報　5(1):2375—2378,1953

原ひろ子
物価(特集)－生活体験より見たジャカルタの物価
海外事情　17(6):59—67,1969

原　覚夫
インドネシア経済の問題点
エカフェ通信　100:1—41,1956

原　太郎
インドネシアと国交を深めた経済使節の初印象
経済展望　27(11)：1955

原洋之介
インドネシアのインフレーションと経済成長：1960－69年－経済発展の機構の実証分析－1－
東洋文化研究所紀要62：1－70，1974

橋本博之
インドネシア経済計画の基調とその展開過程－輸入代替と関連して
アカデミア　60：41－65，1967

ハッタ・モハマッド
問題は赤字予算
月刊インドネシア　120：30－35，1957

林　修三
正誤さわぎ－対インドネシア棒引債権のいわゆるつけ落し問題について
時の法令　272：20－25，1958

市村真一
南スマトラ州の地域経済事情－LEKNAS・KYODAI 共同調査報告I－
東南アジア研究　10(3)：370－389，1972

今川　健
経済開発計画の評価とTS基準－インドネシアの事例研究－
経済学論纂　15(3/4)：193－234，1974

今川　健
経済開発計画と経済協力－インドネシアの事例研究－
経済学論纂　15(5/6)：389－423，1974

インドネシア　法令
外資導入法案全文
月刊インドネシア　110：

インドネシア円借款の概要(基金の動き)
基金調査季報　1：64－67，1968

インドネシア為替管理の概要
東京銀行月報　8(6)：22－27，1956

インドネシア経済断交とシンガポールゴム市場について
東京銀行月報　16(4)：101－108，1964

インドネシア経済事情（2）
通商調査月報　14：61—80，1952

インドネシア経済情報
アジア経済旬報　121：11—18，1951

インドネシア経済の分析
エカフェ通信　115：22—52，1957

インドネシア経済の現況
海外経済月報　56（11）：1956

インドネシア経済の危機的様相
海外経済月報　58（2）：13—23，1958

インドネシア経済の近状
大蔵省調査月報　50（5）：55—60，1961

インドネシア経済の近況〔U. S. News & World Report，5.24から〕
大蔵省調査月報　60（6）：54—57，1971

インドネシア経済と第一次開発五カ年計画〔委託研究報告要約紹介〕
内閣官房内閣調査室調査月報　18（2）：28—43，1973

インドネシアにおける外資問題の近況
経済と外交　78：1—9，1952

インドネシアにおける民族資本の地位
社会主義政治経済研究所研究資料
3：14—24，1957

インドネシアの中央銀行について
長崎大学東南アジア研究所研究年報
11：73—88，1970

インドネシアの独立完成と通貨改革
東洋経済新報　2443：38—39　1950

インドネシアの外資導入法案
エカフェ通信　93：53-63，1956

インドネシアの外資導入方針
月刊インドネシア105：30-31，1956

インドネシアの外資と外資政策
レファレンス　81：29-48，1958

インドネシアの経済－現況および外資・通商政策
世界周報　34（33）：55-59，1953

インドネシアの経済動向
エコノミスト　34（17）：45-47，1956

インドネシアの経済現勢－アメリカ農務省の報告統計－
世界週報　33（36）：129，1953

インドネシアの経済事情と為替管理の概要
東京銀行月報　13（6）：56-69，1961

インドネシアの経済と貿易
アジア経済旬報　230：9-20，1954

インドネシアの経済と開発計画
大蔵省調査月報　45（4）：49-59，1956

インドネシアの金融機関
経済調査（大和銀行）　142：4-12，1959

インドネシアの商業・経済事情
月刊インドネシア　62（2）：12-13，1961

インドネシアの財政・経済事情
外国為替　81：16-18，1953

インドネシアの財政
基金調査季報　8：1−40，1970

インドネシアの税制
エカフェ通信　267：36−45，1961

インドネシア連邦共和国の経済状態
アジア経済旬報　62：22−30，1950

インドネシア最近の経済情勢
アジア問題　4（4）：42−43，1956

インドネシアと外資受入環境
協和銀行調査月報　233：12−23，1974

インドネシア当面の経済情勢
大蔵省調査月報　42（7）：52−75
1953

インフレは再燃するか
商工経済　4（3）：12−14，1951

石田貞一
インドネシアの苦闘−ここにも社会主義経済めざす
世界週報　36（5）：1955

石原広一郎
インドネシア合併銀行の役割
実業之日本　59（17）：42−44，1956

石川光和
インドネシアに対する長期的債務救済の実施
時の法令　748：43−47，1971

板垣与一
インドネシア経済開発と社会経済構造
アジア経済　3（6）：108−109，1962

門田　実
インドネシア経済とわが国の経済協力
ファイナンス　5（3）：43−47，1969

海外経済協力基金　ジャカルタ駐在員

米国のドル防衛措置，わが国はじめ西欧諸国の通貨変動に関連して各駐在国の反響及び影響について

（駐在員だより特集）

基金調査季報　11：64－65，1972

梶谷善久

行き悩む総合開発計画－インドネシア社会主義の理念と現実

世界経済評論　9（10）：19－24，1965

金子敬生

産業連関表によるインドネシア経済の構造分析

経理研究　20：173－185，1974

加納啓良

植民地期インドネシアの村落経済－ブーケとブルヘルの所説をめぐって－

アジア経済　15（2）：57－70，1974

川路　進

インドネシア・けいざい・まんだん

月刊インドネシア　77：6－8，1953

川勝昭平

アメーバ経済と政治経済学－ジャワ島への旅から

農業と経済　26（6）：34－37，1960

経済成長のケーススタディーフィリピン・インドシナ3国，インドネシアのばあい

エカフェ通信　305：1－67，1962

経済施策に非難強まる。政局危機はらむインフレ高進－経済の動き（インドネシア）

世界週報　47（5）：68－70，1966

危機に立つインドネシア経済－ゴム産業の不況と東西貿易の可能性－

大阪経済評論　35（5）：12－13，1952

危機に直面するインドネシア財政

月刊インドネシア　87：1－2，1953

菊地敬夫

南進する日本資本主義（特派報告）（14，18）インドネシア－国際管理下のもがき－

上，外資に託すスサンタラ

下，資源に群がる資本

エコノミスト　49（24）：76－81，1971

49（25）：84－89，1971

菊本宗徳

混迷するインドネシア経済ー国連脱退の経済的背景

エコノミスト　43(5):32—37,1965

岸　公一

C. ゲールツ著『行商と士従ーインドネシアの2都市における社会的変化と，経済的近代化』

アジア経済　5(7):77—79,1964

岸　幸一

1967年のインドネシア経済の回顧と1968年の問題

経団連月報　16(3):54—55,1968

岸　幸一

インドネシア地域経済構造に関する基礎資料

アジア経済　8(6):75—79.1967

岸　幸一

インドネシア経済の地域構造

エカフェ通信　458:1—34,1966

岸　幸一

インドネシア経済の最近の動向

エカフェ通信　472:1—39,1967

岸　幸一

インドネシア経済は回復するかーあまりに多い悪条件のなかで

エコノミスト　45(20):44—47,1967

岸　幸一

インドネシアの経済危機とスカルノの経済宣言

エカフェ通信　342:1—19,1964

岸　幸一

インドネシアの最近の経済情勢と1965年国家予算ー開発予算を中心として

エカフェ通信　429:33—53,1966

岸　幸一

最近のインドネシア経済ー経済宣言とマレイシア経済断交の影響(I,II)

エカフェ通信　360:1—24,1969
361:27—53,1964

岸　幸一

最近のインドネシアのインフレ指標

エカフェ通信　404:1—18,1965

岸　幸一
新体制下インドネシアの経済政策と経済情勢
アジア経済　8(6):117−127,1967

岸　幸一
東南アジアへの日本資本進出(特集)−インドネシア経済の安定と日本の資本進出
経済評論　18(9):110−153,1969

北島武雄
インドネシアを訪問して〔インドネシア経済協力調査団　'69.2−3〕
経団連月報　17(6):47−51,1969

小林英治
新体制下のインドネシア経済
レファレンス　18(1):31−54,1968

小林一三
インドネシア経済の研究方向に関する一考察−予備調査から帰って−
東南アジア研究　8(2):267−275,1970

児玉伸昭
世界をおおうインフレの脅威−物価と生活−インドネシア−米不足が最大のガン
世界週報　アジア　大洋州編2
54(44):49−51,1973

小泉信一
インドネシアの経済情勢
エカフェ通信　81:19−59,1956

小嶋正己
インドネシアの経済的条件と第一次五カ年計画
山口経済学雑誌　9(3):56−78,1958

国家財政に禍した地方の経済的反抗
月刊インドネシア　122:8−11,1957

国民所得に関するノイマーク報告
月刊インドネシア　91:13−14,1954

国際開発ジャーナル社
インドネシア政府経済開発計画−1971−72年
国際開発ジャーナル　資料　71−1

小松芳明
東南亜諸国の租税制度−セイロン・インドネシア篇
外国為替　117:12−15,1955

久保兵衛
インドネシアの経済
大阪市立大学経済研究所研究と資料
8：89—99，1960

黒部　穣
インドネシアの経済構造と経済政策
アジア経済　3（2）：38—47，1962

苦闘するインドネシア経済
〔大和銀行〕経済調査　87：4—19，1955

増子義孝
プルタミナに揺れるインドネシア
朝日アジアレビュー 26（2）：90—93，
1976

松江信子
インドネシア銀行年次報告　1960—66
海外経済資料　6（2）：1—76，1968

松本達治
インドネシアの経済事情
経済情勢　254：26—31，1950

松村達郎
資本進出の問題点を探る（特集）—〝海洋国家〃日本の逆説—マラッカ海峡1972年
中央公論経営問題　11（1）：126—132，
1972

松尾　大
インドネシア経済と日米関係—ジャカルタ暴動の示唆するもの
世界　341：103—108，1974

松尾　弘
インドネシア経済における華僑の地位—明治大学政治経済学部創立70周年記念論文—
政経論叢（明治大学政治経済研究所）
43（1・2・3・4）：1—22，1975
（1／4）

松浦健二
インドネシア経済の発展に関する一考察
大阪外国語大学学報　11：59—80，1962

松浦茂治
J. H. ブーケ「インドネシアによって例証された二重社会の経済学と経済政策」
国際経済　7：199—204，1955

まず"水平飛行"へーインドネシアの経済再建（時の歩み）
世界週報　49（32）：10—13，1968

三井グループの提議
インドネシア「コンパス」社説　73. 9. 29
朝日アジアレビュー　16（4）：123—124，1973
訳：間学谷　栄

三橋幸吉
インドネシア援助の実態ーあがらぬ成果を分析する（現地報告）
エコノミスト　46（9）：36—43，1968

三橋幸吉
インドネシア援助と財界ー経団連ミッションに五つの疑問
エコノミスト　46（45）：56—60，1968

三平則夫
インドネシアにおける金融機構の形成と1960年代の経済（I，II）
アジア経済　13（4）：32—58，1972
13（5）：52—76，1972

三輪貞治
激動する東南アジアービルマ，インドネシア，タイを一周してー
世界経済　7（8）：1—10，1952

宮島千秋
まず外資導入に全力ーインドネシアの経済再建
世界週報　47（49）：52—55，1966

宮山滋夫
インドネシア経済の国民化
月刊インドネシア　93：1—11，1954

宮山滋夫
インフレの挑戦，インドネシアー未来をきざむ国々（1）
エコノミスト　44（1）：126—129，1966

森川　暁
インドネシアの横横
エコノミスト　29（8）：28—29，1951

永井重信
インドネシア共和国総合経済開発8カ年計画の概要
アジア経済　2(4):94—102,1961

中川信夫
外貨危機に悩むインドネシア
エコノミスト　35(36):46—48,1957

中村
書評　シルコック「東南アジアの英連邦経済」
書評者　ベンハム
東南アジア資料速報　4(8):1—6,1960

西野照太郎
インドネシア国民所得について—経済学の限界
世界週報　35(27):40—41,1954

ノト・アトモジョ
方向転換—国民経済の実現をめざし
月刊インドネシア　82:10—11,1953

大木　昌
インドネシア経済史資料集—P.クライツベルフ編著「蘭印における経済政策1900—42年」3巻
一橋論叢　74(2):253—259,1975

大蔵省国際金融局投資第二課
1969年の対インドネシア経済援助
ファイナンス　5(5):53—55,1969

小野豊明
インドネシアの旅に思う—社会経済の見聞記
ソフィア　24(2):167—176,1975

小野寺宣人
東南アジア諸国の1975年度予算の概要1—韓国，シンガポール，インドネシア—
大蔵省調査月報　64(8):80—89,1975

長田秋雄
インドネシア財政の歳入構造
アジア問題　5(3):74—83,1956

大屋　彰
インドネシアの清算勘定廃止通告について
外国為替　163:24—26,1957

パンライキン，J．K.D.トーマス
インドネシアの援助需要，J.パンライキン，K.D.トーマス著
アジア経済　9(3):59—67,1968

累次の戦禍癒えずー東南ア諸国の経済
現況(1) インドネシアー
世界週報 32(36):32―33,1951

最大の課題は経済再建－「スハルト暫定内閣」
の発足
世界週報 47(15):6―8,1966

坂江健三
インドネシアのインフレーション
アジア経済 4(5):24―31,1963

坂田善三郎
インドネシア経済開発の計画と現況
アジア経済 3(6):109―110,1962

坂田善三郎
国際復興開発銀行『パプアニューギニア
地域の経済開発』
アジア経済 6(11):88―91,1965

坂田善三郎
J. S. ミンツ著「インドネシアーその側面」
1961
アジア経済 3(8):109―111,1962

坂田善三郎
スミトロ・ジョヨハディクスモー起死回生の
経済計画
朝日アジアレビュー 8(4):92―93,
1971

鮫島晋助
インドネシアの経済閣僚
朝日アジアレビュー 14(2):138―139,
1973

世界的好況に遅れをとったイ国経済
月刊インドネシア 102:18―20,1955

シャハトH.
インドネシア経済の再建方式
エコノミスト 30(10):58―61,1952

清水克隆
インドネシア経済事情
東京銀行月報 5(4):2575―2584,
1953

シン, A. C.
インドネシアにおけるアメリカ帝国主義の経
済的伸長(1950~1962)
アジア研究資料 8:2―26,1965

新局面を迎えるインドネシア経済

調査月報（日本銀行）

18(6):58—62,1967

綜合経済と低開発国における政府の政策

月刊インドネシア

77:21—22,1953

スカルノ訪ソとインドネシア経済

世界情勢旬報　299:16—24,1956

スマナン工業銀行総裁に訊く

月刊インドネシア　134:1958

スミトロ財政の方針と成果

月刊インドネシア　104:18—19,
1955

スタミハルジャ, P. T. M.

外国資本の現状と課題（となりの国からの便りーインドネシア）

自由　15(8):134—136,1973

鈴木誠二

東南アジア市場は期待できるかーインドネシアの政治経済事情

東邦経済　24(12):16—19,1953

Swianiewicz, Stamislas

インドネシア経済における発展と停滞

エカフェ通信　171:50—82,1958

タブラニ，M.

国民資本と外国資本について

月刊インドネシア　80:16—17,1953

多田

Mr. R. サントソ・フロトディルジョ著,

インドネシア租税法概論（1〜3）

東南アジア資料速報

4(3):7—8,1960

4(4):5—8,1960

4(5):3—7,1960

対インドネシア援助競争の現状
エカフェ通信　96:1956

対インドネシア経済断交の危機
エコノミスト　32(32):34—39,1954

対日経済政策の焦点ーテジャスクマナ氏の演説ー
月刊インドネシア　66:2—10,1952

高橋　清
インドネシアにおける新通貨措置について
外国為替　218:19—25,1959

高倉正夫
全面的な差金ルピア決済
世界週報　33(28):57,1952

高倉正夫
経済の自立に苦しむインドネシアの近情
世界週報　33(19):26—24,1952

高杉晋一
インドネシア委員会の設立と今後の運営について
経団連月報　16(2):2—4,1968

武　博宣
インドネシア開発計画の基本問題
エカフェ通信　110:1—26,1957

武部晃二
インドネシアの停滞と発展
季刊外政　1:1956

竹内静子
インドネシア経済協力の舞台裏
エコノミスト　39(45):46—49,1961

竹内義雄
東南アをめぐる国際資本の角逐
朝日アジアレビュー
11(3):64—70,1973

田中
インドネシア視察報告
調査月報(三井銀行)　280:36—46,1958

東南アジア諸国の税制要覧改訂版ーインドネシア編
エカフェ通信　196:42—66,1959

通貨事情の悪化に悩むイ国経済
月刊インドネシア　111:29—31,1956

上野　裕
インドネシア経済のジレンマ
エカフェ通信　261:25—43,1961

Van der Kroef, Justus M
インドネシア経済の将来
調査月報(大蔵省)　48(8):97—110,1959

Van der Kroef, Justus M
インドネシア経済のゆくえ
アジア研究資料　3:2—26,1959

渡辺長雄
現地に見たインドネシアの金融経済
国際金融　427:24—29,1969

渡辺長雄
石油値上げ以後のインドネシア経済ーインフレだが石油の強味があるー
世界週報　55(40):14—17,1974

Woodhouse Thomas E.
インドネシアへの投資
国際商事情務　1(9):32—37,1973

山田亮三
インドネシアー債権こげつきの悲劇
時の法令　128:18—21,1954

山岡喜久男
インドネシアの開発計画
日本経済政策学会年報　12:85—96,1965

山本　進
悩み深いインドネシア経済
エコノミスト　34(34):44—46,1956

山下交明
インドネシアにおける商品流通の実態とその基本的課題
専修商学論集　3:75—83,1967

山下　洋
破局せまるインドネシア経済－9.30事件の傷跡
エコノミスト　44(8):40-43,1966

山下正雄
インフレにあえぐ民衆－インドネシアより帰って
世界週報　47(17):40-47,1966

山下正雄
インフレに挑戦するインドネシア
世界週報　40(44):22-26,1956

山下正雄
経済には弱い積極中立－ビルマ・インドネシア・セイロン
世界週報　45(25):34-37,1964

米谷健一郎
インドネシアへの援助競争
朝日アジアレビュー
9(1):106-107,1972

吉田　実
インドネシアの経済開発五カ年計画
朝日アジアレビュー
6(2):173-175,1971

財政・経済問題とインドネシア社会
月刊インドネシア
80:4-10,1953

貿　　易

馬場圭史
日本・インドネシア友好通商条約について
税関調査月報　14(9):1961

中国・インドネシア貿易協定とアジア貿易の変観
アジア経済旬報　206:1−8,1953

動揺するインドネシア市場−主として日本綿糸布輸出市場として−
呉羽紡績月報　26:16−32,1952

遠藤尚之
イ国市場における中共品の進出問題
月刊インドネシア　132:24−28,1958

紛議かもす対インドネシア貿易
東洋経済新報　2617:1278−1280,1954

グルシガン，J.B.
インドネシア輸出貿易の動向（1,2）
月刊インドネシア　84:6−9,1953
85:5−7,1953

香港華僑視察団のインドネシア市場に対する考察
経済と外交　49:16−18,1952

今井　博
対インドネシア貿易の問題点
経団連月報　2(9):444−447,1954

今泉一郎
ビルマ及びインドネシアとの米綿委託加工取引について
財経詳報　43:1956

インドネシア複数為替相場制度の現況
月刊インドネシア
84:16−17,1953

インドネシア向け輸出制限問題
財政経済弘報　646:1957

インドネシアに於ける米の生産及び輸入状況
ージャカルタ在外事務所報告ー
経済と外交　55:33—37,1952

インドネシアにおける資料
海外貿易情報　31:16—17,1952

インドネシア・西独新通商協定の成立
海外経済事情　128:217—218,1953

インドネシアの貿易形態
商工財務　7(3):23—24,1952

インドネシアの貿易経済事情
世界貿易資料　1(1):8—11,1950

インドネシアの中共貿易
東邦経済　24(8):26—29,1954

インドネシアの外国貿易
東南アジア経済資料　12:1955

インドネシアの外国貿易・為替規則の概要
外国為替　174:24—26,1957

インドネシアの外国貿易および為替規則の概要
ー1958年11月1日現在
外国為替　203:23—26,1959

インドネシアの産業貿易事情
経済情勢　245:33—35,1949

インドネシアの市場性
海外経済事情　49:10—11,1950

インドネシアの新為替統制
アジア経済旬報　156:9—16,1952

インドネシアの対東欧貿
アジア経済旬報　246：9―16，1955

インドネシアの輸入制限措置について
月刊インドネシア　74：16―22，1952

インドネシアの輸出入規定解説
月刊インドネシア　65：24―28，1951

インドネシア市場への期待
海外経済事情　100：149―150，1952

インドネシア輸入削減つづく－国際収支の改善に腐心－
金融界　4（10）：66―68，1952

入江猪太郎
「拘束」貿易取引－インドネシア産ラミー繊維を検例例として
国民経済雑誌　92（4）：61―65，1955

糸川英夫
インドネシアに輸出された日本の国産ロケット；目的は純然たる科学研究
潮　65：181―187，1965

木内　進
日本・インドネシア貿易の展望
金融情報　5（10）：2―25，1952

コゲ付債権に悩む日イ貿易
東洋経済新報　2681：44―46，1955

小泉信一
インドネシアの新貿易政策
エカフェ通信　74：29―49，1956

工藤振作
インドネシア向輸出停止の背景
財経詳報　113：1957

黒部　穣
インドネシアにおける為替貿易管理制度の概要
市場分析　3（8）：27―34，1952

協定上より見た日本・インドネシア貿易支払関係について
外国為替　101：35—37，1954

マラヤ・インドネシアの対ソ貿易について
内閣官房内閣調査室調査月報
6(8)：43—60，1961

三菱経済研究所
インドネシアの輸入手続制限および関税の概要
通商月報　1(4)：29—31，1949

溝手嘉昭
インドネシアの貿易・為替制度
東京銀行月報　24(5)：71—78，1972

籾倉道雄
オープン・アカウント地域諸国の経済，貿易の動向について—インドネシア篇
外国為替　123：13—17，1955

元山哲太
インドネシアこげ付債権の放棄—外国為替特別資金の金額を減少
時の法令　288：10—14，1958

中井豊吉
日イ間の通商貿易関係について
中井豊吉，榊原二郎　著
東商　65：10—11，1952

中内恒夫
日本の産業構造調整策と対東南アジア貿易—インドネシア
世界経済評論　17(11)：35—48，72，1973

直井隆雄
インドネシアおよびフィリピンとの支払協定の廃止に伴う法令措置等について
外国為替　171：16—18，1957

日イ貿易関係の問題点
月刊インドネシア　101：33—35，1955

日イ貿易及び支払取極について
経済と外交　79：1—5，1953

日本銀行　外国為替局総務課
インドネシアにおける貿易および為替規則の概要
外国為替　148：5—7，1956

日本インドネシア協会　調査部
54年度における対イ貿易の地位
月刊インドネシア　100：26—27，1955

日本インドネシア協会　調査部
インドネシアに於ける米ドル蓄積の減退と香港経由の対日輸入
月刊インドネシア　68：6—9，1952

日本インドネシア協会　調査部
対インドネシア輸入促進に関する緊急措置
月刊インドネシア　87：14，1954

二宮辰雄他　（座談会）
第二回日イ貿易振興委員会，光藤経済第五課長を囲んで
インドネシア　71：21—25，1952

越智度男
インドネシア友好通商条約
時の法令　408：31—35，1961

小川　覚
海外市場調査—「インドネシア」篇
日本化学繊維協会調査時報
99：1—111，1957

岡　達夫
日本・インドネシア間米綿委託加工貿易について
外国為替　149：18—21，1956

パホーモヴァ，L. F.
インドネシア外国貿易における民族資本
アジア研究資料　5：1—14，1964

嵯峨座晴夫
インドネシアの貿易統計（I）
アジア経済　5(8)：50—57，1964

嵯峨座晴夫
インドネシアの貿易統計（II）—商品分類について—
アジア経済　5(9)：54—62，1964

最近のインドネシア事情—石居太楼氏に聴く—
海外貿易情報　34：1—9，1952

繊維市場としてのインドネシア
通商産業研究　3(8)：85—88，1955

柴田鉄四郎

対イ貿易の改善策

月刊インドネシア　94：1−2，1954

スラバヤにおける繊維市況−スラバヤ在外事務所報告−

海外貿易情報　30：9，1952

山岡紘二

国際通貨危機と東南アジア〔特派員報告〕−ジャカルタ輸出確保が最大の狙い−ルピア切り下げに踏み切る

世界週報　52(39)：72−74，1971

矢内原　勝

ファン・ルール著「インドネシア貿易と社会」

アジア問題　6(1)：1957

八城政基

T. C. ファン・ルール著「インドネシアの貿易と社会，アジア社会経済史論集」1955

アジア研究　3(3)：103−107，1958

吉木武一

漁業における資本輸出の現代的性格−インドネシア・エビ資源の開発輸入を事例として−

漁業経済研究

20(3･4)：61−88，1974

産　　業

浅野　進

インドネシアの繊維産業と流通機構

アジア経済　13(6)：79−85，1972

浅野武志

OPEC の異端児−インドネシアの石油政策

プルタミナと対日政策を中心に

世界週報　55(42)：46−53，1974

芦沢安平

西イリアンの資源開発について

熱帯農業　15(3)：145−147，1971

芦沢安平

西イリアン資源開発参考資料，旧南洋庁熱帯産業研究所の業績（情報および資料）

熱帯農業　15(3)：203−205，1971

福田精一

素顔のインドネシアープラント建設に従事した一技術者の目一上・中・下一

エコノミスト　47(25):56-62,1969

47(26):60-66,1962

47(28):76-82,1962

フライヤー，D

インドネシアに於ける砂糖産業の復興

国際食糧農業　7(2):17-23,1958

古山正雄

最近のインドネシア石油事情

アジア経済　3(1):70-73,1962

原田哲也

マラッカ海峡のバイパス・南タイパイプラインの調査

トランスポート

21(11):29-31,1971

星　司朗

インドネシアの林業とジャワ島の造林

北方林業　22(5):141-146,1970

細見英夫

開放体制下のインドネシア繊維産業

化繊月報　25(5):29-35,1972

伊部時代

インドネシアの工業建記

国土開発　4(12):27-28,1955

インドネシア漁業の現況

国際漁業資料　8:29,1952

インドネシア工業化計画の進捗状況

月刊インドネシア　99:14-15,1955

インドネシアにおける原動用燃料事情

海外貿易情報　35:18,1952

インドネシアにおけるインデュースメント商品に関する規定，概要ージャカルタ在外事務所ー

経済と外交　73:9-14,1952

インドネシアにおける小規模工業；機械化計画に関する調査
エカフェ通信　129:1−32,1957

インドネシアの電気通信事情
基金調査季報　4:45−69,1969

インドネシアの電力事情
基金調査季報　3:48−71,1969

インドネシアの漁業
海外市場月報　5(39):1955

インドネシアの工業および電力開発概況
エカフェ通信　108:31−57,1957

インドネシアの鉄道
外国交通調査資料　11(6):45−47,1957

インドネシアの運輸事情
基金調査季報　2:19−57,1969

インドネシア貸船問題の推移
海運　365:45−47,1958

井上　甫
インドネシアの印象〔インドネシア繊維被服労組のセミナに出席して〕
世界の労働　20(2):29−31,1970

岩切成郎
クリスナンデ「インドネシア海面漁業の経済的展開」〔S.Krisnandhi,Bulletin of Indone Sian Economic Studies, Vol・5,No.1,1969〕について(資料)
漁業経済研究　19(4):20−28,1973

岩佐凱実
太平洋インドネシア実業人会議〔昭42. 3,ジャカルタ〕に出席して
経団連月報　15(9):34−37,1967

神戸達郎
インドネシア漁業にもとめるもの
水産時報　4(35):23−27,1952

金子敬生
インドネシアの産業連関分析
東南アジア研究　11(1):62—76,1973

金山清一
インドネシアの錫花コウ岩と漂砂錫鉱床—とくにバンカ・ビリトン島を中心として—
東南アジア研究　11(3):321—337,1973

川上やまと
インドネシアの産業構造
エカフェ通信　499:1—43,1967

萱島秀伸
インドネシア水力資源の考え方
月刊インドネシア　108:21—24,1956

岸　幸一
インドネシアにおける石油資源開発と Production Sharing 方式
エカフェ通信　330:1—19,1963

児玉伸昭
海外の日本人—アジア編—企業活動と人間関係—インドネシア日本企業の利益追求に強い批判—経済協力に期待
世界週報　54(36):31—33,1973

小城一広
インドネシアの港湾と浚渫—現状と問題点—1—(外国港湾便り)
港湾　52(12):59—69,1975

高速道路調査会アジアアフリカ開発研究委員会
ニューギニア事情—西イリアン・パプア・ニューギニア(都市高速道路特集)
高速道路と自動車
14(2):76—81,1971

栗原東洋
アジアにおける水利開発とその課題
国民経済 4:15—40,1956

栗岡美津夫
インドネシア・タイの繊維産業情勢と繊維統計
日本紡績月報　339:2—16,1975

黒部　穣
インドネシア
電通月報　8(3):32—33,1953

松野　正
スマトラにおけるオイルパームの現状とその問題点(情報および資料)
熱帯農業　15(2):123—124,1971

松尾　大

ジャワ綿織物工業史

アジア経済　8(6):49—74,1967

三村起一

北スマトラ油田開発の経済協力について

経団連月報　8(5):17—19,1960

三浦利昭

缶詰工業・調査雑記（インドネシア農業経済開発調査より－5－）

缶詰時報　51(13):1154—1158,1972

三好俊吉郎

インドネシアに於ける事業のナショナリゼーション運動の発展と華僑の地位

月刊インドネシア　111:2—7,1956

森　利貞

インドネシア水産業の現状

月刊インドネシア　128:7—13,1958

向井　滋

インドネシアの錫およびニッケル鉱業について　向井滋・港種雄・中広吉孝・金山清一著

東南アジア研究

9(4):615—634,1971

永積　昭

O.W.ウォルタース著『初期インドネシアの商業ーシュリーヴィジャヤの起源の研究』

アジア経済　8(9):100—103,1967

西村朝日太郎

インドネシアの漁撈の海洋人類学的考察（I,II）ー特にウォーレス線の社会科学的な意義と関連して

アジア経済　16(7):37—57,1975

16(8):36—47,1975

大原栄一

インドネシアに対する企業進出と外資導入関係法（2,3）

海外商事法務　112:24—28,1971

115:17—23,1972

大坪徹心

南方開発の打診

実業之世界　52(15):27—29,1955

サレー・ジャヤ, M
カリマンタンの交通
日刊インドネシア　84:10—11,1953

資材と技術を求めるインドネシアの表情
ダイヤモンド　40(25):2308,1952

須山　卓
G.C.アレン他著「インドネシアおよびマレーにおける西欧の企業」
アジア問題　6(5)

田口三夫
日本企業の海外進出—その現状と問題点(現地取材より)— 4〜8 —インドネシア—大企業がくつわを並べる
世界週報　50(14):74—80,1969

田口三夫
追放か共存か—インドネシアの華商対策
世界週報　48(21):58—60,1967

高久恭太郎
東京・ジャカルタ・マニラ—1・2—
鉄鋼界　3(4):27—29,1953
　　　　3(5):31—33,1953

田中公数
インドネシア繊維事情視察記—バティック工業の現状とキャンブリック輸入問題を中心として
日本紡績月報　258:2—10,1968

田中　穣
インドネシアの紡織業
呉羽紡績月報　26:3—15,1952

谷口五郎
インドネシアにおける米石油企業接収の背景
アジア経済　6(4):78—79,1964

東南アジア主要国の現勢—インドネシア
通商産業研究　3(2):54—59,1955

山本剛士
インドネシア目指す企業群—官民一体の日米協調体制
エコノミスト　46(1):136—139,1968

山崎義人
インドネシアにおける日本繊維資本にまつわる諸問題
日本紡績月報　329:2—9,1974

吉原真一郎
常夏の国・インドネシアの鉄道事情
トランスポート
22(3):60—65,1972

吉阪俊蔵
インドネシアの小工業
中小企業協同組合　10(4):21—22,1955

農　　業

千葉弘見
インドネシアにおけるカシューの地域的分布とその開発について
熱帯農業　14(1):12—17,1970

千葉弘見
〔インドネシアの食糧問題〕研究集会－インドネシアの自然環境と農産資源について
熱帯農業　15(4):255—262,1972

千葉弘見
西イリアン(ニューギニア)の原住民農業
熱帯農業　5(1):34—39,1962

千葉弘見
東南アジアを背景としたとうもろこし問題(研究集会)－インドネシアにおけるとうもろこし生産の現況と開発について
熱帯農業　13(1):30—34,1969

江畑　武
同志社大学ボルネオ(Borneo)島学術調査略報－北部ボルネオにおける稲作の形態
文化史学　20:61—73,1966

エマリー, R. F.
インドネシアの農業生産傾向とその問題点
エカフェ通信 249:47—65,1960

遠藤嘉数
カリマンタンの林業開発
林業経済 12(7):4—6,1959

藤本 昭
金 紀著「インドネシア・プランテーションに関する資料」
アジア問題 4(1):115—122,1956

福島毅一
インドネシアの森林開発について
林業技術 340:18—21,1970

林 良次
未開発地域パプア・ニューギニアの森林と林業
林野時報 20(3):36—40,1973

平川正直
インドネシアにおける油やしの開発と経済援助(研究集会)—油やしの技術的問題について
熱帯農業 16(1):18—21,1972

広瀬昌平
インドネシアの主要作物種子生産関係機関および法規について(情報および資料)
熱帯農業 18(1):39—44,1974

広瀬昌平
インドネシア東部ジャワ州におけるとうもろこし作付動向(情報および資料)
熱帯農業 18(1):28—39,1974

飯島 正
インドネシアにおける農地改革についての一考察
亜細亜大学経済学紀要
1:137—158,1966

飯島 正
インドネシアにおける土地改革の性格
農村研究 26·27:491—518,1967

インドネシアにおける麻袋原料用麻類生産の将来性に関する研究(日本熱帯農業学会熱帯植物資源研究委員会麻類研究部会特別研究)—まえがき—
熱帯農業 17(2):84,1973

インドネシアのゴム
月刊インドネシア
79:15—16,1953

インドネシアの農林水産業と行政の展望
国際食糧農業　8(9)：24−29,1959

インドネシアの林業（松尾兎洋訳）
林野時報　4(12)：44−50,1957

インドネシアの土地所有形態と農民階層の実証的研究
国際食糧農業　9(4)：30−44,1960

インドネシア・スマトラ開発における土壌保全と機械開発について（研究集会）
熱帯農業　14(2)：99−110,1970

井上忠彦
熱帯農業の開発と農薬の役割（研究集会）−インドネシアを中心として
熱帯農業　15(2)：105−120,1971

石丸　聡
カリマンタン森林資源開発と積出港湾
港湾　38(6)：25−31,1961

紙谷　貢
インドネシア・ランポン州の農業−貧困の移植
農業総合研究　26(1)：135−158,1972

勝又藤夫
インドネシア多化蚕と日本二化蚕の交雑試験に見られた化性の非母性遺伝〔英文〕
日本蚕糸学雑誌
37(6)：453−461,1968

勝又藤夫
西部ジャワの桑の種類とその特異性（資料）〔英文〕
日本蚕糸学雑誌
41(3)：213−222,1972

加藤長雄
東南アジアの断面（2）−インドネシア−破壊される農村
エコノミスト　46(14)：52−56,1968

河部利夫
ミナンカバウ！水牛が勝った！−インドネシア
朝日アジアレビュー
18(2)：129,1974

木村克彦
〔農業土木技術者〕海外からの発言−世界各地から13名の会員による（寄書）−フランボヤンの花の下からの発言−
インドネシア農業土木学会誌
41(1)：46−47,1973

錦織英夫
パプア・ニューギニアにおける農・畜産関係の試験研究について
拓殖研究　3(4):1−11,1971

岸　幸一
A.G.デウェイ著『ジャワの農民市場』
アジア経済　4(8):89−93,1963

岸　幸一
インドネシアの農地基本法と土地改革の本質
エカフェ通信　306:1−24,1962

北村純一
〔農業土木技術者〕海外からの発言−世界各地から13名の会員による(寄書)−土と石と水の技術−これからインドネシアへくる人のために
農業土木学会誌　41(1):44−45,1973

小林　彬
ジャワに於ける強制栽培制度の功罪について
拓殖大学論集　15:85−102,1958

小林順造
インドネシア・セラム島の農業開発
建設の機械化　205:31−35,1967

小林良正
インドネシアの農業
新農塾　3(9):45−48,1948

前田和美
インドネシア産落花生品種の主要特性
熱帯農業　13(4):195−201,1970

増田俊明
インドネシアの土地制度と土地改革
エカフェ通信　145:1−41,1958

増田俊明
インドネシアにおける油やしの開発と経済援助(研究集会)−挨拶−
熱帯農業　16(1):18,1972

増田俊明
〔インドネシアの食糧問題〕研究集会−インドネシアの米問題と輸出農産資源
熱帯農業　15(4):252,1972

増田　与
インドネシア共産党の農業綱領
エカフェ通信　243:60−77,1960

増井和夫

東南アジア農村かけめぐり(2,3)ーインドネシアにみる海外技術協力

農政調査時報　226:29−34,1974

228:18−22,1974

マイティ,ド・ナ

インドネシア農民運動の前途

アジア問題月報　5:67−79,1954

三浦利昭

インドネシアの現況(インドネシア農業経済開発調査より−1−)

缶詰時報　51(7):584−587,1972

三浦利昭

北スマトラの概観(インドネシア農業経済開発調査より−2−)

缶詰時報　51(9):765−768,1972

三浦利昭

北スマトラの交易・畜産物・農業開発(インドネシア農業経済開発調査より−4−)

缶詰時報　51(11):973−977,1972

三浦利昭

トバ湖周辺の農産物(インドネシア農業経済開発調査より−3−)

缶詰時報　51(10):893−897,1972

盛永俊太郎

インドネシアに於ける稲と稲の改良法

農業及園芸　26(6):623−625,1951

盛永俊太郎

インドネシアにおける「米の育種家の会」

農林時報　10(10):45−47,1951

本岡　武

インドネシアの米

アジア経済　17(7):80−81,1976

本岡　武

インドネシア農業開発の新転機−とくに米増産計画をめぐって−

東南アジア研究

10(3):451−465,1972

長田秋雄

土地基本法の制定にみるインドネシア農政の動向

アジア経済　2(2):34−41,1961

長戸　公

インドネシアにおける麻袋原料用麻類生産の将来性に関する研究(日本熱帯農業学会熱帯植物資源研究委員会麻類研究部会特別研究)−インドネシアにおける麻袋の需給ならびに原料用麻類栽培の歴史

熱帯農業　17(2):84−92,1973

中田正一
インドネシアの農業プロジェクト
経団連月報　20(3):56—59,1972

日本の合成ゴムの脅威「インドネシア・ラヤ」
社説　73.8.8
朝日アジアレビュー　16(4):123,1973

西川五郎
インドネシアにおける麻袋原料用麻類生産の将来性に関する研究（日本熱帯農業学会熱帯植物資源研究委員会麻類研究部会特別研究）ー主な麻およびその品種改良と適地の選についてー
熱帯農業　17(2):92—102,1973

西川五郎
インドネシアにおける麻袋原料用麻類生産の将来性に関する研究（日本熱帯農業学会熱帯植物資源研究委員会麻類研究部会特別研究）ーまとめ
熱帯農業　17(2):118—120,1973

西村博行
インドネシアの農家における農業技術・経済情報の普及ージャワ島における実態調査結果の比較ー
東南アジア研究
12(4):458—477,1975

西中啓二
インドネシアのとうもろこし事情
アジア経済　13(7):67—84,1972

西野照太郎
インドネシア農村社会の経済的地位
農業総合研究　8(1):173—202,1954

西山喜一
インドネシアにおける麻袋原料用麻類生産の将来性に関する研究（日本熱帯農業学会熱帯植物資源研究委員会麻類研究部会特別研究）ーインドネシアにおけるロゼル栽培の経営上の問題点
熱帯農業　17(2):110—117, 1973

野元　剛
〔農業土木技術者〕海外からの発言ー世界各地から13名の会員による（寄書）ーインドネシアの滞砂
農業土木学会誌　41(1):47—48,1973

小川欣一
最近のインドネシア林業の紹介ー上・中・下ー
林業経済　28(4):16—30,1975
28(6):15—17,1975
28(7):16—20,1975

岡　啓
南スマトラ・ランポン州の畑作農業とキャッサバ
農業技術　29(12):546—549,1974

大野一月
インドネシアの農業事情
熱帯農業　4(3):122—125,1961

大戸元長
インドネシアにおける油やしの開発と経済援助(研究集会)ー油やしの開発と経済援助
熱帯農業　16(1):21—24,1972

大戸元長
インドネシアの外領の農業開発について
ーRice Estatcを中心として
熱帯農業　19(3/4):168—172,1976

パプア・ニューギニア林業開発調査団長として現地を訪問した福田省一氏(人物訪問)
インタビュー，福田省一，新里次雄
林野時報　22(6),12—14,1975

ペニー．D.H
小農民農業の経済学ーインドネシアの事例ー
アジア経済　8(6):28—44,1967

サデリイ・ハルジャ
或る貧農の生活
月刊インドネシア　131:24—26,1958

斉藤　隆
インドネシア農業とその開発
拓植学研究　3·4:69—79,1971

酒井敏明
インドネシアにおけるプランテーション農業の問題点
東南アジア研究　3(5):110—121,1966

坂田善三郎
C.ゲルツ著『インドネシア農業の低迷ー生態学的分析』
アジア経済　6(6):87—90,1965

坂田善三郎
インドネシアの食糧農業
海外事情研究所報告　2:28—36,1965

佐藤　孝
赤道多雨地帯の開発とスマトラ・ランポン州のメイズ栽培
東南アジア研究
7(3):412—419,1969

佐藤　孝
わが国の必需熱帯農産資源の供給に対する東南アジアの寄与(シンポジウム日本熱帯農業学会第25回講演会)ーインドネシアおよびカンボジアについて
熱帯農業　13(2):105—108,1970

茂田和彦
インドネシアにみる林業分野の経済協力の方向
林野時報　20(3):32—35,1973

清水三郎
インドネシア農漁民銀行
漁業経済研究　9(3/4):51—57,1961

静岡県林政課
都道府県と林政－インドネシアとの経済協力事業－静岡県における新しい試み
林野時報　20(3):42—44,1973

静岡県林政課
都道府県と林政－資料－ 1972 年静岡県インドネシア調査団報告書から抜すい－
林野時報　20(3):45—47,1973

杉野忠夫
日本の技術協力に期待する北ボルネオ－私の見た外国農業
農業と経済　31(2):45—49,1965

杉山市平
インドネシアを動かす農民運動(現地ルポ)
エコノミスト　43(15):135—140,1965

ターガスト・G
インドネシアおよび西ニューギニアにおける高地の利用(1〜4)
国際食糧農業　5(12):1957
6(1):1957
6(2):1957
6(3):1957

滝川　勉
D. H. ペニー「小農民農業の経済学」によせて
アジア経済　8(6):45—48,1967

高倉正夫
前途は暗い農園産業
世界週報　33(22):42—43,1952

玉井虎雄
インドネシアの農業
農林金融　21(6):47—54,1968

玉井虎雄
イインドネシア農業社会の分析
歴史評論　3(7):55—64,1948

田中則雄
ラインスマ著「強制栽培制度の没落」1955
東洋学報　43(2):136—138,1961

照井貞夫
インドネシアの米穀事情
食糧管理月報　22(9):3—7,1970

照井貞夫
〔インドネシアの食糧問題〕研究集会ーインドネシアの食糧問題と米の流通について
熱帯農業　15(4):252-255,1972

豊田　尚
サバ州(北ボルネオ)の農業ーボルネオ・中東の農業と統計(農業センサス指導の体験から(1)
農林統計調査　17(11):52-57,1967

筒本卓造
インドネシアの木材生産と利用ー1ー
木材工業　27(8):394-398,1972

内田重雄
インドネシアにおける麻袋原料用麻類生産の将来性に関する研究(日本熱帯農業学会熱帯植物資源研究委員会麻類研究部会特別研究)ー麻類とくにロゼルの栽培について
熱帯農業　17(2):102-104,1973

内田重雄
インドネシアにおける麻袋原料用麻類生産の将来性に関する研究(日本熱帯農業学会熱帯植物資源研究委員会麻類研究部会特別研究)ー麻類の収穫と調製について
熱帯農業　17(2):104-108,1973

Van der Kroef, Justus M
ジャバの農業とその諸問題(1,2)
月刊インドネシア　109:8-13,1956
110:22-27,1956

Van der Kroef, Justus M
インドネシアの土地改革
社会主義政治経済研究所研究資料
4(5):31-41,1960

渡辺竜雄
インドネシアにおける麻袋原料用麻類生産の将来性に関する研究(日本熱帯農業学会熱帯植物資源研究委員会麻類研究部会特別研究)ー麻とくにロゼルの病害虫について
熱帯農業　17(2):108-110,1973

八木純一郎
インドネシア・スラウェシセンター
海外技術協力　229:　1973

矢沢文雄
インドネシアにおける農業研究協力事業に参加して(海外だより)
化学と生物　12(1):64-69,1974

依田和夫
インドネシアおよび西マレーシアの林業事情と造林問題(1,2)
林野時報　16(11):37-39,1970
16(12):32-37,1970

吉原平二郎
インドネシアに対する農業技術協力ー特に南スマトラ・ランポンに対する農業開発協力事業についてー
朝日アジアレビュー　11(3):46-51,1972

教育・文化・風俗

安藤利男
言論自由の広場
新聞研究　56:8−9,1956
内容：インドネシアの新聞事情

青柳清孝
インドネシア・イスラム教徒と近代化
海外事情研究所報告　2:2−7,1965

別枝篤彦
インドのこころとインドネシアのこころ−文化の伝播と受容の立場から
史苑　34(2):1−27,1974

別枝篤彦
ジャワ人のくらし・あ・ら・かると
地理　5(2):38−52,1960

ブルックフィールド，H.C.
ニューギニアの高地住民（戸矢博道抄訳）
地理　7(6):65−71,1962

ブユン・サレー
インドネシア国民文化の成立
月刊インドネシア　109:21−24,1956

千原大五郎
ユートピア−理想の生活環境を求めて（主集）−インドネシア，中部ジャワにおけるチャンディ建築の空間
建築雑誌　88(1060):1−52,1973

ダヤク族の生活
月刊インドネシア
78:16−18,1953

舟知　恵
現代インドネシアの詩壇と作品− 1976 年の時点から−
朝日アジアレビュー
27(3):170−184,1976

グナワン・モハマッド
現代インドネシア文学の傾向−解説−
佐々木重次訳
朝日アジアレビュー
17(1):190−193,1974

畑中幸子
調停者は誰か−ニューギニア高地における文化変容の研究
民族学研究　40(1):16−34,1975

原　忠彦
インドネシア・ジャカルタ地区のジャワ人の家族に関する覚書
アジア・アフリカ言語文化研究
4:153−161,1971

イドルス
車内風景　佐々木信子訳
朝日アジアレビュー　17(1):178−180,1970

インドネシアの学校事情
月刊インドネシア　134:1958

インドネシアの郷土色
月刊インドネシア
77:14−16,1953

石橋重雄
インドネシア語のMasjarakat（社会）について（海外事情研究所発行「報告」第11号要旨）（社会科学の方法論）
海外事情　23(1):18−24,1975

石川元助
ニューギニア原住民の話す「グナン・ツナ」語について−ニューギニア研究−1−
名古屋学院大学論集（人文・自然科学篇）
8(1):33−62,1971

イスマイル・トーフィック
ぼくの書きたい詩　土屋健治訳
朝日アジアレビュー
17(1):188−189,1974

伊東照司
古代ジャワ美術と不空
朝日アジアレビュー
27(3):127−128,1976

岩本　裕
ジャヴァの仏教文献について
印度学仏教学研究
2(1):233−236,1953

泉　靖一
ニューギニアの南北文化横断線
民族学研究　14(4):48,1950

海原流星
インドネシアの種族あれこれ
月刊インドネシア　104:13−15,19,1955
108:1956

柿沢仲太
国歌〝インドネシア〟
月刊インドネシア
90:14−17,1954

河部利夫
レン・デサ・レン　アダットー村々にはそれぞれの慣行がある
朝日アジアレビュー　8(4):19,1971

岸　幸一
アメリカの東南アジア研究ーインドネシア研究を中心として
アジア経済　6(2):86—91,1965

岸　幸一
ジャワ人社会におけるイスラームとアダットの交錯ークリフォード・ゲールツの見解を中心として
アジア研究　9(1):70—92,1962

岸辺成雄
ガムラン音楽
芸能　3(3):42—44,1961

北住敏夫
インドネシア古美術の印象
文化　38(1/2):136—148,1974

児島伸昭
美人コンテストと回教(世界の話題・インドネシア)
世界週報　56(14):62—63,1975

国立国会図書館
ダヤク族の信仰ーボルネオ奥地の宗教と生活ー多田芳雄著
アジア・アフリカ資料通報
11(4):19—24,1973

国立国会図書館
インドネシア新聞小史　マスチーンH. プラコソ著・菊地知子訳
アジア・アフリカ資料通報
14(5):23—28,976

国立国会図書館
東南アジアにおける出版事情及び資料収集ーインドネシア・マレイシア・シンガポールー多田芳雄著
アジア・アフリカ資料通報
12(10):19—24,1975

口羽益生
インドネシアー背後にある民族のこころ
朝日アジアレビュー
24(4):82—87,1975

口羽益生
インドネシアのイスラム社会
ソシオロジ　11(1/2):289—303,1964

口羽益生
インドネシアの宗教運動ーその意義と役割
朝日アジアレビュー
16(4):180—186,1973

口羽益生

東南アジアの宗教と社会－マレーシア・インドネシアを中心として

竜谷大学仏教文化研究所紀要

5：11−20，1966

蔵原惟人

インドネシアの生活と文化（1−6）

文化評論　10：1962

11：1962

13：1962

15：1963

18：1963

19：1963

倉田文人

インドネシア映画の現状

映画評論　10(9)：37−40，1953

楠　正弘

ジャワ島の宗教－庶民信仰の一考察

文化　36(4)：1−44，1973

馬淵東一

6年の後に－バタビア協会雑誌の復刊－

民族学研究　15(1)：80−82，1950

馬淵東一

故クロイト博士と，インドネシア民族学

民族学研究　14(3)：56−61，1950

馬淵東一

クンチョロニングラト編『インドネシアにおける諸村落』

アジア経済　9(5)：104−109，1968

間苧谷　栄

インドネシアにおける国家と宗教－M．ナッシールの所説を中心にして

一橋論叢　68(5)：137−144，1972

間苧谷　栄

経済開発における社会文化的要因の検討－インドネシアにおける研究の動向

アジア・アフリカ言語文化研究

5：217−229，1972

マリヨノ・節子

花とインドネシア人

月刊インドネシア　79：9，1953

マルフ・アナス
インドネシア詩の流れ−パントン，シャイールと自由詩　佐々木重次訳
東京外国語大学論集
19:97−109,1969

増田福太郎
インドネシアにおけるアダット親族法−B. ter Haar の所説とその論点（2）
福岡大学法学論業
15(4):629−661,1971

増田　与
インドネシアにおける民族語の形成−民族独立運動に関連して
社会科学討究　11(3):233−255,1966

松野庸子
ニューギニアの土俗品
Meseum　125:6−9,1961

松浦健二
現代インドネシア文学の潮流（特集・インドネシア）
海外事情　21(5):28−36,1973

間宮直香
民族・言語・文化−インドネシア現代文学覚書
教育　5(8):1955

満岡忠成
セピック〔Sepik 東ニューギニア〕美術瞥見
京都市立美術大学美術学部研究紀要
15:20−26,1970

宮山滋夫
イスラム雑感−回教主義と民族主義の対立
月刊インドネシア　90:5−11,1954

森村　蕃
インドネシア語単文述部に関する−考察−自立小述部単位の機能関係について−
大阪外国語大学学報
22:51−67,1970

本岡　武
研究対象としてのインドネシア−インドネシア予備調査報告−
東南アジア研究
6(3):180−187,1968

ムスリム
ダルル・イスラムの悲劇
月刊インドネシア
82:12−15,1953

永積　昭
アメリカおよびオランダにおけるインドネシア研究の現況
東南アジア研究
6(1):177—183,1968

永積　昭
バンダ・アチェーの社会科学研究訓練センター見学記
東南アジア　歴史と文化
5:166—168,1975

永積　昭
オランダにおけるインドネシア研究の現状
東南アジア　歴史と文化
3:145—148,1973

永積　昭
ジャカルタのインドネシア国立文書館
(Arsip Nasional)の近況
アジア経済　8(8):114—118,1967

仲田浩三
ジャワの鋼板刻文の弁偽法
東南アジア　歴史と文化
1:154—155,1971

中村光男
ジョクジャカルタ市コタグデにおける社会人類学調査の予備報告
東南アジア研究
10(3):466—476,1972

中西竜雄
インドネシア語における「アクセント」の特殊性
大阪外国語大学学報　11:81—97,1962

中西竜雄
インドネシアの古代歌謡「パントウン」について—我が国古代歌謡との比較研究〔未完—〕
大阪外国語大学学報
29:211—220,1973

中西竜雄
インドネシアの古代歌謡「パントウン」について—我が国古代歌謡との比較研究—前承—
大阪外国語大学学報
31:41—66,1974

中西竜雄
インドネシア語の構造について
大阪外国語大学学報　7:176—196,1959

中沢忠義
パジャジャラン大学
アジア経済　3(6):90—91,1962

ナヴィス，アリ・アクバル
わが礼拝堂の崩壊　崎山　理　訳
朝日アジアレビュー
17(1):160—165,1974

西野
東南アジアの国語政策－マラヤ連邦，インドネシアおよびフィリピンの場合
東南アジア資料速報
3(13):2–5,1959

野口英雄
中部ジャワの仏教遺跡－北プラオサンの方位について－
東南アジア研究
6(4):339–358,1969

野口英雄
インドネシア留学から帰って〔建築と都市計画関係〕
東南アジア研究
6(1):213–227,1968

野村庄吾
インドネシアと日本における青年の自我認知－1－自己と教育
京都教育大学教育研究所所報
20:1–24,1974

ヌルハヤティ・ディニ
二つの世界　佐藤静子訳
朝日アジアレビュー
17(1):182–185,1974

大庭さち子
娘たづねて「ムルデカ」の国へ
文芸春秋　32(14):212–225,1954

大矢雅彦
衛星写真判読による小縮尺地形分類図の試作－ジャワ島東部の場合－
東南アジア研究
13(3):470–480,1975

大宅壮一他　（座談会）
インドネシアの文化を語る
月刊インドネシア　71:2–12,1952

大山良徳
タイおよびインドネシアにおける青少年の体力に関する調査報告
東南アジア研究
11(1):148–163,1973

小津幸夫
遺蹟プランバナンの伝説
月刊インドネシア　104:10–12,1955

プトウ・ウィジャヤ
頭の中の犯罪　佐々木信子訳
朝日アジアレビュー
17(1):185–187,1974

プラムディヤ・アナンタ・トウール
弟の生まれたころ　富尾武弘訳
朝日アジアレビュー
17(1):169–179,1974

ラハマディ, P.S
インドネシアの文学（1,2）宮山滋夫訳
月刊インドネシア　100:30—32,1955
102:21—24,1955

ロウイン・イトウ
バリイ島の火装祭
月刊インドネシア　86:1—7,1954
87:10—13,1954

ロウセル低地—ダマル資源と「嫁買い」の風習
月刊インドネシア　84:12—13,1953

ルーシー, H.
魔神と格闘するインドネシア（村上光彦訳）
—上—
自由　7(12):102—111,1965

榊原帰逸
インドネシアの舞踊
芸能　3(3):36—41,1961

坂田善三郎訳
ボルネオ東部クタイ地方の伝説
月刊インドネシア　75:28—32,1953

崎山　理
インドネシアの古典語・地方語—ジャワ語を中心として（特集・インドネシア）
海外事情　21(5):37—46,1973

佐和隆研
インドネシアの美術
仏教芸術　58:1—19,1965

佐和隆研
スマトラ美術調査紀行
仏教芸術　66:107—115,1967

佐和隆研
インドネシア美術調査隊報告—A班調査報告—スマトラの石造美術　佐和隆研, 木村重信, 榊原吉郎共著
京都市立美術大学研究紀要
13:20—25,1968

佐野猛夫
インドネシア美術調査隊報告—B班調査報告—ジャワの染織工芸, 佐野猛夫, 元井能, 来野月乙共著
京都市立美術大学研究紀要
13:26—28,1968

関　伊統
インドネシア語・マライ（マレーシア）語の新つづり字
朝日アジアレビュー
12(4):170—172,1972

渋沢元則
ジャワ語の敬語法
東京外国語大学論集　5:17—32,1956

荘司忠志
インドネシアの大学生活
月刊インドネシア　134:1958

末永　晃
現代の文学(特集)ーインドネシアの文学
海外事情　20(7):1—66,1972

末永　晃
インドネシアの大学生＜特集＞ASEAN 地域
海外事情　23(2):9—16,1975

末永　晃
インドネシアの新文学に貢献した作家達
拓殖大学論集　25:299—308,1960

末永　晃
海外旅行報告＜特集＞ーインドネシアの大学
海外事情　22(12):9—17,1974

スグリワ, I.G.B
インドネシアの舞踊
月刊インドネシア　86:8—11,1954

スラルト,バンバン
土地　松岡邦夫訳
朝日アジアレビュー　17(1):165—168, 1974

スマルジョ, トリスノ
特異の知識人, パ・イマン　柿沢仲太訳
月刊インドネシア　96:2—20,1955

スタウイナグン, T. SK.
バヤ物語
月刊インドネシア　81:8—10,1953

須山　卓
ミナンカバウ族の家と家族について
月刊インドネシア　62:4—6,1951

鈴木長年
ガジャ・マダ大学
アジア経済　4(3):52—53,1963

鈴木佑司

『脱亜論』の彼岸－インドネシア研究の可能性－

東南アジア　歴史と文化

5：171－174，1975

多田芳雄

インドネシア語辞典編　小史と各種辞典の紹介（Ⅰ－Ⅳ）

東南アジア資料速報

4（ 9／10）：14－16，1960

4（13／14）：12－14，1960

4（17／18）： 6－ 8，1960

4（21／22）： 4－ 8，1960

高橋邦太郎

四行詩　パントウン－インドネシア文学の珠玉－

月刊インドネシア　62（2）：10－11，1951

田村隆照

インドネシア美術調査隊報告－C班調査概要－ジャワ及びバリの宗教遺跡

京都市立美術大学研究紀要

13：29－37，1968

田中克己

インドネシア語派の身体呼称

滋賀県立短期大学雑誌B

1（1）：27－38，1951

田中則雄

スンダ（西ジャワ）の貴族（Menak）について

東南アジア研究

10（3）：409－421，1972

戸田金一

植民地における教育発達の考察－インドネシア初等教育について

秋田大学学芸学部研究紀要（教育科学）

7：33－48，1958

戸田金一

植民地教育の発展と財政－1930年代蘭印についての試論

秋田大学学芸学部研究紀要（教育・技能）

10：1－24，1960

梅沢達雄

インドネシア大学社会科学部社会研究所

アジア経済　10（4）：100－102，1969

卜部澄子

ジャワ　バティック染色の研究－1－染色材料

東京家政大学研究紀要

14：43－51，1974

Van der Kroef, Justus M

技術援助の直面する困難－インドネシア農村の因習－

月刊インドネシア　67：11－14，1952

和田久徳

宋朝に知られたジャワ語の二三について

史苑　26（2･3）：15－23，1966

Williamson, William L.
インドネシアー外国の図書館学教育(1)
今まど子訳
現代の図書館　11(1):46—49,1973

山田　勇
インドネシア国立生物学研究所だより
東南アジア研究
7(2):249—253,1969

横関哲次郎
インドネシアの民族と言語
外務省調査月報　3(12):22—41,1962

米田公丸
インドネシア大学付属経済社会研究所
アジア経済　2(5):72—74,1961

吉田正紀
ニューギニア高地の豚祭りー研究史と問題点
史苑　33(1):65—81,1972

保険・医療

安食僖三
B型肝炎ウィルスの地理病理学的研究
インドネシアにおける，疫学を中心として
東京女子医科大学雑誌
46(7):562—574,1976

荒木恒治
インドネシア・セレベス地区バンガイ島における原住民の調査成績　荒木恒治，中里秀男
豊田秀三，岩田繁雄〔共著〕
寄生虫学雑誌　24増刊：45, 1975

馬場治賢
インドネシア共和国マルク州アンボン市周辺の結核の疫学的知見(1)アンボン市内乳幼児のツ反応検査成績とサルパルア島ポルト村における一般住民検診の結果　馬場治賢，高井鐐二，倉田勧　A. Lokollo〔著〕
結核　47(4):111—112,1972

海老沢　功
西イリアンおよび東カリマンタンで感染したクロロキン耐性熱帯熱マラリア　海老沢　功，
福山民夫，三井源蔵〔著〕
日本熱帯医学会雑誌
2(3/4):165—172,1974
3(3/4):227—234,1975

藤田紘一郎
インドネシア森林開発事業地を診療，調査して
熱帯　4(3):2—7,1969

藤田紘一郎

インドネシア，マレーシア各地の原住民の毛髪中，血中水銀量について（第1報－第3報）　藤田紘一郎，菊池正一，二島太一郎，池田真吾，野牛弘著

日本公衆衛生雑誌　21（10附録）：287，1974
23（10附録）581，1976

深水　孟

インドネシアの医学教育　深水孟，柳沢文憲〔著〕

医学教育　2（6）：364，1971

深谷一太

インドネシア・カリマンタンのDam建設現場に於ける感染症

感染症学雑誌　44（9）：507，1970

深谷一太

インドネシア，南カリマンタンに於ける医学的問題Dam建設地に於ける調査と南カリマンタン地方の現況　深谷一太，三井源蔵〔著〕

熱帯　5（3）：145－156，1971

林　晃史

インドネシア産イエバエの数種殺虫剤に対する感受性について　林晃史，廿日出正美，永哲，加納六郎　J．S．Saroso　Iskak Koiman〔著〕

防虫科学　39（3）：88－91，1974

林　晃史

インドネシア産イエバエの幼虫に対する殺虫剤の感受性について　林晃史，廿日出正美，篠永哲，加納六郎　J．S．Saroso　I．koiman．〔共著〕

防虫科学　39（4）：117－119，1974

林　晃史

ニューギニア産イエバエの殺虫剤感受性について　林晃史，廿日出正美，篠永哲，加納六郎〔共著〕

衛生動物　25（4）：339，1975

堀田　進

インドネシアにおけるウィルス感染症の血清疫学的研究－医学地理学的考察－

東南アジア研究　11（1）：86－106，1973

堀田　進

インドネシアのVirus学的免疫学的調査　インドネシア在住者他清中の抗Arbo virus抗体の検索(1)スマトラ島Lampung州地区に於ける成績　堀田進，青木英夫，安井多津子，佐本進

熱帯医学会報　7（2）：30－35，1966

堀田　進

インドネシアのVirus学的疫学的調査，インドネシア在住者血清中の抗Arbovirus抗体の検索(2)1964，1965及び1966の3ケ年間の総括的成績　堀田進，青木英夫，安井多津子，佐本進

日本熱帯医学雑誌　8（2）：74－79，1968

堀田　進

インドネシアのVirus感染症　其血清疫学的側面

感染症学雑誌　45（6）：211－217，1971

堀田　進

日本の海外医療協力－19－インドネシア
堀田進，戸田嘉秋共著
臨床科学　11(8):1043―1050,1975

石川元助

ニューギニアの風俗－よろこばれた医療パトロール
健康保険　15(9):37―40,1961

伊藤幸治

ニューギニア住民における抗ダニIgE抗体の著明増加と線虫感染との関連　伊藤幸治，佐野靖之，堀内淑彦，D. G. Woodfield〔共著〕
寄生虫学雑誌　24増刊：41,1975

岩永邦喜

指紋上より見たる日本人の研究(2)ジャワ島インドネシア人の指紋　岩永邦喜，白水博信〔著〕
久留米医学会雑誌　12(4/6):99,1949

岩永邦喜

ジャワ人の血液型について　岩永邦喜，益子竜介，中尾謙二著

(1)ジャワ人と東印度諸島，フィリッピン諸島及びミクロネシア地方人の血液型
(2)ジャワ人と台湾高砂族，特にパイワン，アミ及びヤミ族の血液型
(3)ジャワ人と琉球人並に九州日本人の血液型
(4)ジャワ人と朝鮮人並にアイヌ人の血液型
(5) 総　括

久留米医学会雑誌

13(1/2):　52―　57, 1950
13(3/4):118―122, 1950
14(1/2):　79―　83, 1951
14(3/4):556―559, 1951
14(3/4):560―561, 1951

河野通宣

パプア・ニューギニアにおいて採取した土壌水および人毛髪中の環境汚染物質の1分析例
河野通宣，白木啓三，鈴木泰夫〔共著〕
徳島県衛生研究所年報
13:45―46,1974

川村善治

インドネシアにおける毒蛇咬症
川村善治，鎮西弘，沢井芳男〔共著〕
The Snake 7(2):73―78,1975

木島正夫

スマトラならびにシャム安息香について
木島正夫，永井吉澄共著
東南アジア研究
7(1):41―48,1969

木崎治俊

広東住血線虫の感染による好酸球性髄膜炎の症例　木崎治俊，竹内一郎，河村潤之輔，浅見敬三，竹内勤〔著〕

Medicina 9(13):2328—2331,1972

北岡正見

ブラジル，インドネシア，南ヴェトナム及び沖縄に於て分離されたLeptospira 株の分離　北岡正見，森　守〔著〕

日本細菌学雑誌

20(7):481—482,1965

北岡正見

インドネシア及び南ベトナムで分離されたLeptospira 株の同定の完了　北岡正見，森　守〔共著〕

国立予防衛生研究所年報

19:63,1966

小林宏志

Papua 人（西ニューギニア）の民族生物学的研究

広島県立医科大学論文集 1:197,1949

小林宏志

Papua人（西ニューギニア）の民族生物学的研究

(1) Papua人ABO式血液型について

(2) Papua人のMN式血液型

(3) Papua人の指紋について

(4) Papua人の掌紋について

医学と生物学　11(6):382—383, 1947

12(1): 37— 39, 1948

12(2):117—119, 1948

12(4):271—272, 1948

小林宏志

ジャワ人の掌紋について

医学と生物学

13(3):226—228, 1948

小林義雄

ニューギニア微生物調査（第2回）

学術月報　26(5):331—336,1973

向山秀樹

インドネシア共和国東部ジャクー農村に於ける住民の生活状態　向山秀樹他〔著〕

東邦医学会雑誌

16(6):782—783,1969

倉堀知知弘

サラワクでの調査活動

熱帯　4(4):7—8,1970

桑木道生

Virusを繞る最近の話題　インドネシアで天然痘調査に参加して，無残な現実と急がれる対策

科学朝日　29(7):40—42,1969

桑原利章

インドネシア，マラン地区における地方性甲状腺腫に関する研究（1，2）桑原利章，黒田光保，榎本和子，入江実〔共著〕

日本内分泌学会雑誌

50(2):381, 1974

東邦医学会雑誌

23(1/2):226, 1976

マヌアバ，A

バリ島における医療と保健活動の現況

日本農村医学会雑誌

22(6):659—660,1974

マヌアバ，A

農村医療における医師・パラメディカルスタッフの役割，バリ島農村地域のための医師養成

日本農村医学会雑誌

22(6):691,1974

正垣幸男

カリマンタンとマラリア根絶計画

東南アジア研究 4(5):194—202,1967

益子竜介

指紋上よりみたる日本人の研究〔第5編〕

インドネシア人女子と日本人女子の指紋の比較

(1)ジャワ島インドネシア人女子の指紋

(2)ミクロネシア地方人女子とジャワ島インドネシア人女子の指紋

(3)台湾高砂族，特にパイワン，ツオウ，アミ及びヤミ族女子とジャワ島インドネシア人女子の指紋

久留米医学会雑誌

13(3/4): 99—103, 1950

13(3/4):113—118, 1950

13(7/8):288—293, 1950

松尾武文

インドネシアに於ける血圧の調査成績

日本循環器学誌

31(11):1810—1811,1967

松浦義行

東南アジアの体育事情(Ⅱ)インドネシア国

体育の科学

24(2):134—137,1974

宮崎一郎

ニューギニアの豚から見出されたDolores顎口虫

日本熱帯医学雑誌 9(1):50,1968

宮崎吉平

インドネシアの好酸球増多症－西部ジャワ・マジャレンカ山岳地帯の住民について－

日本熱帯医学会雑誌

1(3—4):211—224,1973

宮崎吉平

日本の海外医療協力－24－インドネシア－チレボン富士の見える村々

臨床科学 12(2):252—260,1976

水野瑞夫

パプア，ニューギニア，ニューブリテン島の気象について 水野瑞夫，田中俊弘，水野京子，大内幸雄，谷水正彦，中条広義，アーネイ・ニルソン〔共著〕

岐阜薬科大学紀要 23:61—63,1974

森下はるみ
ニューギニアの人々(海外の話題)
体育の科学
18(4):272—275,1968

森下はるみ
ニューギニアの保健
学校保健研究
11(9):430—434,1969

森下　薫
ニューギニアに於ける重要Malaria伝播蚊の特異発生習性並に　れに関する小実験
熱帯医学会報　3(1):35—36,1962

村松　稔
インドネシアの家族計画とIUDに由る出生調節
公衆衛生研究報告　18(3)　164,1969

中村文雄
インドネシアにおける水道技術コース
公衆衛生院研究報告
23(1):59,1974

中村正雄
指紋より見たる日本人の研究北九州日本人とジャワ人の指紋(1)ジャワ人の指紋
久留米医学会雑誌12(1/3)5,1949
日本法医学雑誌2(5/6)17,1950

中村正雄
指紋上より見たる日本人の研究北九州日本人とジャワ人の指紋(2)北九州日本人(筑後人)の指紋
久留米医学会雑誌12(1/3)8,1949

中村正雄
指紋上より見たる日本人の研究北九州日本人とジャワ人の指紋(3)比較編
久留米医学会雑誌12(1/3)11,1949

西丸震哉
パプア人の味覚を調査して
食生活　63(2):88—89,1969

小幡　裕他
インドネシア，東部ジャワにおけるHB抗原，HB抗体の疫学的研究
肝臓　15(6):378—385,1974

小野善邦
インドネシアの医療
ホームドクター　3(3):62,1976

太田輝夫
インドネシア生大豆醗酵食品Tempehの性状　太田輝夫，海老原英雄，中野政弘〔著〕
日本食品工業学会誌
10(3):4—5,1963

太田英樹

インドネシアにおける1年間の診療報告

東京女子医科大学雑誌

42(7):524―530,1972

佐本 進

インドネシアに於けるArbovirus感染症の血清疫学的研究，特に1964～1968年の現地在住者及び二三の動物の血清HI抗体価測定成績の総括　佐本進，安井多津子，青木英夫，堀田進

ウィルス　19(5):188,1969

沢井芳雄

インド及びインドネシアにおける毒蛇咬症の現状

学術月報　21(11):713―718,1975

渋沢喜守雄

ニューギニアの壊疽性腸炎

看護　28(6):109,1976

白木啓三

パプア・ニューギニアにおける栄養状態とその問題点

臨床栄養　44(1):61―65,1974

白木啓三

パプア・ニューギニアの栄養調査報告(2)

ニューギニア高地人のたんぱくアミノ酸栄養

臨床栄養　44(3):285―290,1974

白木啓三

パプア・ニューギニアの栄養調査報告(3)

パプア・ニューギニアにおける栄養障害

臨床栄養　45(2):149―155,1974

白坂竜広

インドネシア東部ジャワにおけるトキソプラズマの抗体価の調査　白坂竜広，山浦常，林直諒〔共著〕

寄生虫学雑誌　22増刊：90,1973

竹本泰一郎

タンザニア1部族での血圧，体構成，血清コレステロールと加齢，生活様式の変化

医学のあゆみ　84(1):25―26,1973

田村久弥

インドネシアで経験した子宮破裂24例の検討，特に其姑息療法

日本産婦人科学会雑誌

20(7):827―828,1968

田村久弥

日本キリスト教海外医療協力会から派遣されてインドネシアに於ける医療協力活動を行った経験から

日本公衆衛生雑誌

15(4):179―180,1968

田中正四

蘭領ニューギニアの人口問題管見

広島医学2(9/10)330,1949

寺田友次
マニラ市より帰国した食中毒患者から分離した腸炎ビブリオの新血清型株について　寺田友次，横尾裕，西山好三郎共著
新潟医学会雑誌　89(2):86–87,1975

戸田嘉秋
インドネシア婦人腰巻の体力Test成績に及ぼす影響　戸田嘉秋，広岡九兵衛，岡本和子〔著〕
日本衛生学雑誌　24(1):171,1969

戸田嘉秋
インドネシア人の体力
医学のあゆみ　73(13):739–740,1970

戸田嘉秋
インドネシア人の体力に関する調査研究
日本衛生学雑誌
25(1):145,1970

戸田嘉秋
インドネシアに於ける公衆衛生上の若干の問題
日本公衆衛生雑誌　15(4):314,1968

東邦大学カリコント地区調査班
インドネシア，カリコント地区の調査
東邦医学会雑誌
17(5–6):585–592,1971

梅山　猛
インドネシアの医療事情
医学と福音
19(6):160–163,1967

Usman, Salmyah M.
インドネシアにおける産婦人科臨床の実際を語る（海外における産婦人科臨床をたずねて－6－）（対談）
産婦人科の実際　19(9):943–950,1970

山本正弘
スラバヤ市在住者の風疹HI抗体保有状況
山本正弘，徳地幹夫〔著〕
ウイルス　21(1):30,1971

柳沢文憲
インドネシア共和国カリマンタン地域の小児の体位並びに罹病の実態に関する調査研究
熱帯　6(3):95–111,1972

柳沢文憲
インドネシア南カリマンタンに於ける衛生状況に関する調査
日本衛生学雑誌　27(1):196,1972

安田利頭

インドネシア Malang Shcool of Medicine

医人薬人 20(12):22−24,1971

安田利顕

第2回インドネシア共和国ジャワ島マラン市近郊における環境衛生調査（第1報）マラン医科大学との共同調査　安田利顕，佐藤中，田中洋一，伊藤正俊，向山秀樹，堂ケ崎勲，渋谷温，中山栄治，渡辺肇〔著〕

東邦医学会雑誌　19(1−2):182,1972

米林喜男

発展途上国に於ける地域開発と公衆衛生，インドネシアの事例を中心に

日本公衆衛生雑誌 17(11):720,1970

吉田集而

ケイヒ類生薬に関する研究−1−西スマトラにおけるケイヒの栽培状況について

東南アジア研究 12(1):121−132,1974

吉田集而

北スマトラTapanuli地方における安息香の栽培とその市場品

東南アジア研究 9(3):420−446,1971

吉田禎吾

ジャカルタのドウクン

朝日アジアレビュー

20(4):111−116,1974

吉川公雄

ボルネオ高地における血圧の変化

日本熱帯医学会雑誌

2(2):93−94,1974

吉武成美

インドネシア多化系蚕の休眠性について（短報）

日本応用動物昆虫学会誌

13(4):206−207,1969

戦争文学・戦記

明石陽至

南洋華僑と満州事変

東南アジア　歴史と文化

1:52−75,1971

石橋重雄

ジャワ戦とディポネゴロ　1−10，

拓殖大学論集 84:183−210,1972

85:111−135,1972

87:277−304,1972

89: 93−120,1973

90:131−157,1973

92:135−159,1973

93:215−240,1973

95:127−149,1974

96: 83−108,1974

97:245−280,1974

石川元助
ニューギニアの貝貨≪タンブ≫と日本軍票ー太平洋戦争下，日本軍占領地ニューギニアにおける通貨政策の実験（ニューギニア研究ー2ー）
名古屋学院大学論集（人文・自然科学篇）
8（2）：1−34，1971

川部美智雄
南国のじゃんけん戦争
文芸春秋　36（7）：124−131，1958

増田　与
太平洋戦争期のインドネシア民族運動ー1945年憲法体制分析の基本視角
歴史学研究　289：14−22，1964

宮山滋夫
私はかく日本軍と闘った
小説　朝日話の手帖
1（1）：134−139，1952

三好俊吉郎
ジャワ占領軍政回顧録　1−14
国際問題　61：62−65，1965
62：80−83，1965
63：48−54，1965
65：62−67，1965
66：64−67，1965
67：66−75，1975
69：60−63，1979
70：68−71，1966
72：64−71，1966
73：64−71，1966
75：78−81，1966
78：64−67，1966
80：62−67，1966
82：64−69，1967

白石愛子
ジャワ防衛義勇軍の設立
東南アジア　4：3−41，1974

白石さや
日本軍政下のアチェ
東南アジア　歴史と文化
5：132−146，1975

田所竹彦
インドネシアの軍部
世界　246：222−228，1966

谷川栄彦
早稲田大学大学大隈記念社会科学研究所編「インドネシアにおける日本軍政の研究」1959
アジア研究　8（3）：80−91，1962

土屋健治
スカルノの第二次世界大戦論
東南アジア研究
10（2）：234−245，1972

対 日 関 係

有吉　巌
対日講和問題とインドネシア
月刊インドネシア　63：6−8，1951

陳　加昌
マラッカ海峡と日本ートラブルは必ず拡大する
世界週報　53（13）：16−26，1972

藤原　剛
アジアで嫌われる日本人ー「イエロー・ヤンキー」「侵略者」（特派員報告）ージャカルタ
エコノミスト別冊：148−153，1969

深入りする日本のインドネシア援助ーその外交と内政の背景
朝日ジャーナル　8−24：12−19，1966

古川
インドネシア経済と日本
対談：須之部量三，　沢嘉雄
世界経済評論　19（2）：25−31，1975

古川
インドネシア問題と日本の海軍ー和蘭排斥運動最悪事態に
海運　364：29−32，1958

後藤乾一
近代史における日本とアジア<シンポジウム>研究報告ー日本人のインドネシア観ー市来竜夫論序説
社会科学討究　20（2−3）：267−298，1975

ヘラワティ・デイア
十年の憎しみを越えて
文芸春秋　33（22）　1955

イ国要人は日本を斯く観察するーアルジ国会副議長の感想
月刊インドネシア　106

インドネシア援助・人と戦略ーポスト・佐藤，ポスト・ベトナムをめぐる思惑
朝日ジャーナル
11（18）：81−87，1969

石居太楼
対インドネシア関係は何故進展せざるや
月刊インドネシア　97：1−4，1955

緊密化する日本とインドネシアの経済交流；貿易賠償経済協力の現状と問題点
エカフェ通信　165

岸　幸一
ベトナム戦後のアジアと日本ー上・中・下ーインドネシアー東南アのキー・ポジションー
世界週報　47(9)：62―66，1969

児玉伸昭
アジアと日本ー田中首相を迎える現地の表情（特派員報告）ーインドネシア・利益追求主義に反発ー日本への期待と反日感情
世界週報　55(1)：112―115，1974

児玉伸昭
インドネシアの〝外領〟開発進むー南スラウェシの日イ協力事業を見るー
世界週報　56(19)：32―34，39―40，1975

児玉伸昭
東南アジアの反日暴動から一年<特集>ーインドネシアー互恵に基づく真の友好を強調ー芽生える対話と相互理解ー
世界週報　56(5)：45―47，1975

黒崎　久
言葉からみた日・イのつながり
月刊インドネシア　73：24―25，1952

リイ・テイク・チェン
アジアはなぜ日本人をきらうかーインドネシア・華僑ばかりと手を結ぶな
朝日ジャーナル
16(26)：21―22，1974

増田　与
インドネシアの近代化と日本
社会科学討究　18(2)：121―179，1973

宮山滋夫
インドネシアの対日感情
月刊インドネシア　79：2―8，1953

増田　与
近代史における日本とアジア<シンポジウム>研究報告ーインドネシア人の日本観ージョセフ・ハッサン論序説
社会科学討究　20(2―3)：229―335，1975

奈保　寿
日本資本を歓迎するインドネシアの表情
ダイヤモンド　40(31)：36　1952

中野直樹
日・イ「空の五つの自由」を許与
時の法令　423：65―68，1962

日本・インドネシア沈船引揚協定の内容
月刊インドネシア　85:16—17,1954

日本経済の「爆発的な発展」を利用せよ！
インドネシア「シナール・ハラパン」記事
73. 8. 13
朝日アジアレビュー
16(4):122—123,1973

越智度男
日・インドネシア友好通商条約の締結
経団連月報　9(8):48—51,1961

小木曾　功
日本など外資利益を制限へ—「ジャカルタ騒動」の教訓いかし（海外経済の焦点＝インドネシア）
エコノミスト　52(22):62—65,1974

大野勝己
対インドネシア交渉素描
経済連合　57:276—279,1952

大野勝己
対インドネシア交渉雑感
自動車海外情報　6:20—23,1952

レイド，ジョン.S
インドネシアは技術援助を求めている
実業之日本　56(23):90—93,1953

坂口幹生
インドネシアの経済開発と日本の企業(1,2)
長崎大学東南アジア研究所研究年報
11:1—31,1970
13:89—108,1972

シャリア，M.
日印経済提携とインドネシアの立場
東洋経済新報
2534:262—263,1952

下中弥三郎
日本・インドネシア関係について
世界国家　6(3):16—17,1952

白石愛子
ブリタル反日蜂起の史的考察—インドネシア8月革命序曲—
東南アジア研究
13(4):535—558,1976

白石愛子
日本軍政期のインドネシア反日運動の一考察ーレンガスデンクロック事件における「サブ・マス」の役割ー
アジア経済　17(4):68—76,1976

スジョノ，ラデン
講和発効にあたり日本の皆さんに
月刊インドネシア　70:1，1952

スミトロ
日本の協力に期待する
月刊インドネシア　117:10—13,1957

ストモ
日本国民の協力を望む
月刊インドネシア　110:4—5,1956

田口三夫
アジア・太平洋地域と日本ーインドネシアー日本の援助姿勢に問題
世界週報　50(2):36—38,1969

田口三夫
日本の悪評判ーアジア篇ーインドネシア羨望の裏返し
世界週報　50(26):49—52,1969

田口三夫
大きな期待に肩すかしースハルト訪日に不満と反省
世界週報　49(17):58—61,1968

対日問題とイ国政界の動向
月刊インドネシア　83:5—7,1953

高林秀雄
日本をめぐる海洋法ーインドネシアの内水宣言と日本
法学セミナー　139:19—24,1967

谷川栄彦
太平洋戦争中の東南アジア抗日運動ービルマ，ヴェトナム，インドネシア，マラヤの抗日運動を中心として
アジア研究　4(1):1962

谷口五郎
インドネシアの対日関係と国内問題
アジア経済　1(4):71—72,1960

東南アジアへの日本資本進出（特集）〔台湾，韓国，インドネシア〕
経済評論　18(9):110—153,1969

渡辺貞治
インドネシア情勢と日軍の対日感情
日防　1972.2

山田勝人
インドネシアの実体を知らない日本人
実業の日本　1973.11 9—98

山本賢司
憎悪が支配する島ーインドネシア
朝日アジアレビュー
12(4):156—163,1973

山岡紘二
波乱呼んだ卓連会議ー日本代表団の醜悪な敗北〔特派員報告〕ーインドネシア討議もせずいきなり退場
世界週報　52(10):24—32,1971

山岡紘二
ジャカルター対日感情は依然良好ー日本品ボイコットは広がるかー
世界週報　53(51):26—27,1972

山岡紘二
田中新内閣をどうみるー海外の反響ーインドネシア未知の田中首相に不安感も
世界週報　53(30):22—24,1972

湯川盛夫他(座談会)
日イ通商問題を聴く
月刊インドネシア　70:22—33,1952

戦後インドネシア書誌

発行年月日　1979年3月31日

発　行　所　東南アジア医療情報センター

(財) 日本国際医療団
東京都港区新橋4－7－2
(第6東洋海事ビル4階)
電話東京(432) 2888番(代)